

資料番号	標題(内容、作成→宛名)	年代
1	勇崎村・黒崎村平岡四郎左衛門様御裁許書写、浅口郡黒崎村・勇崎村論シ候出入申付覚(堤・悪水の件、平岡四郎左衛門→黒崎村・勇崎村庄屋・年寄)	元禄12年
1	[黒崎村年寄宛茂兵衛ほか2名書状]	年月日未詳
1	[黒崎村・勇崎村絵図]	年月日未詳
1	覚(堤・悪水の件)	年月日未詳
2	御高札之写(浦方関係)	正徳4年
3	覚(西浜村・神島外浦・横島村・白石島・神島内浦・北木島海役運上につき伺)	享保6年
4	勇崎惣浜人口上書(塩焼用薪問屋のこと、八郎右衛門ほか38名→勇崎村庄屋平右衛門)	享保20年
5	享保二十卯御年貢皆済目録(勇崎村)	享保20年
6	書附を以奉願上候御事(勇崎浜・押山浜御取塩の儀、平岡彦兵衛様御役所宛)	元文5年
7	家門鎮守梅靈殿五社同会正一位稻荷大明神之記(中塚織部正興)	天明6年
7	稻荷大明神之記(中塚武七季富)	宝暦9年
7	塩釜神社棟札写	年月日未詳
8	定(徒党強訴御法度)	明和7年
9	覚(権兵衛ほか6名塩浜持高入違の件)	天明8年
10	沓々年切相渡申質流地証文之事(下ヶ浜4畝余、1貫200目、柏島村八三郎→浜表治左衛門)	安政1年
11	[黒崎村・勇崎村絵図]	年月日未詳
11	浜方諸締申合之事(地塩売方など8ヶ条、又三郎ほか29名→次左衛門ほか2名)	寛政5年
12	請合手形之事(百姓3人移住のこと、勇崎村庄屋松次郎→勇崎浜庄屋治左衛門)	寛政5年
12	塩方相定之証文之事(松山登塩など6ヶ条、柏島村庄屋与右衛門ほか7名)	享保18年
12	[書状下書]	年月日未詳
12	[押浜源九郎ほか2名宛鰯屋源次郎書状](三浜塩俵紛しきこと)	年月日未詳
12	起請文前書(松山登塩のこと、次右衛門ほか6名)	戊年
12	差出申御請一札之事(松山・成羽登塩のことなど、三浜出地改役福島屋平兵衛)	文政3年
12	請合申塩取次キ証文之事(松山領取次勇崎・源右衛門ほか1名→勇崎庄屋平右衛門ほか2名)	元文2年
12	乍憚奉願上口上(松山・矢掛登塩舟のこと、次兵衛ほか7名→庄屋次左衛門ほか2名)	巳年
12	立合申合問屋定(松山・成羽・矢掛登塩について)	年月日未詳
12	一札之事(松山登塩三浜申合、勇崎浜・柏島村・押山浜塩取次5名→三浜各庄屋)	享保19年
12	一札之事(松山登塩につき5ヶ条、勇崎・押山・柏島村塩取次5名→三村庄屋)	享保21年
12	松山登塩取次請合之事(玉島大坂屋次郎吉ほか1名→庄屋治左衛門ほか1名)	享保14年
12	差出申一札之事(松山・成羽登塩木焚値段のこと、三浜中買5名・出塩改役平兵衛→勇崎浜庄屋治左衛門ほか1名)	文政3年
12	請合申塩取次証文之事(松山塩取次、柏島口兵衛→三浜庄屋)	元文2年
12	一札之事(玉島廻り塩本俵定のこと、中買文右衛門ほか7名→庄屋三郎右衛門ほか2名)	辰年
12	申合之覚(松山・成羽登塩値段などにつき、勇崎浜庄屋庄兵衛ほか7名)	享保3年
12	勇崎浜・押山浜申合願之事(矢掛売塩船頭入込直売の件、徳助ほか48名→勇崎浜・押山浜庄屋)	享保12年
12	[申合](松山・成羽・矢掛登塩の儀など、勇崎村・押山村惣浜人→治左衛門ほか4名)	正徳4年
12	[口上](松山・成羽・矢掛廻り塩の儀、伝吉・嘉七)	年月日未詳
12	[又三郎・治左衛門宛松田九郎左衛門書状](松山亀屋幸八井塩屋中より飛札のこと)	年月日未詳
12	一札之事(浜定相背中買御取上差許のこと、中買平兵衛ほか1名→庄屋・浜庄屋3名)	辰年
13	塩方申合為取替書附(成羽登塩のこと、勇崎浜庄屋・塩役人・成羽塩役人など8名)	寛政6年
14	惣浜方申合之事(塩売買定法、勇崎浜百姓代三蔵ほか百姓29名→庄屋治左衛門)	寛政10年
15	差出申一札之事(薪売買の件、勇崎村沖塩屋八郎右衛門→庄屋次左衛門)	寛政7年
15	乍恐以書付御訴訟奉申上候(扣)(勇崎村庄屋又三郎・重左衛門、村方難渋不顧、馴合私欲横領相働のこと、訴訟人勇崎浜庄屋治左衛門→御奉行所)	天保4年
15	差出申一札之事(浜法相背、塩直売のこと、勇崎村伝作ほか3名→勇崎浜庄屋・年寄・塩役衆中)	文化3年
15	差出申一札之事(親問屋差止のこと、勇崎浜宇平次ほか5名→勇崎浜庄屋平右衛門)	享保21年
15	差出申一札之事(阿賀崎新田村宗七郎を中買職に付候こと、吉十郎ほか23名→庄屋辻役3名)	寛政11年
15	一札之事(薪問屋不勝手のこと、利左衛門→浜庄屋次左衛門ほか1名)	正徳3年
15	覚(登塩三ヶ浜割合売の儀、塩代算用の儀など、又三郎ほか14名→庄屋治左衛門)	文化7年
15	沖売塩申合定之事(浜庄屋平右衛門他39名)	子年
15	一札之事(当湊問屋稼方の儀、庄屋治左衛門→中崎屋民右衛門)	嘉永7年
15	差入申御詫一札之事(子供等塩釜屋堀崩の件、柏崎村喜平他12名→勇崎浜庄屋治左衛門)	安政7年

15	奉差上内済証文之事(薪塩役料滞のことなど、勇崎浜庄屋国太郎他→玉島御役所)	天保8年
15	乍恐以書付御訴訟奉申上候(勇崎村年寄格愛蔵・東作薪塩口銭引込横領の件、勇崎浜庄屋国太郎→倉敷御役所)	天保8年
15	浜方申合規定之事(小売塩のこと、清治郎他10名→庄屋治左衛門・年寄・三蔵)	文久1年
15	乍恐以書付奉願上(塩焚用石炭がら捨場のこと、勇崎浜庄屋次左衛門ほか7名→倉舗御役所)	丑年
15	差出申規定証文之事(問屋株のこと、[]稼人民右衛門→浜方庄屋治左衛門)	嘉永2年
15	上書(塩俵数、日限までに相調不申こと、小作惣代太助ほか19名→庄屋国太郎・民治郎)	天保9年
15	一札之事(石炭割木問屋と予州奥居島船との紛議、中崎屋民右衛門代判福五郎→庄屋治左衛門)	天保13年
15	[議定書](前欠)(石炭瀬取運賃などにつき、中塚吉重郎ほか11名→庄屋助勤中塚実三郎)	明治4年
15	規定書之事(浜方石炭焚から捨場のこと、安兵衛ほか14名)	文政12年
15	差入申御詫一札之事(小売塩の件、福島村儀助ほか2名→勇崎浜村役人中)	明治4年
15	差出申請書之事(中買塩職売値段の儀など、島屋忠兵衛→庄屋次左衛門ほか塩役2名)	寛政12年
15	差出申請書之事(中買塩職売値段の儀など、口口屋半蔵→庄屋治左衛門ほか2名)	寛政12年
15	差出申請書之事(中買塩職売値段の儀など、中買人浜崎屋八太郎→庄屋治左衛門ほか2名)	寛政12年
15	差出申請書之事(中買塩職売値段の儀など、忠右衛門→庄屋次左衛門ほか2名)	寛政12年
15	差出申請書之事(中買職売値段の儀など、福浜屋庄六→庄屋次左衛門ほか塩役2名)	寛政12年
15	乍恐以書付御吟味下奉願上候(押山浜木口文助より喜右衛門へ相掛り小作の件、木口文助→横田新之丞様倉敷御役所、相手方年寄喜右衛門・庄屋治左衛門)	慶応3年
15	申合議定書之事(釜屋内取締方・石炭焚物捨場・釜焚大工のことなど8ヶ条、浜稼人清次郎ほか11名→庄屋治左衛門)	元治2年
15	浜方申合之事(登塩取次人のことなど、角釜屋ほか14茶屋組頭31名→庄屋治左衛門ほか塩役2名)	寛政7年
16	浜方申合之事(成羽登塩代のことなど9ヶ条、角釜屋ほか14釜屋組頭32名→庄屋次左衛門、塩役2名)	寛政9年
17	乍恐以書附御願奉申上候(黒崎村百姓悪水堤切崩の件、勇崎浜百姓代三蔵ほか1名→倉敷御役所)	寛政9年
17	乍恐以書付奉願上候(黒崎村百姓悪水堤切崩の件、勇崎浜百姓惣代三蔵ほか1名→倉敷御役所)	寛政9年
17	仮規定之事(阿賀崎新田村ほか6ヶ村と乙島村との流作場相論)	年月日未詳
17	売仕切(石炭代88円余、小村→住福丸亀蔵)	明治10年
17	記(尾崎元三郎→住福丸芳造)	酉年
17	売仕切(石炭代84円余、小村→住福丸亀吉)	明治10年
17	定約書(取替金返金、尾崎元三郎ほか1名→住福丸芳造)	明治10年
17	売仕切(石炭代141円余、小村→住福丸亀造)	明治10年
17	奉差上内済証文之事(小田郡吉田村村方諸普請などにつき出入の件、吉田村村役人・百姓37名・勇崎浜庄屋取喰人次左衛門→大岡久之丞様御役所)	年月日未詳
17	奉指上内済証文之事(乙島村百姓四郎兵衛ほか3名、年寄孫太夫・三右衛門へ相掛の件、乙島村百姓・村役人など16名→大岡久之丞様御役所)	辰年
18	奉差上出入取喰預り内済証文之事(黒崎村・勇崎村悪水相論、両村村役人・百姓・取喰人25名→野口辰之助様御役所)	寛政9年
19	指上申御請一札之事(勇崎・柏島・押山三浜塩取引の儀、勇崎村浜庄屋次左衛門ほか3名→松山城下新町年寄鰯屋吉兵衛)	寛政10年
20	浜方申合之事(中買・小売塩などの儀、角釜屋ほか14釜屋組頭31名→庄屋治左衛門)	寛政7年
21	差出し申一札之事(勇崎浜入作、勇崎村八太郎塩売方につき我俵の件、塩役亀平他6名→庄屋治左衛門)	寛政10年
22	[書付断簡]	年月日未詳
22	以書付奉願上候(矢掛へ売払の塩、値引のこと、三蔵他21名→庄屋治左衛門他値師役2人)	寛政11年
23	浜方締申合之事(登塩代銀のことなど14ヶ条、勇崎浜百姓・小作人46名・庄屋次左衛門→拓植又左衛門様御役所)	享和1年
24	一札之事(窪屋・都宇・浅口・小田四郡御貯穀新穀詰替のこと、4郡12ヶ村庄屋→倉敷村庄屋七大夫)	享和1年
24	為取替置申規定之事(生魚問屋株売買につき8ヶ条、問屋元方勇崎浜治左衛門他世話方2名)	文久3年
24	乍恐口上(備中国村々産物取調会所設置につき、勇崎浜庄屋中塚治左衛門→平野久右衛門)	寅年
24	為取替申規定書之事(治左衛門・愛蔵勘定合の儀、浜表治左衛門・井崎屋愛蔵他2名)	嘉永2年
24	[書状](立会場所の儀)	年月日未詳
24	記(塩代など受取、長崎屋惣右衛門→丙金丸権吉)	年月日未詳
24	為取替義定書之事(悪水・新開場所のこと、御領勇崎浜庄屋治左衛門・私領勇崎村庄屋重左衛門)	天保12年
25	差出申一札之事(備前児島船塩積来こと、福浜初次郎ほか4名→勇崎浜庄屋治左衛門)	享和2年
26	浜方申合之事(当浜蔵本売塩代銀払方のこと、市平ほか24名)	享和2年
27	御詫申一札之事(釜屋より直に我内に塩取上の件、勇崎村と三郎、吉原釜屋組合→庄屋治左衛門・塩方御役人)	享和2年
28	借用銀満取喰済口証文之事(元銀3貫300目、藤右衛門ほか20名→六条院東村藤[])	享和2年
29	差出申書付之事(当浜薪番交替につき勇崎村喜助→勇崎浜庄屋次左衛門)	享和3年
30	差出置申一札之事(松山表登塩のことなど10ヶ条中買中申定、福浜屋安蔵ほか10名→浜方衆中)	享和3年
31	借用申銀子之事(銀2貫目、押山浜惣百姓代清六、源九郎他年寄庄屋3名→倉敷村井筒屋伊右衛門)	享和3年

32	奉差上内済証文之事(勇崎村用水取樋口波戸のこと、黒崎村・勇崎村・片島村・勇崎浜村役人・百姓14名→三河郷太忠様御役	享和3年
33	申定之事(勇崎村用水取樋口砂除波戸の儀、黒崎村・勇崎村・村役人・百姓12名→片島村・勇崎浜庄屋)	享和3年
34	奉差上内済証文之事(勇崎村用水取樋口砂除波戸の儀)	享和3年
35	差出申書付之事(砂捨場のこと、黒崎村勇崎村村役人・百姓12名→噺人片島村・勇崎浜庄屋)	享和3年
36	奉差上内済証文之事(勇崎村用水取樋口波戸の儀、訴訟方黒崎村源兵衛相手方勇崎村千蔵・藤左衛門)	享和3年
37	奉差上内済証文之事(勇崎村用水取樋口波戸の儀)	享和3年
38	乍恐以再答奉申上候(勇崎浜舟通汐用水川架橋のこと、勇崎浜庄屋・年寄→三河郷太忠様御役所)	文化2年
39	奉差上内済証文之事(賀陽郡東山内村三郎より同村庄丈兵衛へ相掛訴上銀子出入の件、三郎・丈兵衛、取噺人勇崎浜庄屋次左衛門他1名→三河郷太忠様御役所)	文化3年
40	覚(御年貢銀請取手形、東山内村庄屋丈兵衛他2名→東山内村三郎)	文化3年
41	乍恐以書付奉申上候(賀陽郡東山内村の件、勇崎浜庄屋次左衛門→三河郷太忠様御役所)	寅年
42	惣浜締方申合之事(三浜登塩割合方など、押山浜百姓清六他6名→庄屋与右衛門、次左衛門)	卯年
43	奉差上内済証文之事(片島村妙任寺より同村法厳寺へ相掛訴上一件、両寺并旦家惣代・取噺人16名→大岡久之丞様御役所)	
44	惣村取締方申合之事(村入用のことなど19ヶ条、小田郡吉田村村役人長百姓38名取噺人勇崎浜庄屋治左衛門)	文化5年
45	片島村婚礼石打一件御願下之節書付扣(片島村百姓長次郎他親類・長百姓・百姓・村役人・寺など22名→大岡久之丞様御役所)	文化5年
46	為取替済口証文事(阿賀崎新田村入用方不服につき小前の者、入用帳落印の件、同村庄屋・年寄・落印方惣代百姓三五郎、孫兵衛他取噺人2名)	文化7年
47	奉差上済口証文之事(阿賀崎新田村入用の件)	文化7年
47	[貸付金手形](倉敷児島屋与兵衛→勇崎浜治左衛門)	安政5年
48	売渡シ申浜之事(塩浜1枚代銀5貫400目、浜売主与次右衛門他2名→茂兵衛)	寛保2年
48	為取替済口証文之事(阿賀崎新田村入用の件)	文化7年
49	三浜差継内済為取替証文之事(小売塩・登塩割合につき、勇崎浜・押山浜・柏島浜小前惣代・年寄・取噺人18名→勇崎浜・柏島	文化8年
50	惣浜諸難防方取締議定之事(釜屋火用心につき、勇崎浜庄六他22名→庄屋次左衛門)	文化11年
51	浜地預り加地子納方義定証文之事(浜地預り福五郎他1名→庄屋次左衛門)	文化11年
52	年賦証文之事(銀1貫139匁余15ヶ年賦、借主押山浜平兵衛他2名→西之浦山本屋善蔵)	文化13年
53	指出申御請一札之事(勇崎浜近来薪不自由につき石炭焚相始りについて、八郎右衛門他2名→勇崎浜庄屋治左衛門)	文化13年
54	売渡シ申畑地証文之事(御年貢要用、下畑3畝15歩代銀400目、売主押山浜喜平太他3名→庄屋次左衛門)	文化13年
55	八ヶ年切質地証文之事(御年貢要用、与浜2切ぬい数32枚質銀600目、質主八太郎他1名→庄屋次左衛門)	文政2年
56	相渡申畑地証文之事(御年貢要用、上畑1畝27歩銀340目、流地主源蔵他3名→勇崎浜庄屋次左衛門)	文政2年
57	為取替証文之事(屋敷境目取決、本家伝七分家伝蔵)	文政4年
57	乍恐以書附奉願上候(御蔵払米献納残米40石御下渡願、勇崎浜中塚治左衛門→岡田御役所)	慶応2年
57	銀預手形之事(銀100目、乙島西本屋伊兵衛他1名→井崎屋相蔵他1名)	文政12年
57	[地所書入証書]	明治10年ごろ
57	[本家中塚宛中塚出店書状]	年月日未詳
57	差出申御詫証文之事(酒狂の件、押山浜百姓源兵衛→庄屋次左衛門他1名)	文政7年
57	乍恐以書付奉申上候(小作加地子滞出入の件、柏島村百姓訴訟人五郎兵衛相手権吉他3名取噺人勇崎浜庄屋次左衛門→三河郷太忠様御役所)	子年
57	[吟味書](後欠)(黒崎村百姓太郎吉悻吉次郎・八重村百姓佐助悻兵五郎口論打擲の件)	年月日未詳
57	売渡申証書之事(船1艘292石代価710円、宇野村丸口内支配三宅正造他1名→丸庄内菊松)	明治6年
58	問屋客論済口証文之事(淡路船観音丸太郎兵衛若松屋へ入津塩商の件、阿波屋藤右衛門、若松屋利右衛門他取噺人3名→庄屋次左衛門)	文政5年
59	乍恐以書付奉願上候(勇崎村百姓伝九郎勇崎浜入作について、勇崎浜塩役宗七他2名→松平紀伊守様御役場)	文化7年
59	乍恐以書附御歎奉申上候(当年度々大雨塩不出来のため二納銀日延願、勇崎浜年寄庄屋6名→倉敷御役所)	天保7年
59	[治左衛門願書](又三郎東作他8人庄屋役・塩薪株押領の件)	年月日未詳
59	差入申一札之事(石炭納屋建広げについて、南油屋理之丞他1名→庄屋次左衛門他1名)	文久3年
59	乍恐以書付奉願上候(勇崎村百姓伝九郎勇崎浜入作の件)	年月日未詳
59	差出申御詫一札之事(塩乱俵込出しの件、小作浜人甚助→庄屋次左衛門)	卯年
59	差出申一札之事(塩抜売の件、福五郎他3名→庄屋次左衛門)	年月日未詳
59	浜方申定(諸商人など釜屋立入禁止のことなど、村役人惣浜人)	未年
59	御詫申一札之事(塩役人中へ理不尽申募の件、伝九郎他3名→藤左衛門他3名)	酉年
59	乍恐以書付奉申上候(汐用水樋破損のこと、勇崎浜庄屋次左衛門→林良作)	子年
59	[]一札事(石炭商いのこと、八郎右衛門他2名→勇崎浜庄屋治左衛門)	文化13年
59	定(薪・塩口銭、本橋太郎助他1名)	午年

59	〔定〕(大工夜釜賃など)	巳年
59	記(柚木徳太郎分塩浜道具書上)	年月日未詳
59	記(山本藤重郎分塩浜道具書上)	年月日未詳
59	上(三蔵他2名葭原釜屋差押えのこと、栄五郎→勇崎浜庄屋)	明治4年
59	差上申御請証文之事(惣浜方不意難入用のこと、私領畑浜成ぬい数70、持主泰純他1名→勇崎浜庄屋次左衛門)	文化12年
59	乍恐以書附御歎奉申上候(村方山帳の儀、小田郡吉田村村役人10名→大岡久之丞様御役所)	文化5年
59	規定書之事(塩相場・入塩升目・俵方など、勇崎浜問屋角油屋理之丞他3名・松山塩会所支配人福永屋平右衛門他1名)	慶応2年
59	〔勇崎浜庄屋中塚治左衛門宛松山塩会所山本半蔵新町年寄定治郎書状〕(塩会所御取立のこと)	年月日未詳
59	〔勇崎浜庄屋中塚次左衛門宛松山新町年寄定治郎書状〕(塩会所取立のこと)	年月日未詳
60	浜方義定申合之事(惣浜塩売捌方・不足塩取立方のこと、勇崎浜百姓・年寄21名→庄屋次左衛門)	文化9年
61	乍恐返答を以奉申上候(漁場出入につき江戸表へ出訴の件、小田郡横島村神島内浦・西浜村庄屋・百姓18名→御奉行所)	文政11年
62	乍恐以書付御訴訟奉申上候(漁場出入につき江戸表へ出訴の件、訴訟人黒崎村百姓にて漁師惣代勝蔵)	文政11年
63	乍恐以書附御願奉申上候(黒崎村と横島村外2ヶ村漁場出入の件、取扱人→御奉行所)	文政12年
64	御書附之写(元文2年、香具13通りにつき御評定のこと)	文政12年
64	乍恐以書附御日延奉願上候(黒崎村と横島村外2ヶ村漁場出入一件)	文政12年
64	〔中塚伊助宛中塚織部書状〕(柏島稻荷御社のこと)	年月日未詳
64	乍恐以書付御日延奉願上候(横島村百姓小三郎、勇崎村百姓庄作へ相掛一件)	寅年
64	差入申一札之事(黒崎村・横島村漁場出入一件諸入用のこと)	文政12年
64	小三郎庄作立会勘定(倉敷御役所)	寅年
64	〔書付〕(小三郎庄作一件)	寅年
64	銀子借用申質物証文之事(質物田畑152筆、佐方村銀借用主庄屋格荒木磯吉→大谷村寂光院本坊)	嘉永4年
64	奉差上出入内済証文(黒崎村と横島村・神島内浦・西浜村との漁場入会所出入の件)	丑年
64	扱人存寄切出(黒崎村と横島村神島内浦・西浜村との漁場入会所出入の件)	年月日未詳
64	御書附(柏崎村忠蔵、甥庄作夫婦へ乱妨のこと)	
65	差出申済口内済証文之事(黒崎村と横島村・西浜村・神島内浦との漁場出入の件、四ヶ村村役人漁師7名、扱人5名→御奉行所)	文政13年
66	当浜一同取締議定事(売附塩割賦御下荷・石炭買方など20ヶ条、勇崎浜百姓・出作・村役人20名)	天保8年
67	乍恐以書附当浜一同締方奉願上候(売塩・釜屋の儀など15ヶ条、勇崎浜百姓・出作・村役人19名→倉舗御役所)	天保8年
68	奉差上内済証文之事(薪・塩役料滞出入、勇崎浜庄屋国太郎他4名→玉島御役所)	天保8年
69	薪口銭一件願書扣(訴訟人勇崎浜庄屋国太郎、相手勇崎村百姓八郎右衛門・民右衛門)	天保8年
70	差入申一札之事(松山城下登塩一手引受のこと、松山塩問屋吉田屋宇兵衛→勇崎浜・押山浜庄屋国太郎)	天保10年
71	為取替申議定書之事(氏神祭礼につき口論疵付一件、勇崎村定兵衛他11名)	天保10年
72	浜方一同申合議定之事(石炭買入方のこと、勇崎浜百姓・村役人22名→庄屋次左衛門・民次郎)	天保11年
73	浜方一同申合議定之事(石炭買入方のこと、茂三郎他8名→庄屋次左衛門・民次郎)	天保11年
74	宗門人別送手形之事(勇崎浜庄屋国太郎妻に柏島村与十郎娘ちよ嫁入)	天保11年
75	為取替一札之事(悪水堀浚のこと、勇崎浜・勇崎村庄屋・年寄5名)	天保12年
76	浜法取締方議定之事(三浜登塩のことなど28ヶ条、惣浜人→庄屋治左衛門・民次郎)	天保12年
77	〔中塚治左衛門宛中原健蔵書状〕	年月日未詳
77	為取替置申規定之事(生魚問屋株のこと、問屋元方勇崎浜治左衛門他2名)	文久3年
77	〔人別金書上〕	年月日未詳
77	〔中塚治左衛門宛中原健蔵書状〕	年月日未詳
77	口上覚(魚問屋株譲受のこと、勇崎浜中塚治左衛門代弁蔵→連島西ノ浦村御役人)	卯年
77	売渡申生魚問屋証文之事	年月日未詳
77	〔中塚治左衛門宛中原健蔵書状〕	年月日未詳
77	〔中塚宛中原書状〕	年月日未詳
77	〔勇崎浜中塚治左衛門宛片島中原健蔵書状〕	年月日未詳
77	〔中塚宛安本恒太郎書状〕(問屋落札のこと)	年月日未詳
77	差出申御受一札之事(氏神祭礼御幸のこと、押山浜八右衛門他22名→庄屋治左衛門他2名)	天保15年
77	乍恐以書附御訴訟奉申上候(貸銀3貫200目出入、訴訟人勇崎浜庄屋次左衛門代召仕直蔵相手勇崎村百姓伝九郎→御奉行)	天保2年
77	〔差紙〕(8月21日評定所へ罷出対決のこと、豊後他9名)	卯年
77	差出申仮儀定書之事(悪水溜込場所石垣取払のこと、阿賀崎新田村九兵衛他11名→治左衛門他2名)	午年
77	一札之事(浜塩薪問屋の儀、勇崎村藤左衛門→浜庄屋次左衛門他1名)	
77	当世ぢんこう記(和算5題、東都算学師鈴木安明子貫口)	年月日未詳
77	仮儀定書之事(質地証文金加地子米代滞事件、願人富山長五郎他5名→副戸長中塚実三郎他1名)	明治5年

77	奉差上内済証文之事(地所差戻出入、訴訟人勇崎村常吉・相手方勇崎村庄六他5名→大岡久之丞様倉敷御役所)	辰年
77	条々(異国船ぬけ荷買禁令、笠岡御陣屋へ庄屋・年寄・印形仕差上)	午年
77	御高札建替	文政12年
77	覚(高札案文・浦々廻状など請取、万年七郎右衛門手代中島庄六他1名→勇崎浜・押山浜庄屋中)	辰年
77	乍恐以書付奉願上候(勇崎浜入作・勇崎村百姓伝九郎塩抜売の件、勇崎浜塩捌役宗七ほか22名→松平紀伊守様御役場)	文化7年
77	乍恐以書附御訴訟奉申上候(塩薪株式横領の件、訴訟人勇崎浜庄屋治左衛門相手勇崎村庄屋民次郎養父又三郎他10名→倉敷御役所)	天保13年
78	冥加銀書上起立連印扣(浅口郡勇崎浜・押山浜薪役塩捌方世話役冥加銀のこと)	天保13年
79	差出申一札之事(問屋取計方差支の件、高屋熊吉他1名→庄屋次左衛門)	天保15年
80	[森屋平兵衛一件書類、7点](森屋平兵衛宮地和吉と口論疵受の件)	弘化2年
81	覚(石炭・薪商内銀口銭指出のこと、勇崎浜久蔵他30名→庄屋治左衛門)	弘化3年
82	西御丸御普請之節献納村々御褒美銀被下置候被仰渡書并御請書写	弘化4年
82	御褒美銀仕訳帳	年月日未詳
82	西御丸御普請之節献納村々御褒美銀請取書(備中国7郡、讃岐国5郡・島)	弘化4年
82	手荒銅小割鉄御畳表献納人名前帳(御代官築山茂左衛門様御支配中浅口郡控、西御丸御普請につき)	天保9年
82	御請書写(西御丸御普請献納金御褒美のこと)	弘化4年
83	諸家様銀札御引替御懸ヶ合願扣(備中7郡村々惣代17名→倉敷御役所)	嘉永1年
83	御廻粉歎願書扣(窪屋・都宇・浅口郡村々惣代8名→倉敷御役所)	嘉永1年
84	差入申一札之事(薪問屋職取放の件、勇崎村中崎屋民右衛門ほか1名→勇崎浜庄屋・年寄)	嘉永2年
85	[阿賀崎・占見・東六一件取嚙忠入用書類](勇崎村庄屋治左衛門扣・割賦帳なお18点)	嘉永2年
86	差上申御請一札之事(小俵塩積登のこと、勇崎村・押山浜塩取次人和泉屋千賀治他4名→玉島御問屋場)	嘉永4年
87	差上申御請一札之事(小俵塩積登の件)	嘉永4年
88	亥定免切替願書控(片島・乙島・柏島・勇崎・黒崎村村役人19名→倉敷御役所)	
89	差入申証文之事(酒造株・酒蔵・道具1ヶ年貸与、貸主奈良屋幸兵衛他2名→下津井屋吉左衛門)	嘉永5年
90	仮規定之事(浅口郡柳井原村5ヶ村、阿賀崎新田村、玉島村と乙島村との松山川流末海面吐口沖手川中附洲流作場の件、各村庄屋・扱人など17名)	
90	売仕切(千戸千賀82俵、代金10両2朱、西口屋惣吉→ゑひす丸和平)	酉年
90	乍恐以返答書奉申上候(柏島村百姓忠蔵事小三郎と勇崎浜百姓庄作、小作加地子出入庄作→倉敷御役所)	文政12年
90	為取替内済議定書之事(勇崎村庄屋又三郎村小入用帳紛敷廉につき、勇崎村年寄格愛蔵他12名)	安政5年
90	壹ヶ年切質地証文之事(田畑屋敷13筆2反5畝余、質銀3貫800目、質地主又三郎他1名→勇崎村治左衛門)	
90	記(宗門帳など取調相渡のこと、高杉延次郎→中塚実三郎)	年月日未詳
90	人別引受手形之事(勇崎浜安次郎妹いし、姪なつ興除新田中崎益右衛門妻娘に引受のこと)	年月日未詳
90	預手形差上申候事(和砂粕9樽、金15両、羽州庄内酒田越後屋長治郎→中塚菊松)	文久3年
90	手板記(杉材代、内海屋伝兵衛→住寿丸菊松)	酉年
90	相渡申証文之事(中畑10筆7反15歩、代金90両、譲主片島村中原健蔵他1名→勇崎浜中塚吉重郎)	明治4年
90	目録覚(金算用、用助→住寿丸菊松)	年月日未詳
90	壹ヶ年切相渡申質地証文之事(浜・釜屋敷14ヶ所、1町余、質銀1貫200目、質主三吉他1名→乙島村中屋与五兵衛)	弘化3年
90	仕切(塩95俵、代399両、さぬき屋市蔵→住福丸為蔵)	年月日未詳
90	仕切状之事(杉板、内海屋伝兵衛→住寿丸菊松)	酉年
90	仕切状之事(塩300俵、代金33両余、内海屋伝兵衛→住寿丸菊松)	酉年
91	[家相図]	嘉永5年
91	[家相図]	年月日未詳
91	[家相図]	年月日未詳
91	[家相図]	年月日未詳
91	覚(材木書上、材木店→表本家)	年月日未詳
91	[家相図]	年月日未詳
91	[家相図]	安政3年
92	質入申船証文之事(船1艘、300目、質主豊十郎他3名→庄屋治左衛門)	文久2年
92	銀子借用証文之事(通用67匁、借用主豊吉他4名→浜表国太郎)	天保9年
92	相渡申質地証文之事(下畑1畝4歩、質銀100目、質主福五郎他2名、浜表治左衛門)	安政6年
92	五ヶ年切質地証文之事(上田5畝、質銀400目、質主元浜五兵衛他2名、勇崎浜治左衛門)	弘化4年
92	壹ヶ年切質地証文之事(下々浜3畝6歩半、質通用2貫目、質主清助他1名→治左衛門)	嘉永7年
92	壹ヶ年切相渡申質地証文之事(下畑1畝25歩、質銀235匁、質主兵太夫他2名→浜表治左衛門)	

92	相渡置申儀定書之事(撫川銀札など8貫目、竹屋善兵衛→表治左衛門)	安政4年
92	壹ヶ年切相渡申質地証文之事(下畑3畝14歩半、質銀800目、質地主伝九郎他2名→勇崎浜庄屋治左衛門)	安政1年
93	質入申家証文之事(居家1軒、質銀163匁、質主定吉他2名→浜表治左衛門)	安政3年
94	壹ヶ年切相渡申質地証文之事(見附畑など8筆、質銀31両、質主元亀屋藤七郎他2名→勇崎治左衛門)	安政4年
95	[中塚治左衛門・せい離縁関係書類](暇状・人別手形・衣類書上など13点)	安政4年
96	差入申規定書之事(塩浜・釜屋質入の件、勇崎村八太郎他2名→浜表治左衛門)	安政5年
97	乍恐以書付奉申上候(庄屋袴着用願、窪屋・都宇・浅口郡庄屋35名→倉敷御役所)	安政5年
98	袴一件記録、勇崎浜(庄屋袴着用願のこと)	安政5年
99	乍恐以書附奉願上候(勇崎浜押山浜庄屋治左衛門病身につき百姓助左衛門庄屋助勤任命願、勇崎浜押山浜・百姓・年寄庄屋18名→倉敷御役所)	文久1年
99	質入申塩浜之事(塩浜釜屋敷21筆、金250両、質入主勇崎浜治左衛門→大原与兵衛)	文久3年
100	乍恐以書付奉願上候(御年貢銀岡田銀札両替の儀、当御代官所備中国浅口郡村々惣代勇崎浜庄屋治左衛門→倉敷御役所)	文久2年
101	以書付御願申上候(小売塩一手売捌のこと、小売場良助→浜方御役人中)	文久2年
102	御請規定書之事(三ヶ浜松山登塩取引の儀7ヶ条、勇崎押山塩問屋和泉屋千賀治他3名庄屋治左衛門→御城下新町年寄定次)	文久3年
102	質入申証文屋敷之事(屋敷1畝25歩、質銀200目、質主民右衛門他2名→三蔵)	文政2年
102	五ヶ年切相渡申質地証文之事(下々田9畝16歩、質銀500目、質主藤右衛門他2名→浜表治左衛門)	
102	差出申一札之事(奥筋登塩の儀など5ヶ条、又三郎他28名→庄屋治左衛門他辻役2名)	寛政7年
102	申合之事(成羽登塩・高瀬木のことなど11ヶ条、半蔵他55名→庄屋次左衛門)	寛政6年
102	差出申御詫一札之事(夜中塩取引方不束の儀、柏島村此蔵弟釜焚仲蔵、勇崎村塩売由吉→庄屋治左衛門他年寄2名)	弘化5年
102	覚(権兵衛塩浜反別書上)	年月日未詳
102	差入申質地証文之事(塩浜釜屋敷2反6歩余、奥筋登塩取次人八太郎他1名→庄屋次左衛門他塩役五郎兵衛・安右衛門)	寛政8年
102	奉差上内済証文之事(直仕役料のこと、押山浜直仕役与市兵衛他5名→柘植又左衛門御役所)	享和2年
102	差上申済口証文之事(阿賀崎新田村百姓文蔵姉賀寿平離別の儀、寿平他16名→藤方彦一郎様倉敷御役所)	辰年
102	乍恐以書付御訴訟奉申上候(勇崎村又三郎東作他8名庄屋役、塩薪株式押領の件、勇崎浜庄屋治左衛門→御奉行所)	天保12年
102	乍恐以書附奉願上候(御陣屋内囲蔵窪屋・都宇・浅口・小田貯穀の儀、四郡惣代庄屋10名→大原四郎右衛門様御役所)	午年
102	乍恐以書付御歎奉申上候(御陣屋内貯穀の儀、四郡惣代庄屋7名→大原四郎右衛門様御役所)	文化7年
103	生魚問屋元方仲間儀定之事(仕入金株益銀・元方口銭の儀など6ヶ条、生魚問屋元方勇崎浜治左衛門西之浦八十吉他1名)	文久4年
104	塩田稻荷宮再建寄附帳(引受世話方西山源右衛門他3名)	嘉永1年
104	奉差上内済証文之事(勇崎村又三郎より押山浜与右衛門へ相掛御年貢不納の儀、又三郎・与右衛門他2名→大岡久之丞様御役)	辰年
104	奉差上内済証文之事(勇崎村又三郎より押山浜与右衛門へ相掛御年貢不納の儀)	辰年
104	相渡申一札之事(哲多郡御廻米御蔵積入の儀、川上郡平川村庄屋書人弥七郎他2名→実村長百姓太田辰五郎)	弘化3年
104	相渡申譲証文之事(御廻米積入御蔵3ヶ所、蔵詰立会場1ヶ所代金200両、譲主川上郡平川村庄屋弥七郎他5名→実村長百姓太田辰五郎)	弘化3年
104	乍恐以書付御届奉申上候(阿賀・川上両郡村々御廻米浜積入御蔵譲渡のこと、川上郡平川村庄屋弥七郎阿賀郡実村長百姓太田辰五郎→倉敷御役所)	弘化3年
104	預り申金子之事(金150両、引当御蔵所譲証文、岡本屋直七郎、郡屋治左衛門→中屋与五兵衛)	弘化3年
104	目録(仕切代金79両3分余、紀州大島浦周並屋市左衛門→住寿丸喜久松)	未年
104	乍恐口上(御領分備中国村々産物取調のこと、勇崎浜庄屋中塚治左衛門→森辰太郎)	寅年
104	乍恐口上(御領分備中国村々産物取調のこと)	寅年
104	宗門放手形之事(押山浜木口八右衛門娘まき、下道郡陶村浅野堅蔵忤に嫁入、柏島村福寿院→陶村庄屋太田官蔵)	明治4年
104	奉差上内済証文之事(片島村妙住寺より同村法厳寺へ相掛訴上、新道築立の件、両寺・旦家惣代、取喰人16名→大岡久之丞様)	文化4年
104	塩釜宮拝殿御屋根替(左官永作→中塚旦那)	年月日未詳
104	為取替証文之事(村方より庄屋丈兵衛へ相掛出入の件、賀陽郡東山内村百姓・年寄・庄屋など11名)	文化4年
104	奉差上御請書之事(松平備前守様へ御出入願上一件、浅口郡片島村他7ヶ村庄屋→倉敷御役所)	元治1年
104	乍恐以書附御詫奉申上候(御召出御差紙日限遅滞、手錠宿預の件、勇崎村百姓庄六他4名→倉敷御役所)	辰年
104	[浅口郡片島村他7ヶ村海防持場の件]	元治1年
104	相渡申質地証文之事(田畑3筆、67匁2分、質主権吉他1名→重右衛門)	文化3年
104	乍恐以書付御願下奉申上候(貸銀滞出入内済、柏島村年寄訴訟方重右衛門、同村百姓相手方権吉他2名→大岡久之丞様御役)	卯年
104	売渡申候家証文之事(家1ヶ所、銀200目、売主次八他3名→浜庄屋次左衛門)	嘉永7年
104	[御札](備中国海防持場相勤につき御館入差許のこと、浅口郡片島村他7ヶ村庄屋)	年月日未詳
104	壹ヶ年切質地証文之事(塩浜釜屋敷4ヶ所、5貫900目、村惣作地質主治左衛門他2名→福左衛門)	慶応1年
104	相渡申質地証文之事(塩浜釜屋敷7ヶ所、2貫625匁、勇崎浜治左衛門他3名、阿賀崎新田村新屋茂兵衛)	嘉永5年
104	書置申口上(借財相重家出のこと、理之丞→中塚治左衛門他2名)	年月日未詳

104	〔祝詞〕	年月日未詳
104	乍恐口上(御代官大竹左馬太郎様御支配所浅口郡片島村外7ヶ所海防持場御用につき村々庄屋御館出入御赦免願、8ヶ村庄屋→岡山御役所)	文久4年
105	覚(魚問屋元方益銀181貫521匁、勇崎治左衛門→西之浦八十吉)	子年
105	乍恐以書附奉願上候(村々御年貢上納銀、丁銀不自由の儀、片島村他9ヶ村庄屋→倉敷御役所)	元治1年
106	〔勇崎浜中塚治左衛門、西之浦大野八十吉魚問屋懸り引合書類3通〕	元治1年
107	〔請書〕(長州出兵人馬継立の達書御請のこと、都宇・賀陽・窪屋・浅口・小田郡24ヶ村→倉敷御役所)	元治1年
108	備州公江御館入始末書類(浅口郡片島村他7ヶ村海岸防備のこと)	元治1年
109	掛屋一件願書控(村々御年貢上納につき丁銀不自由のため掛屋大橋平右衛門へ金子にて相渡こと、片島村他7ヶ村→倉敷御役)	元治1年
110	差入申御詫一札之事(盗取石炭とは知らず買取の件、勇崎村石太郎→庄屋・御役人衆中)	慶応1年
111	差入申御詫一札之事(盗取石炭とは知らず買取の件、勇崎村福五郎→庄屋・御役人衆中)	慶応1年
112	矢掛宿新助郷一件御添翰願写并御願下内済規定書共三冊(長州出兵の件、訴訟人浅口郡乙島村他5ヶ村、相手方矢掛宿・里山)	慶応1年
113	差入申御詫一札之事(盗取石炭買取の件、勇崎村虎吉→庄屋・御役人衆中)	慶応2年
114	乍恐以書附奉願上候(銀札引替の儀につき片島村外7ヶ村難渋のこと、勇崎浜中塚治左衛門→岡田御役所)	慶応2年
115	〔魚問屋仕方并預方書類12通〕(亀島重平→中塚治左衛門など)	慶応2年
116	〔魚問屋一件諸書類22通〕(西ノ浦直吉株生魚問屋勇崎浜治左衛門買取のこと)	慶応2年
117	売渡申証文之事(生魚問屋株、代金375両、西之浦売主富島屋直吉他6名→勇崎浜庄屋治左衛門)	文久3年
117	売渡申船証(71石積船1艘、代金173円、播磨国加古郡東二見売主井上半蔵他1名→勇崎村中塚吉重郎)	明治6年
117	〔岡田御用大坂登荷物書類10通〕(鉄積登のことなど)	明治2年
117	差入申小作証文之事(下々畑5筆、押山浜小作人年寄喜右衛門他2名→押山浜百姓木口文助)	慶応3年
117	預り手形之事(大神丸重兵衛船竹田石炭400樽、勇崎浜彦[]→浜表治左衛門)	明治3年
117	売仕切(石炭325俵、讃岐亀屋栄蔵→全福丸芳蔵)	辰年
117	買仕切(塩2斗3升入2165俵、6貫677匁余、灰屋清三郎→住寿丸菊松)	酉年
117	仕切(塩796俵など、平戸大島讃岐屋市蔵→住福丸亀蔵)	戌年
117	買仕切(塩1500俵、下村塩問屋京之助→住寿丸兵作)	文久3年
117	仕切状之事(杉など、内海屋伝兵衛→住福丸市松)	巳年
117	乍恐口上書ヲ以奉伺候(押山浜与右衛門年貢銀差詰質地差入のこと、押山浜喜右衛門他1名)	年月日未詳
117	小作証文之事(塩浜・畑地4ヶ所、勇崎浜治左衛門他1名→倉敷吉井屋小右衛門)	文久1年
117	乍恐以書付奉申上候(塩売捌の儀、勇崎浜役人4名→倉敷御役所)	天保13年
117	売買仕切(塩・千賀、伊予風早米屋源七→備中玉島朝千丸和吉)	酉年
117	覚(塩など請取、備前[]→中塚吉重郎)	申年
117	手取仕切(今福石炭・115円余、本田屋→住福丸吉重郎)	明治7年
117	売渡申羽書之事(100石積船、金172両、播磨国加古郡東二見売主井上平蔵他1名→勇崎村中塚吉十郎・正栄丸庄吉)	明治6年
117	〔金子算用〕(碇泊税・塩・足袋・中次表代金など、間杉[]→中塚菊松)	戌年
117	手形之事(住福丸石炭代9両2分借用、借用主作太郎他2名→中塚吉十郎)	未年
117	借用申証文之事(100石積船金172両、勇崎村中塚吉十郎船頭庄吉→播州加古郡東二見井上半蔵、船棟梁九兵衛)	明治6年
117	差入申銀証文之事(4両1歩2朱、借用主庭瀬浜田屋三郎兵衛他1名→勇崎庄屋治左衛門)	嘉永4年
117	差入申御詫一札之事(酒酔浜地橋を引落乱妨の段、勇崎村治三郎、茂吉悻千太郎→勇崎浜庄屋中塚治左衛門)	慶応2年
117	差入申一札之事(久美屋喜右衛門、山田屋文助算用合の儀、両名→庄屋治左衛門)	安政5年
117	壹ヶ年切質地証文之事(中浜1反6畝余・釜屋敷1畝8歩、1貫目、質主治左衛門他1名→油屋三蔵)	弘化3年
117	預り手形之事(浜入より買入塩5斗入5000俵、塩問屋勇崎浜和泉屋千賀治、塩預主庄屋治左衛門、年寄三蔵→本庄屋小田伊八郎、西江原村健三)	嘉永6年
117	覚(片島岩井屋より預米勘違のこと、西之浦上金屋正平他1名→勇崎浜中塚治左衛門)	丑年
117	売渡申船証文之事(40石積、18両2分、船売主勇崎浜庄屋治左衛門他1名→庭瀬浜田屋三郎兵衛)	嘉永4年
117	壹ヶ年切質地証文之事(浜3筆、92両、質主長五郎他1名→庄屋治左衛門)	慶応1年
117	仮規定之事(阿賀・川上・哲多郡蔵元の儀、阿賀崎新田村蔵元良助他3名)	嘉永2年
117	記(石炭642樽、71422斤、84円、板谷房吉→住福丸芳蔵)	明治8年
118	郡中入費御規制(16ヶ条、都宇・浅口・賀陽・哲多・阿賀・勝北・西北条・神石・後月郡など18ヶ村庄屋→倉敷県御役所)	年月日未詳
119	〔家相図、明治二十六年農商必要便など〕	年月日未詳
120	浜方一同申合儀定書之事(諸賃銭のことなど7ヶ条、村役人惣浜人)	明治4年
122	浜方申合議定書之事(釜屋内取締方など4ヶ条、中塚治左衛門他11名→庄屋助勤中塚助左衛門)	明治4年
122	浜方諸賃議定(清次郎他10名)	明治4年
122	浜方一同申合議定書之事(諸賃銭など8ヶ条)	年月日未詳

123	明治四年十月中塩相場書上(勇崎浜・押山浜塩仲買中塚千賀助他3名)	明治8年
124	乍恐以書付奉願上候(勇崎浜悪水吐水門の儀、勇崎浜小前惣代仁志政次郎他2名→倉敷県御庁)	明治4年
125	[知事巡村告諭請書](勇崎浜・押山浜41名→倉敷県御庁)	明治4年
126	往来手形之事(押山浜中塚延吉・ふさ伊勢参宮、庄屋中塚実三郎→国々御番所)	明治5年
127	[小田県管轄第十七大区小十九区戸籍・職分寄留総計](東西勇崎村・勇崎浜・押山浜、戸長中藤敬吉・副戸長中塚実三郎)	明治5年
128	[御官費箇所・組頭人撰・物産など御届](勇崎浜・押山浜庄屋中塚実三郎他→深津県小田県御庁)	明治5年
129	[小田県管轄第十七大区第十九小区職分戸籍寄留惣計]	明治5年
130	産物書上	年月日未詳
132	乍恐御歎願奉申上候(戸長・副戸長任命について、東勇崎村123名→小田県御庁)	壬申年
133	五拾石以下船数書上(第17大区小19区勇崎村、16艘、組頭井手松平他2名→小田県権令矢野光儀)	明治5年
135	五拾石以下積石船数書上(戸長中藤敬吉他2名→小田県権令矢野光儀)	明治5年
136	地券書上(勇崎村井手理一郎)	壬申年
138	地価増方御届(勇崎浜副戸長中塚実三郎・戸長中藤敬吉→小田県権令矢野光儀)	明治6年
140	[成人届綴](15通)(勇崎村副戸長中塚実三郎戸長中藤敬吉→浅口郡徴兵調掛)	明治6年
141	御定免願御請書(東勇崎村百姓惣代保長・戸長・副戸長7名→小田県権令矢野光儀)	明治6年
142	[酒造・旧暦廃止・旧藩県紙幣交換のこと]	明治6年
143	盗難御届(紺屋森本常蔵方、副戸長中塚実三郎戸長中藤敬吉→小田県権令矢野光儀)	明治6年
144	遺漏御願(戸籍遺漏、勇崎村副戸長中塚実三郎戸長中藤敬吉→小田県権令矢野光儀)	明治6年
145	船証文奥印井同御改願ひかへ(浅口郡小19区勇崎浜外3ヶ村)	明治6年
145	廻文留(中欠)(第17大区浅口郡小19区)	明治6年
146	遺漏御願・御租税米石代金上納願(勇崎村副戸長中塚実三郎・戸長中藤敬吉→小田県権令矢野光儀)	明治6年
147	御免定願御請書(東勇崎村百姓惣代保長・戸長・副戸長→小田県権令矢野光儀)	明治6年
148	御水門番給扶持書上(勇崎村戸長中藤敬吉・副戸長中塚実三郎→小田県権令矢野光儀)	
149	明治六年酉出来塩書上(勇崎浜押山浜5斗27600俵、5546円余、両浜稼人・戸長・副戸長22名→小田県権令矢野光儀)	明治7年
150	樋守給御下ヶ渡願(勇崎村副戸長中塚実三郎・戸長中藤敬吉→小田県権令矢野光儀)	明治7年
151	水門給米御歎願(水門番人安原林之助他4名→小田県権令矢野光儀)	明治7年
152	丑ヨリ申迄貳拾ヶ年御貢塩値段書上(押山浜勇崎浜)	明治7年
153	歎願書(父の投獄赦免願、勇崎村山本鶴吉→小田県権令矢野光儀)	明治7年
154	指出申御請書之事(貯穀のこと、勇崎浜押山浜32名→戸長中藤敬吉副戸長中塚実三郎)	明治7年
155	僕婢税金上納書(勇崎村副戸長中塚実三郎・戸長中藤敬吉→小田県権令矢野光儀)	明治7年
156	[地券関係願書・御伺3通](勇崎浜押山浜村役人代中塚銀太→地租改正局)	甲戌年
157	自嘉永六丑年至明治五申年貳拾ヶ年御貢塩値段書上(勇崎浜・押山浜保長・副戸長・戸長→小田県権令矢野光儀)	明治7年
158	[地券書分願](勇崎村戸長・副戸長)	明治7年
159	船売買御願書(売主玉島村田村元吉・買主勇崎村柚木友吉→小田県権令矢野光儀)	明治7年
160	[勇崎村塩釜社境内取調](保長・戸長・副戸長5名)	明治7年
161	記(官立師範学校規則)	
162	船売買御届(売主勇崎村三宅此吉、買主大坂府下北第21区三宅嘉助→小田県権令矢野光儀)	明治8年
163	癸酉村費取調書上(押山浜小前惣代・保長・副戸長・戸長5名→小田県権令矢野光儀)	明治8年
164	壬申村費取調書上(勇崎浜小前惣代・保長・副戸長・戸長6名→小田県権令矢野光儀)	明治8年
165	壬申村費取調書上(第19区小前惣代・保長・副戸長・戸長5名→小田県権令矢野光儀)	明治8年
166	壬申村費取調書上(押山浜小前惣代・保長・副戸長・戸長5名→小田県権令矢野光儀)	明治8年
167	賃金催促ノ訴手續書(羽後国秋田郡出崎湊間杉五郎八より浅口郡柏島村菊松船乗渡世鈴木亀松へ相係上訴の件、黒崎村引合代人石橋惣左衛門、代書人三宅篤太郎、引合人中塚吉十郎→御長官)	明治8年
168	手續書(羽後国秋田郡出崎湊間杉五郎八より浅口郡柏島村菊松船乗渡世鈴木亀松へ相係上訴の件、石橋惣左衛門・勇崎村中塚徳太郎→副区長)	明治8年
169	船宮新田売渡証文面上畝地代金扣書(買受人実三郎他3名)	明治8年
170	船買売買御願(118石積徳寿丸乗組3人、買請人勇崎村渡辺五三郎、売人大坂府田中半兵衛→小田県参事益田包蔵)	明治8年
171	記(勇崎村小学校就学人数出納など、学区取締荒木耕四郎、戸長中藤敬吉、副戸長中塚実三郎)	明治8年
172	[小学校出納長](学区取締妹尾一三郎他戸長中藤敬吉、副戸長中塚実三郎)	明治7年
172	婢御願書(4通)	明治7年
173	甲戌村費取調書上(押山浜、小前惣代・保長・副戸長・戸長5名→小田県権令矢野光儀)	年月日未詳
173	甲戌村費取調書上(勇崎浜、小前惣代・保長・副戸長・戸長6名→小田県権令矢野光儀)	明治8年
174	賃金催促之訴状(間杉五郎八・鈴木亀松、金300円貸借の件)	明治8年

174	心得書(間杉五郎八・鈴木亀松、金300円貸借の件)	年月日未詳
174	委任状之事(間杉五郎八・鈴木亀松、金300円貸借の件、代言人委任)	明治8年
175	記(船鑑札20枚返上のこと、勇崎村副戸長中塚実三郎他1名→小田県権令矢野光儀)	明治8年
176	御鑑札御下附二付御受書(烟草卸、営業鑑札、勇崎村副戸長西山武治・中藤敬吉→岡山県令高崎五六)	明治9年
177	御裁判通執行不申二付御届(勇崎村悪水溝附替堀浚の儀、原告代言人黒崎村石橋惣左衛門、被告勇崎村山本市三郎)	明治9年
178	塩竈宮御屋根葺替仕法書(藤沢伝五郎)	明治11年
179	地所譲渡証書(譲渡人中塚実三郎他3名→中塚福治郎・長十郎)	明治16年
180	地券御書換願(譲渡人中塚実三郎・譲受人中塚長十郎他3名→浅口郡長窪津義忠)	明治16年
181	地券御書換願(譲渡人中塚実三郎・譲受人中塚長十郎他3名→浅口郡長窪津義忠)	明治16年
182	議定証書之事(加地子不足の件、柏島村西藤助他1名→中塚実三郎)	明治19年
182	建家并屋敷書入金子借用証書(畑・屋敷2棟、金60円、借用主勇崎村山本亀松他1名→中塚実三郎)	明治6年
182	永代売渡畑証文之事(大縄畑6反4畝余、126円、売主勇崎村農中塚吉重郎→同村中塚実三郎)	明治8年
182	屋敷地売渡条約証書之事(18円屋敷9歩、売渡人黒崎村武箭茂次郎他1名→勇崎村中塚実三郎)	明治9年
182	質地屋敷地之事(屋敷1畝15歩、16円50銭、借主勇崎村森石俊吉他1名→中塚実三郎)	明治8年
182	金子借用証文之事(勇崎村勇崎浜立会御水門普請入用金90両、勇崎村・勇崎浜庄屋年寄5名→押山浜中塚徳次)	明治5年
182	永代売渡畑証文之事(畑4畝3歩14円、売渡主西改次郎他1名→中塚実三郎)	明治9年
182	地所売渡証(宅地6畝15歩、耕地2畝9歩55円、売渡主山本清三郎他1名→中塚実三郎)	明治11年
182	耕地小作証書之事(屋敷2畝10歩、預り米4斗2升、勇崎村森石俊吉→中塚実三郎)	明治8年
182	代価地券御書換願(宅地5畝3歩、勇崎村相続人中藤トヨ他2名→浅口郡長窪津義忠)	明治16年
182	売渡申畑地証文之事(下畑1畝2歩、50銭、黒崎村武箭茂次郎他1名→勇崎村中塚実三郎)	明治9年
182	差入申小作証文之事(大縄畑6反4畝5歩、預り麦7石8斗3升余、小作人弥十郎他9名、地主勇崎村中塚実三郎他3名、催合講主林宏一郎他2名)	明治8年
182	相渡し申小作証文之事(見分畝4畝小作米6升、小作主木浜仁平他1名→勇崎浜助左衛門)	明治2年
182	永代売渡畑証文之事(中畑8畝7歩、45円、売主中塚民平他1名→中塚実三郎)	明治9年
182	永代売渡浜証文之事(浜4畝7歩半、18円75銭、売主柚木芳蔵他2名→中塚実三郎)	明治9年
182	借用申金子之事(4円30銭、借主木口常太郎他1名→中塚実三郎)	明治7年
182	船売渡御届(150石積住福丸、勇崎村中塚吉十郎から安芸国加茂郡仁方村若狭弥助へ売渡、中塚吉十郎→浅口郡長窪津義忠)	明治14年
182	売渡申屋敷証文之事(屋敷9歩、5円50銭、黒崎村武箭茂次郎他1名→勇崎村中塚実三郎)	明治9年
182	家売渡証書(14円、売主高松耕平他1名→中塚実三郎)	明治8年
182	条約証(国富勝蔵借用金事件延日のこと、引受主西井仙太郎→中塚実三郎)	明治10年
182	記(12反帆船1艘、410円、新居郡禎瑞村平井弥七→備中玉島中塚実太郎)	明治14年
182	畑地売渡之証書之事(下畑4畝、19円余、勇崎村売渡人木口常太郎他1名→中塚実三郎)	明治10年
182	新醤油平均相場書上(柏島村中塚吉十郎→浅口郡長帖佐謙吉)	卯年
182	新醤油平均相場書上(柏島村小林和平)	年月日未詳
182	永代売渡畑証文之事(畑6畝27歩、20円、勇崎村売主高松耕平他1名→中塚吉十郎)	明治9年
182	畑書入金子借用之事(下畑4畝19歩、金15円、勇崎村書入主渡辺貞次郎他1名→同村中塚実三郎)	明治8年
182	耕地小作証文之事(畑3畝20歩、小作正麦4斗4升、柏島村小作人道広吟介他1名→勇崎村中塚実三郎)	明治8年
182	質地田地之事(上々田5畝22歩半、50円、借主西井多吉他1名→中塚実三郎)	明治8年
182	船売艘売渡申事(9反帆、阿州板野郡古川村売主広八他1名→備中買主田中滝太郎)	文久1年
182	地所売渡証(畑8畝18歩、39円、地所売渡主西井多吉他1名→中塚実三郎)	明治12年
183	荒地起返御賦租願(10筆5反6畝20歩、中塚一郎・銀太→岡山県知事千坂高雅)	明治22年
184	地所絵図其他適用綴込(家屋台帳変換地御届并地価御修正願、変換地丈量絵図、柏島村)	明治23年
185	地目変換地御届并地価御修正願	明治25年
186	土地分裂御届(中塚長十郎→千坂高雅)	明治25年
187	土地免租年期明低価願(柏崎村21筆2町6反4畝、地主惣代中塚千賀治、儀八→岡山県知事千坂高雅)	明治27年
188	改租誤謬地訂正願同上絵図面(柏崎村、塩田・畑50筆5町7畝25歩)	明治27年
189	土地合併御願(中塚長十郎→千坂高雅)	明治27年
190	覚(検地役人巡村触、今井七郎兵衛、平岡吉左衛門)	戌年
191	覚(塩役五郎兵衛安左衛門塩蔵本毎日出勤の儀、阿波屋五三郎方沖塩直師銀算用のこと、五郎兵衛・安左衛門他6名)	午年
192	口上書(倉敷御支配所黒崎村より笠岡御支配所横島村他4ヶ村へ相掛漁場出入一件、鴨方村定右衛門→勇崎浜治左衛門、絵図)	丑年
193	乍恐以書附御吟味御下奉願上候(西之浦山本屋善蔵より押山浜平兵衛へ相掛繰綿代銀滞出入の件、善蔵・平兵衛他4名→大原四郎右衛門様御役所)	年月日未詳

194	乍恐以書附御吟味御下奉願上候(西之浦山本屋善蔵より押山浜平兵衛へ相掛繰綿代銀滞出入の件、善蔵・平兵衛他4名→大原四郎右衛門様御役所)	年月日未詳
195	覚(浜・釜屋敷5ヶ所御改請、七野右衛門後家→庄屋次左衛門)	申年
196	乍恐以書付御詫奉申上候(賀陽郡奥坂村紋助他4人御年貢銀納方心得違の儀)	年月日未詳
197	乍恐以書付奉願上候(株式横領出入のため治左衛門江戸出府留守中・御用村用乙島村庄屋重左衛門後見のこと、勇崎浜・押山浜・乙島村、村役人8名→倉敷御役所)	丑年
198	浜方申合之事(奥筋塩取次人口銭塩のことなど五ヶ条)	年月日未詳
199	定(御年貢塩のこと、荒井助左衛門他2名→本橋太郎助他1名)	辰年
200	覚(浜4ヶ所入札落札のこと)	年月日未詳
201	乍恐以書付御願奉申上候(塩値段下値惣百姓困窮につき拝借願、勇崎浜長百姓・百姓代・年寄・庄屋10名→大原四郎右衛門様)	戌年
202	[吹屋上り塩計のこと]	年月日未詳
203	乍恐以書付奉願上候(勇崎村より入作百姓伝九郎塩捌方自分勝手のこと、勇崎浜塩役→柘植又左衛門様御役所)	酉年
204	乍恐御敷奉願上候口上(御城下登塩直師口銭御下渡のこと、押山浜勇崎浜庄屋治左衛門→松山御奉行所)	寅年
205	覚(薪・塩定書など7通書上、勇崎浜庄屋治左衛門→倉敷御役所)	丑年
206	乍恐以書付奉願上候(阿賀郡実村太田八太郎御城米川下分引請のこと、勇崎浜庄屋治左衛門→倉敷御役所)	亥年
206	[太田元左衛門宛千松山卯之作書状]	年月日未詳
206	[中塚治左衛門宛八百倉卯之作書状]	年月日未詳
206	御願証文之事(身代不如意につき改革主法の儀、実村太田八太郎他3名→倉敷下津井屋吉左衛門)	文久1年
206	乍恐以書付奉願上候(阿賀郡実村太田八太郎御城米川下分引請のこと、勇崎浜庄屋治左衛門・阿賀郡浜詰実村庄屋助勤元左衛門→池田様)	戌年
208	[郡中書類](文政13年貯穀拝借一件・郡割入用請払勘定書他廻文・覚など)	年月日未詳
208	[他村へ掛合書類](己未年当浜諸用扣所々へ遣交交通留、勇崎浜次左衛門他書状など)	年月日未詳
209	下稲木村一件取喰書類(袋)	巳年
209	船数書上帳(勇崎浜押山浜)	嘉永7年
209	[勇崎浜・押山浜庄屋治左衛門宛柏島村庄屋幸兵衛書状](異国船防禦につき村船数御届のこと)	年月日未詳
209	覚(人足など書上)	年月日未詳
209	[中塚宛力蔵書状](水揚人足書上)	年月日未詳
209	[清左衛門宛幸兵衛書状]	年月日未詳
209	[勇崎浜庄屋治左衛門・勇崎村庄屋多喜蔵宛柏島村庄屋幸兵衛書状](海岸防固につき鉄砲松山出船のこと)	年月日未詳
209	口上(松山より大筒当所へ御越のこと、多喜蔵→治左衛門)	年月日未詳
209	異国船一件書類入(袋)	嘉永7年
209	壹ヶ年切相渡申質地証文之事(畑・屋舗3筆、1貫300目、質主龍勢故他1名→浜表治左衛門)	万延1年
209	[触](強訴徒党の禁、桑能登守3名)	酉年
209	為取替議定之事(郡中入用臨時手当銀13貫155匁余、都宇・窪屋・浅口・賀陽・哲多・阿賀郡16ヶ村郡中惣代)	嘉永6年
209	壹ヶ年切相渡申質地証文之事(屋敷1畝、3歩300目、質主亀松他3名→勇崎浜庄屋治左衛門)	安政1年
209	譲り売渡し申田畑之事(田16筆、20貫目、佐方村売主荒木儀吉他1名→勇崎浜治左衛門)	嘉永6年
209	奉公人請状之事(勇崎村奉公人中塚熊吉他1名→中塚吉十郎)	明治8年
209	[触](博奕賭勝負の禁、倉敷御役所)	申年
209	乍恐以書付奉申上候(勇崎村・勇崎浜より黒崎村へ掛り訴上出入内済の件、勇崎浜庄屋次左衛門・百姓代三蔵→倉敷御役所)	巳年
209	乍恐以書附御願奉申上候(小田郡下稲木村出入の件、下稲木村百姓代訴訟方惣代宇兵治・勇助相手方同村庄屋嘉一代役五郎右衛門他6名→倉敷御役所)	巳年
209	乍恐以書付御願奉申上候(下稲木村出入内済のこと、黒崎村庄屋礼蔵、勇崎浜次左衛門→倉敷御役所)	巳年
209	相渡し書付之事(出入内済につき、下稲木村五郎右衛門・宇兵衛他4名→取喰人勇崎浜次左衛門)	寛政9年
209	乍恐以書付御届奉申上候(下稲木村内済入用、惣高割につき落印百姓不承知の件、黒崎村庄屋礼蔵、勇崎浜次左衛門→倉敷)	巳年
209	奉差上内済証文之事(小田郡吉田村武右衛門組社人藤井伊豆、同村惣右衛門組百姓柳蔵質流地出入の件、伊豆・柳蔵他年寄・取喰人5名→大岡久之丞様御役所)	卯年
209	村方出入取喰内済為取替証文(小田郡下稲木村出入につき立会勘定のこと、訴訟方惣代宇平治、勇助差添人年寄勘兵衛相手方庄屋嘉一代役五郎右衛門他取喰人など5名)	寛政9年
210	[乙島村熊太郎・伝次郎立会勘定書類]	辰年
210	定林寺寄附銀受取事	文政4年
210	趣意書(堂守人別の件)	
210	仕切(苺、紀州熊野大島田並屋市右衛門→備中住寿丸兵作)	戌年
211	乍恐以書附御敷願奉申上候(窪屋浅口都宇郡村々庄屋御用相勤節袴着用のこと)	年月日未詳

212	為取替議定書(袴着用の儀につき)	年月日未詳
213	朝廷ヨリ御達書写(海岸防備のこと)	年月日未詳
214	乍恐以書附奉内願候(浅口郡村々海岸防備のこと)	年月日未詳
215	覚(塩浜上納銀算用、勇崎浜庄屋次左衛門→中谷平右衛門)	亥年
216	預置仕切覚(塩大俵160俵など万間屋浜屋幸右衛門→玉島[])	年月日未詳
217	[仕切](札130目、万間屋浜藤兵衛)	年月日未詳
218	仕切(石炭550俵、49両2分、三戸瀬山勘助→住福丸芳蔵)	年月日未詳
219	[中塚表御店宛問屋卯平書状](住福丸札くるいの件)	年月日未詳
220	手板覚(杉板、紀州大川屋儀右衛門→備中住寿丸菊松)	年月日未詳
221	売仕切(桃波27丸、綱屋半兵衛→酢屋信八郎)	未年
222	仕切目録(石炭575樽、5貫347匁5分、石谷村勘陽→住福丸芳蔵)	癸酉年
223	仕切之覚(塩210俵、菊三郎→戎丸銀蔵)	午年
223	仕切(塩276俵、満寿屋益太郎→住福丸芳蔵)	戌年
223	仕切(葉たばこ日本一、5丸、玉島湊高橋勇三郎→住寿丸菊松)	申年
223	仕切(鯉節、熊野引本浦浜田弥四郎→備中住福丸八太郎)	未年
223	仕切(鯉節、熊野引本浦浜田弥四郎→備中住福丸八太郎)	未年
223	仕切状之事(野崎塩25俵、口口兵右衛門→住福丸八太郎)	未年
223	売仕切(こふじ、備後山田屋常助→胡丸庄吉)	酉年
223	売仕切迄(こうじ、備後松永上ノ町留吉→朝千丸吉[])	酉年
223	売仕切之事(干粕400俵、土島、豊後屋莊兵衛→大坂屋伊八)	亥年
223	売仕切(ハツ代みかんなど、あみ屋平次郎→胡子丸庄吉)	年月日未詳
223	仕切(早桃、[]→備中蛭子丸和平)	年月日未詳
223	目録覚(塩買入金札5両、大島田並屋市右衛門→住福丸八太郎)	未年
223	買仕切(塩90俵、紀州田并屋市右衛門→住寿丸喜久松)	年月日未詳
223	送り状之事(薬種入、大坂道修町津好宗八→備中勇崎中塚吉十郎)	亥年
223	奉願上候(薬種入、大坂道修町津好宗八→備中勇崎中塚吉十郎)	亥年
223	証(金5円入書状受取、津好宗八→徳寿丸平吉)	年月日未詳
223	神徳丸清次郎船積送状(いづみ屋三郎兵衛→勢州四日市稲葉三右衛門)	酉年
223	覚(符丁書上)	年月日未詳
223	壹ヶ年切売渡山証文之事(120目、山売主喜次郎他1名→喜平太)	文化5年
223	御詫一札之事(船口一件、柏島村詫人忠吉他2名→勇崎浜庄屋次左衛門)	文化14年
223	売仕切(口松割3箱、対馬屋藤兵衛→住福丸亀蔵)	明治8年
223	覚(船蔵屋→住福丸婦蔵)	年月日未詳
223	記(酒痛のこと、若竹屋幸助→住福丸由蔵)	年月日未詳
223	売仕切(男山酒・醤油、対馬屋藤兵衛→住福丸亀蔵)	明治8年
223	仕切(石炭500樽、35両、平戸白石孫太郎→住福丸亀蔵)	戌年
223	売仕切(繰綿3本、塩287俵、大黒屋亦四郎→住福丸芳蔵)	未年
223	売仕切(塩・対馬屋藤兵衛→住寿丸亀蔵)	明治8年
223	仕切(しの巻1本、3両、田市店→住寿丸菊松)	申年
223	買仕切(備中莢、紀州熊野大島田並屋市右衛門→住寿丸菊松)	申年
223	買仕切(備中莢、紀州熊野大島田並屋市右衛門→住寿丸菊松)	申年
223	かい仕切(備中葉、紀州熊野大島田並屋市右衛門→住寿丸菊松)	申年
223	売仕切(備中多葉粉、串本浦万売捌所鍵屋清右衛門→住寿丸喜久松)	申年
223	覚(本表・串鍵清→備中菊松)	年月日未詳
223	買仕切(備中玉島小野屋勇三郎→住寿丸菊松)	申年
223	[切手]	
223	売仕切(篠巻3本19両1歩、紀州田坂三栖屋平七郎→住寿丸菊松)	申年
224	[口上](樋之口砂除波戸の儀につき黒崎村・勇崎村差縫の件、礼蔵→勇崎浜治左衛門・片島村半右衛門)	年月日未詳
225	乍恐以書付御届奉申上候(黒崎村より勇崎村へ相掛用水取一件、勇崎浜庄屋治左衛門、片島村庄屋半右衛門→倉敷御役所)	年月日未詳
226	乍恐以書付御願奉申上候(黒崎村より勇崎村へ相掛用水取一件、黒崎村庄屋代礼蔵他7名→柘植久左衛門様御役所)	戌年
227	[願書](前欠)(小作出入の件、乙島村百姓与五兵衛煩につき代勇崎浜庄屋治左衛門、乙島村百姓孫七郎・市右衛門→倉敷御役所)	巳年
228	乍恐以書附奉願上候(黒崎村より勇崎村へ相懸用水取樋ノ口砂除波戸一件内済のこと、礼蔵他8名→三河郷太忠様御役所)	亥年
229	奉差上内済証文之事(黒崎村より勇崎村へ相懸用水取樋ノ口砂除波戸一件内済のこと、黒崎村相手方勇崎村・取喰人)	年月日未詳

230	乍恐以書付御願奉申上候(黒崎村より勇崎村へ相懸用水取樋ノ口砂除波戸一件内済のこと、黒崎村庄屋代礼蔵他4名→柘植様)	戌年
231	申定之事(黒崎村より勇崎村へ相懸用水取樋ノ口砂除波戸一件内済のこと、黒崎村・勇崎村→取喰人)	亥年
232	乍恐以書付奉願上候(乙島村百姓茂四郎より同村百姓長五郎へ相懸地所一件・茂四郎他2名→倉敷御役所)	巳年
233	山田屋掛(包紙)	年月日未詳
233	〔仕切〕(前欠)(内海屋伝兵衛→住寿丸菊松)	申年
233	覚(塩・津屋藤右衛門→住寿丸菊松)	年月日未詳
233	仕切状之事(米、内海屋伝兵衛→住寿丸菊松)	申年
233	仕切状之事(塩・しの巻・備中菰、紀州内海屋伝兵衛→住寿丸菊松)	申年
233	仕切状之事(杉など、紀州内海屋伝兵衛→住寿丸菊松)	申年
233	〔覚綴〕(15通)(志州浜島浦井上浅吉他→住寿丸菊松、荏油など)	年月日未詳
233	売仕切(杉、紀州熊野大島田並屋市右衛門→住寿丸菊松)	申年
233	仕切状(玄米、山本市右衛門→住寿丸菊松)	年月日未詳
233	目録覚(備中米・杉、紀州熊野大島田並屋山本市右衛門→住寿丸菊松)	年月日未詳
233	買仕切(備中米、紀州熊野大島田並屋山本市右衛門→住寿丸菊松)	申年
233	仕切書之事(備中米、池田屋久助→備中住寿丸菊松)	亥年
233	買仕切(菰・塩・しのまき、紀州田并屋市右衛門→住寿丸菊松)	申年
233	覚(酒など、紀州田並屋市右衛門→住寿丸菊松)	年月日未詳
233	仕切状之事(塩、紀州内海屋伝兵衛→住寿丸菊松)	申年
233	売仕切(鰹にがり、紀州田并屋市右衛門→住寿丸菊松)	年月日未詳
233	覚(塩、浜長三郎→住寿丸菊松)	年月日未詳
233	買仕切(塩、田并屋市右衛門→住寿丸菊松)	申年
233	仕切状之事(野崎塩、勢州賛浦野間屋吉蔵→玉島湊住寿丸喜久松)	申年
233	預り覚(備中たばこ、田并屋市右衛門→住寿丸菊松)	申年
233	仕切(塩・熊野日高屋嘉蔵→住米丸菊松)	年月日未詳
233	仕切(塩、志州浜島浦井上浅七→住寿丸菊松)	申年
233	預り覚(塩、紀州田并屋市右衛門→住寿丸菊松)	申年
233	目録差引通(綿、内海屋伝兵衛→備中住寿丸菊松)	明治6年
233	売仕切之事(杉、紀州熊野大島田并屋市右衛門→住寿丸菊松)	年月日未詳
233	出帆免状(住寿丸、日本形、320石、船頭菊松他4人、杉丸太1286本、勇崎浜中塚吉十郎所持、紀伊国牟婁郡古座湊船改所→備中国浅口郡勇崎浜船改所)	明治6年
233	出帆免状(住寿丸、杉、紀伊国牟婁郡大島港船改所木野仲輔→勇崎村船改所)	明治6年
233	贈状之事(住寿丸、杉1286本、紀伊国牟婁郡古座浦岩崎伝兵衛→勇崎浦中塚吉十郎)	酉年
233	証(住寿丸320石、入港碇泊税受取、紀伊国牟婁郡古座港船改所浦森木半十郎→勇崎浜港船頭菊松)	明治6年
233	仕切状之事(杉、内海屋伝兵衛→住寿丸菊松)	酉年
233	記(巻縄、紀州田并屋山本市右衛門→住寿丸喜久松)	酉年
233	記(布苔、紀州田并屋山本市右衛門→住寿丸喜久松)	酉年
233	証(住寿丸入港碇泊税受取、大島港船改所)	年月日未詳
233	送状之事(杉板、紀州国東牟婁郡大島浦山本市右衛門→勇崎村中塚吉十郎)	年月日未詳
233	買仕切(塩1300俵、銀8貫265匁、土手屋徳次→住寿丸菊松)	明治5年
233	御買仕切(塩1083俵、銀6貫761匁、寄島港仁志屋寿太郎→住寿丸菊松)	申年
234	御制札写帳入・勇崎浜(袋)	年月日未詳
234	〔中塚吉十郎宛住福丸芳蔵書状〕	年月日未詳
234	売し切(煎子、笠岡屋→表屋桑吉)	巳年
234	記(稀印31箱、新屋→表屋)	年月日未詳
234	〔中塚吉十郎宛住福丸芳蔵書状〕(長崎にて石炭積入のこと)	年月日未詳
234	記(飛脚印・桜印など、井原七熊→勇崎中塚)	年月日未詳
234	記(〔 〕→中塚吉十郎)	年月日未詳
234	記(金15円請取、玉島勇三郎→正栄丸)	年月日未詳
234	売仕切(煎子、笠岡屋→正栄丸桑吉)	年月日未詳
234	記(入粉、芸州御手洗鍵屋寿平→勇崎・正栄丸桑吉)	寅年
234	丑旧十二月廿九日登り住福丸積下り売捌ひかへ	丑年
234	住福丸明治十一寅年四月登り算用	明治12年
234	仕切記(石炭、肥前平戸今福口口屋→住福丸芳蔵)	寅年

234	仕切記(塩、平戸讃岐屋市蔵→住福丸芳蔵)	年月日未詳
234	[仕切辻書上]	年月日未詳
234	記(塩、今福田島屋喜平→住福丸芳蔵)	明治11年
234	記(刻2箱、紙巻、橋本屋亀次郎→出店)	戌年
234	[金銭算用覚]	年月日未詳
234	廿九年増一覧表	明治29年
234	仕切(かし木、田中屋又治郎→戎丸吉兵衛)	年月日未詳
234	御船改所御願書(玉島村御改所と隔絶のため勇崎村に御改所取設願、浅口郡勇崎村船持中塚吉十郎他28名、奥書戸長中藤敬吉→小田県権令矢野光儀)	
234	[塩売買覚]	年月日未詳
234	[土地図面]	年月日未詳
234	所得金高追加届(柏崎村勇崎中塚長十郎→浅口郡長東馬安吉)	明治27年
234	差入申書付之事(地券書上につき引受地名目の件、木口要次郎他1名→戸長・副戸長)	明治5年
234	[中塚実三郎宛小林保吉書状](林宏一郎殿催合講のこと)	年月日未詳
234	油受取通(浜表→染屋)	明治16年
234	金借用証書(雛形)	明治15年
234	船売買并御買換二付石数増減ひかへ	年月日未詳
234	受取之証(勝安丸代価11円、津田房太郎→中塚実三郎)	年月日未詳
234	記(杉・松・石炭代、亀本屋政次郎→中塚様中釜家入用分)	寅年
234	記(塩代、山村[]→寿福丸)	明治23年
234	記(金請取、中磯→表御本家)	年月日未詳
234	[本中塚宛書状](金子入)	年月日未詳
234	[中塚磯八・長十郎宛沢竹四郎平書状]	年月日未詳
234	[中つか御姉宛[]書状]	年月日未詳
234	目録(木盃内務省より到着、小田県庶務課)	明治8年
234	[中塚御尊父宛口光四郎書状]	年月日未詳
234	[念仏]	年月日未詳
234	記(元金30円貸付決算、どて屋→本表様)	明治19年
234	記([]頼助→中塚御本家)	辰年
234	記(花代、滝三郎→本表様)	辰年
234	[中塚実三郎宛丸亀魚町田中宗二書状](真光借金の件)	年月日未詳
234	訴訟方ヨリ差出候案文写(乙島村沖海面吐口大川水屋筋堀浚入用につき流作畑・葎生場引渡のこと、乙島村庄屋惣代→御三領)	年月日未詳
235	川浚手当地所差出証文之事(乙島村沖海面吐口大川水屋筋堀浚入用につき流作畑・葎生場引渡のこと)	年月日未詳
235	乙島村流作場始末書写(乙島村沖海面吐口大川水屋筋堀浚入用につき流作畑・葎生場引渡のこと、乙島村小前惣代・庄屋・年寄4名→倉敷御役所)	嘉永3年
235	乙島村流作一件済口証文写(御評定所宛)	年月日未詳
235	乍恐以書付奉御答申上候(乙島村流作場小前惣代・庄屋3名→佐々木半十郎・松平豊前守・板倉周防守家来御出役4名)	子年
235	乙島村流作場始末書写(乙島村沖海面吐口大川水屋筋堀浚入用につき流作畑・葎生場引渡のこと、乙島村小前惣代・庄屋・年寄4名→倉敷御役所)	嘉永3年
235	乍恐以書付奉申上候(長尾村近蔵・勇崎浜庄屋沢右衛門代兼倉敷村植田武右衛門→佐々木半十郎様倉敷御役所)	亥年
235	談之覚(流作場の件8ヶ条)	年月日未詳
235	御日供神礼・江国一馬(袋)	年月日未詳
235	亀山領松山領ヨリ乙島村江相懸候流作場一件(袋)	年月日未詳
235	[中塚治左衛門宛[]書状](米値段のこと)	年月日未詳
235	乍恐以書附御答奉申上候口上(乙島村沖川中附洲流作場水行故障につき江戸出府訴訟の件、板倉周防守・松平豊前守領分・佐々木半十郎御代官所10ヶ村庄屋・年寄→倉敷・亀山・松山御出役4名)	嘉永5年
235	[中塚治左衛門宛小野丹右衛門書状など5通]	年月日未詳
235	差上申済口証文之事(乙島村流作場の件)	年月日未詳
235	[中塚治左衛門宛守屋勝太郎・時之助書状]	年月日未詳
235	[御三領御惣代宛取扱人書状]	年月日未詳
235	[中塚宛丹右衛門書状]	年月日未詳
235	差入申一札之事(阿賀崎・新田村松山領玉島村亀山領柳井原村外7ヶ村乙島村流作場へ相掛水行故障一件内済、乙島村流作持小前惣代庄兵衛他14名→御取喰人倉敷村植田武右衛門・勇崎浜庄屋治左衛門)	嘉永4年

235	〔中塚治左衛門宛柚木金左衛門書状など4通〕(乙島流作場について)	年月日未詳
235	乙島村流作場見取仮絵図(訴訟方村々庄屋・扱人など17通)	嘉永5年
236	江戸来状八通(袋)	(嘉永7年)
236	差上申御請書之事(柳井原村外6ヶ村惣代水江村庄屋為之丞外1人より乙島村庄屋勝太郎外5人へ相懸不法出入一件、勝太郎→御奉行所)	寅年
236	乍恐以書付奉申上候(玉島村・柏島村地先海上にて板倉周防守御家中炮術稽古のため通船漁業に差支の件、乙島村・柏島村・押山浜・勇崎村・黒崎村役人惣代5名→倉敷御役所)	寅年
236	〔乙島村年寄四郎兵衛惣御百姓中宛江戸表にて乙島村庄屋勝太郎書状〕(訴訟方村々惣代為之丞と打合のこと、西之浦新開場へ相掛一件など)	寅年
236	〔西山源右衛門中塚治左衛門宛守屋勝太郎書状〕(訴訟方村々惣代為之丞と打合のこと、西之浦新開場へ相掛一件など)	年月日未詳
236	〔西山源右衛門中塚治左衛門・中屋与五郎兵衛宛守屋勝太郎書状〕(西之浦鶴新田前新開場へ相掛難渋出入一件など)	年月日未詳
236	〔守屋英三郎宛守屋勝太郎書状〕(病氣快方、江戸到着のこと)	年月日未詳
236	〔西山源右衛門・猪木与五兵衛宛守屋勝太郎書状〕(訴訟の件、アメリカ船・ヲラシヤ船来航のこと)	年月日未詳
236	〔西山源右衛門・乙島村惣御百姓中宛江戸表にて守屋勝太郎書状〕(流作場一件・鶴新田前新開場喧嘩一件など)	年月日未詳
236	〔西山源右衛門・乙島村御百姓中宛江戸表にて守屋勝太郎書状〕(出府入用のことなど)	年月日未詳
237	占見一件諸書類入・勇崎浜庄屋治左衛門扣(袋)	年月日未詳
237	〔中塚宛書状など4通〕	年月日未詳
237	定(氏神祭礼巡幸について)	天保15年
237	〔中塚宛書状4通〕	年月日未詳
237	内済仮儀定書(阿賀崎新田村庄兵衛、占見村芳蔵ほか2人六条院東村富蔵相手取願出一件、両村より150両出銀和融のこと、立入人勇崎浜庄屋治左衛門他)	戌年
237	〔中塚治左衛門宛大橋俊之助書状など4通〕	年月日未詳
237	覚(金125両請取、阿賀崎新田村庄兵衛ほか1名→勇崎浜庄屋治左衛門ほか1名)	嘉永3年
237	〔中塚治左衛門宛書状・覚など19通〕	年月日未詳
238	仕切(石炭代、肥前平戸今福田島屋善平→住福丸芳蔵)	年月日未詳
238	売仕切(かき鯛代、長州赤間関西細江桶屋米三郎→住福丸芳蔵)	子年
238	売仕切(塩・醤油・たばこ、勝本万屋徳十郎→住福丸芳蔵)	年月日未詳
238	買仕切(生いわし、壺州勝本万屋徳十郎→住福丸芳蔵)	年月日未詳
238	記(壺州大豆、下関中津屋→住福丸)	年月日未詳
238	記(民部省札・太政官札)	年月日未詳
238	〔米穀相場書上〕(尾道口国屋伴助→正栄丸桑吉)	年月日未詳
238	記(塩・たばこ・醤油など代金相渡万屋徳十郎→住福丸芳蔵)	年月日未詳
238	〔御本家旦那様宛正栄丸桑吉書状〕	年月日未詳
239	浜方一同申合議定書之事(小売塩・釜屋立入のことなど12ヶ条・勇崎浜庄作ほか21名→庄屋治左衛門・民治郎)	天保13年
239	小作証文之事(塩浜屋敷合1町9反余、ぬい数312、小作人勇崎浜虎吉→庄屋治左衛門・奥書治左衛門ほか2名→早島御講銀預り片山湊左衛門・右御加入惣御連中)	文久2年
239	小作証文之事(下畑・屋敷37筆、柏島村小作人弥平治ほか22名→中村源蔵)	慶応3年
239	壹ヶ年切相渡申質地証文之事(浜・釜屋敷4筆、質銀2貫224匁、質主理之丞ほか1名→浜表治左衛門)	万延1年
239	拾貳ヶ年切相渡申質地証文之事(浜・釜屋敷7筆、質銀12貫目、質主次左衛門ほか4名→油屋三蔵)	文政10年
239	作徳米書抜之事(塩浜1町2反余質物差入、質主次左衛門他2名→油屋三蔵)	文政10年
239	拾貳ヶ年季相渡申質地証文之事(浜・釜屋敷7筆、合1町2反余、質銀12貫目、質主次左衛門ほか4名→油屋三蔵)	文政10年
239	仕切覚(石炭、肥前住ノ江諸国屋徳蔵→蛭子丸治左衛門)	酉年
239	租税口写(勇崎浜・塩・薪商業税など)	年月日未詳
239	差出申一札之事(浜中願につき新問屋御附のことなど7ヶ条、勇崎浜・押山浜・柏島村6名→勇崎浜御庄屋口右衛門)	享保21年
239	壹ヶ年切相渡申質地証文之事(浜・釜屋敷22筆、合8反8畝余、質銀7貫820目、質地主八太郎ほか2名→浜表治左衛門)	安政5年
240	魚問屋仲間算用引合書類入、中塚和泉屋(袋)(治左衛門生魚問屋株買受につき書状34通在中)	慶応2年
241	乍恐以書付御願下奉申上候(喧嘩のこと)	子年
241	御詫申一札之事(口論・打擲の件)	年月日未詳
241	〔質地出入内済証文〕(乙島村与五兵衛・同村徳三郎ほか→御役所)	子年
241	乍恐以書付奉願上候(勇崎浜庄屋治左衛門病身につき退役・忤相続のこと、勇崎浜庄屋・百姓代百姓18名→大草太郎右馬様倉敷御役所)	文政2年
241	乍恐以書付奉申上候(勇崎浜五蔵、年寄役任命につき印鑑差上、庄屋次左衛門→大岡久之丞様御役所)	卯年
241	乍恐以書付御届ヶ奉申上候(年寄茂兵衛死去、勇崎浜年寄五蔵、庄屋次左衛門→大原四郎右衛門様御役所)	丑年

241	乍恐以書付奉願上候(年寄五蔵病身につき忤相続のこと、五蔵ほか村役人→御役所)	酉年
241	乍恐以書付御届奉申上候(百姓代政兵衛死去、勇崎浜庄屋・年寄3名→倉敷御役所)	辰年
241	乍恐以書付御届々奉申上候(押山浜年寄嘉右衛門死去、押山浜庄屋次左衛門→倉敷御役所)	寅年
241	乍恐以書附奉願上候(年寄喜右衛門死去につき忤良吉相続、押山浜百姓・庄屋12名→大原四郎右衛門様倉舗御役所)	文政1年
241	乍恐以書付奉願上候(勇崎浜・押山浜庄屋国太郎治左衛門と変名願、国太郎ほか2名→倉敷御役所)	子年
241	乍恐以書付御願奉申上候(押山浜年寄役空席につき人選願、押山浜兼帯庄屋治左衛門ほか13名→倉敷御役所)	天保11年
241	庄屋役・年寄役願ノ時書類扣勇崎浜・押山浜(袋)	文政年中
241	乍恐以書附奉願上候(勇崎浜年寄茂兵衛死去につき忤辰次郎相続、勇崎浜百姓代年寄庄屋→大原四郎右衛門様倉舗御役所)	丑年
241	乍恐書付を以奉願上候(勇崎浜年寄五三郎死去につき忤相続、勇崎浜百姓代年寄庄屋4名→倉敷御役所)	辰年
241	乍恐以書付奉願上候(勇崎浜・押山浜庄屋国太郎治左衛門と変名願、国太郎ほか2名→倉敷御役所)	子年
241	乍恐以書付奉願上候(勇崎浜百姓代に八太郎任命、勇崎浜百姓・年寄・庄屋11名→高山又蔵様御役所)	天保9年
241	乍恐書付ヲ以奉願上候(勇崎浜年寄五三郎死去につき弟五蔵相続、勇崎浜百姓代・年寄・庄屋4名→大岡久之丞様御役所)	卯年
241	乍恐以書付御願奉申上候(押山浜年寄役空席につき人選願、押山浜兼帯庄屋治左衛門ほか13名→倉敷御役所)	天保11年
241	[願書断簡](前欠)	天保5年
241	乍恐以書附奉願上候(勇崎浜庄屋次左衛門死去につき忤国太郎相続、勇崎浜百姓・百姓代・年寄・庄屋22名→大原四郎右衛門様御役所)	文化14年
241	乍恐以書付御届奉申上候(勇崎浜弥太郎年寄任命につき印鑑差上、弥太郎、庄屋国太郎→御役所)	申年
241	差上申一札之事(勇崎浜庄屋次左衛門、押山浜庄屋兼帯、次左衛門→大原四郎右衛門様御役所)	文政3年
241	役願之砌勤方	年月日未詳
241	乍恐以書付奉願上候(勇崎浜百姓代又兵衛死去につき忠兵衛相続、勇崎浜百姓代・年寄・庄屋→倉敷御役所)	寛政10年
241	乍恐以書付奉申上候(治左衛門病身につき勇崎浜庄屋退役、忤太郎松相続、太郎松→倉敷御役所)	辰年
241	乍恐以書付奉願上候(勇崎浜・押山浜庄屋次左衛門病身退役につき跡役人選願、次左衛門→大草太郎右馬様御役所)	文政2年
241	乍恐以書付奉願上候(勇崎浜年寄五三郎死去につき弟弥太郎相続、勇崎浜頭百姓・百姓代・年寄・庄屋7名→大草太郎右馬様御役所)	亥年
241	口上(勇崎浜へ柏島村より入作之分百姓代役、政兵衛死去につき忠兵衛相続、柏島村武左衛門他4名→勇崎浜御役人中)	寛政10年
241	乍恐以書付奉願上候(勇崎浜庄屋治左衛門病身退役につき忤相続、治左衛門ほか→倉敷御役所)	天明4年
241	前々庄屋役年寄役願之時書類扣(勇崎浜・押山浜)	年月日未詳
241	奉差上内済証文之事(乙島村百姓与五兵衛より同村百姓徳三郎へ相掛質地出入訴訟の件、内済、与五兵衛・徳三郎ほか4名→倉敷御役所)	文政11年
241	乍恐以書付御願下々奉申上候(勇崎村庄屋又三郎ほか6人より塩役宗七へ相掛塩売方訴訟の件、勇崎村百姓・年寄・庄屋・勇崎浜塩役・庄屋10名)	
241	申渡(村入用割掛についてなど、御役所)	戊年
241	一札之事(勇崎村・黒崎村悪水吐方出入の件、扱人→両村)	巳年
241	仕切(杉、中屋勘兵衛→御船分)	年月日未詳
241	[口上](唐物抜荷・異国船渡来のこと、勇崎村→勇崎浜)	年月日未詳
241	乍恐奉願上口上書(勇崎浜御料・私領御分郷につき替地願、勇崎浜庄屋・年寄3名→海野甚内)	宝永7年
241	差出シ申一札之事(祭礼角力にて喧嘩の件、柏島村取扱人3名→地神宮祭礼御当元押山浜芳右衛門ほか1名)	文政7年
241	以書付奉御願申上候(盗のため入牢につき家族の厄介御願、牢者勝太郎→中塚治左衛門)	年月日未詳
241	乍恐以書付御届奉申上候(勇崎浜百姓代八太郎退役、千賀二相続のこと、勇崎浜年寄三蔵・庄屋治左衛門)	酉年
241	拾九ヶ年切催合講落札金地所書入証文大縄畑8筆、6反4畝5歩、地代金127円75銭、落札人地所書入主勇崎村中塚実三郎、証人3名→催合講主林宏一郎ほか	明治8年
241	[浦々湊高札のこと](大久保大隈守・横田備中守→備前国・備中国御領私領浦々中)	正徳2年
241	乍恐以書附奉歎願候(松平備前守様へ御館入願上一件、片島村・乙島村・阿賀崎新田村・柏島村・押山浜・勇崎浜・黒崎村庄屋9名→倉敷御役所)	子年
242	手形[](船代銀1300両借用、質家屋敷・田畑・船3艘、芸州豊田郡生口島洲口村宮本屋八郎兵衛・元吉→浅口郡勇崎浜中塚助)	卯年
242	壹ヶ年切質地証文之事(塩浜37筆1町4反余・釜屋・道具・石炭納屋・船、質銀12貫650目、質流地主又三郎他1名→八太郎後見次左衛門)	安政5年
242	壹ヶ年切相渡申質地証文之事(塩浜4筆3反6畝19歩、質銀6貫800目、質主助三郎他1名→庄屋治左衛門)	嘉永5年
242	壹ヶ年切相渡申質地証文之事(塩浜・釜屋敷3筆、質銀4貫650目、質主三吉他1名→庄屋治左衛門)	戊年
242	質入申船証文之事(40石積船1艘、質金19両2歩他1名→浜表治左衛門)	安政6年
242	売渡申船証文之事(250石積1艘・金300両、大島郡森村売主浜屋重兵衛他2名→備中勇崎浜浜表治左衛門)	明治3年
242	売仕切([]1041樽、代銀14貫41匁、勇崎浜中崎屋彦太郎→戎丸清助)	慶応3年
242	乍恐以書附奉願上候(柏島村運賃積渡世忠吉、鴨方村東五郎の古手荷物并古船を九州にて売払、150石積船買求の件、勇崎浜庄屋次左衛門→大原四郎右衛門様御役所)	丑年

242	〔差紙〕(倉鋪御役所→柏島村百姓忠吉・庄屋・年寄)	
242	記(明治7年租税石代相場・本部会議所)	年月日未詳
242	相渡申塩坪之事(坪1ヶ所・譲主理之丞他1名→浜表治左衛門)	安政4年
242	壹ヶ年切相渡申質地証文之事(塩浜・釜屋敷11筆・4反6畝余・質銀8貫700目、質主勇崎村三蔵、柏島村六左衛門他2名→乙島村中屋与五兵衛)	弘化2年
242	壹ヶ年切相渡申質地証文之事(塩浜・釜屋敷・坪・質銀3貫300目、質主助三郎他1名→乙島村中屋与五兵衛)	弘化2年
242	壹ヶ年切相渡申質地証文之事(塩浜1反3畝余質銀1貫200目、質主文助他1名→庄屋治左衛門)	嘉永1年
242	壹ヶ年切相渡申質地証文之事(塩浜・釜屋敷13筆・5反6畝余・質銀7貫800目、質主宮兵衛他1名→庄屋治左衛門)	嘉永1年
242	差入申一札之事(勇崎村井崎屋愛蔵の塩浜質入証文紛失の件、証文預り主米屋亮平他1名→庄屋治左衛門)	安政6年
242	壹ヶ年切相渡申質地証文之事(塩浜・釜屋敷11筆7反9畝・質銀12貫目、質主三吉他2名→庄屋治左衛門)	嘉永6年
242	壹ヶ年切相渡申質地証文之事(塩浜・釜屋敷3筆2反2畝余・質銀800目、質主庄作他1名→庄屋治左衛門)	嘉永6年
242	壹ヶ年切相渡申質地証文之事(塩浜・釜屋敷、質銀1貫420目、質主松本屋小三郎他2名→庄屋治左衛門)	弘化2年
242	乍恐以書附御訴訟奉申上候(勇崎浜中塚治左衛門連島西之浦魚問屋株譲請、出店相稼のところ、西之浦多吉等新規魚問屋相始不法横領の件、訴訟人中塚治左衛門→山崎主税介様成羽御役所)	慶応2年
242	壹ヶ年切質地証文之事(塩浜・居家・質銀330目、質主佐太郎他1名→治左衛門)	嘉永1年
242	銀子借用証文之事(船代銀400目、借用主源蔵→庄屋治左衛門)	文政12年
242	壹ヶ年切相渡申質地証文之事(塩浜・釜屋敷17筆、8反2畝余・質銀2貫200目、質主東作他1名→乙島村中屋与五兵衛)	弘化3年
243	〔乙島流作場一件書類〕(取嚙中諸入用覚帳ほか中塚宛書状24通)	年月日未詳
244	岡田一件諸書類(袋)	
244	〔書状・覚など3通〕	年月日未詳
244	乍恐以書付奉願上候(片島村ほか7ヶ村寅年御銀札引替願、勇崎浜中塚治左衛門→岡田林甚内様御役所)	慶応2年
244	〔願書・書状など13通〕(献船のことなど)	
245	乍恐以書付御訴訟奉申上候(勇崎村年寄格愛蔵ほか8人庄屋跡役・薪役横領の件、勇崎浜庄屋訴訟人国太郎→御奉行所)	天保10年
245	乍恐以書付奉願上候(治左衛門病死・庄屋役引継につき村明細帳・村絵図差上のこと、勇崎浜庄屋国太郎→倉敷御役所)	戌年
245	乍恐以書付御歎願奉申上候(治左衛門死後、勇崎浜、国太郎・民次郎相庄屋のため浜方差縫の件庄屋国太郎→倉敷御役所)	天保9年
245	乍恐以書付奉願上候(勇崎浜小前御年貢勘定取調の件、庄屋治左衛門→倉敷御役所)	子年
245	乍恐以書付奉願上候(勇崎浜、国太郎・民次郎相庄屋のため薪役冥加銀につき差縫の件)	年月日未詳
245	乍恐以書付御歎奉申上候(勇崎浜、国太郎・民次郎相庄屋のため薪役冥加銀につき差縫の件、勇崎浜庄屋国太郎→倉敷御役所)	未年
245	運上直引人別(沖塩屋八郎右衛門→浜表国太郎)	未年
245	〔年貢銀算用〕	年月日未詳
245	〔願書断簡〕(薪役冥加銀の儀)	年月日未詳
245	規定書之事(賃銭・酒取扱禁止など)	酉年
245	〔中塚国太郎ほか1名宛西山源右衛門書状〕(結納のこと)	酉年
246	山根屋長五郎引合書類数々入(袋)	年月日未詳
246	御融通講仕法書并請渡し通(中塚治左衛門)	年月日未詳
246	実綿買入覚帳(山根屋長五郎→出店)	文久1年
246	米御通(山根屋長五郎→庄屋治左衛門)	文久2年
246	米入用覚帳(万兵衛)	年月日未詳
246	覚(取粕代など、表出店→山根屋長五郎)	午年
246	〔実綿買入覚帳〕(山根屋長五郎→出店治左衛門)	文久1年
246	〔米御通〕(山根屋長五郎→庄屋治左衛門)	午年
246	米御通(山根屋長五郎→御店屋)	戌年
246	〔金算用帳〕	年月日未詳
246	実綿米覚通(山根屋万平)	文久2年
246	覚(取粕代など、表出店→山根屋長五郎)	酉年
246	指引通(取粕代など、表出店→山根屋万兵衛)	年月日未詳
246	御廻状渡帳(浅口郡勇崎浜)	嘉永1年～嘉永4年
246	普請記録諸道具調諸色扣	安政3年～明治17年
246	実綿帳(山根屋万兵衛)	文久2年
246	八百屋物乾物類京焼物御通(竹屋七蔵→中塚御本家)	慶応2年
246	八戸組帳(19組・148軒)	明治6年
246	出頭簿(勇崎村中塚実三郎、会議所出頭日記、租税・徴兵のことなど)	明治8年
246	万日記(中塚吉重郎)	明治9年～明治13年

246	勘定帳	明治14年
246	明治十四年仮勘定扣	明治14年
247	水門番給御下渡之儀二付御歎願書(勇崎村・押山浜水門3ヶ所番人5人、勇崎村副戸長中塚実三郎・戸長中藤敬吉→小田県権令矢野光儀)	年月日未詳
247	[水門普請人足書付]	年月日未詳
247	御水門御普請入費御下ヶ願(副戸長中塚実三郎戸長中藤敬吉→小田県権令矢野光儀)	明治6年
247	容体書(中塚吉重郎病気につき投薬のこと、勇崎村医師木口勲→小田県権令矢野光儀)	明治8年
247	庄屋年寄給料書上(副戸長中塚実三郎・戸長中藤敬吉→小田県御庁)	明治5年
247	差入申規定書之事(郷蔵・建家引渡のこと、倉敷村若林喜三郎→妹尾一三郎代理石橋惣右衛門)	明治8年
247	金子借用証書(郡割立物金10円、勇崎村戸長中藤敬吉→中塚吉十郎)	明治7年
247	塩田小作証文之事(塩田186、小作定塩1000俵、小作人大島金十郎他1名→中塚実三郎)	明治13年
247	[御届](黒崎村中野源四郎より同村武箭善夫へ相掛り銀札引替の件、中塚吉重郎→小田県聴訴御課)	明治7年
247	乱妨御届(勇崎浜木橋落し并塩浜水塩取入坪屋3ヶ所屋根拔崩し、放火未遂の件、副戸長中塚実三郎・戸長中藤敬吉→小田県権令矢野光儀)	明治6年
247	万年醸造御検査二付御受書(中塚吉十郎→牧丈平他1名)	年月日未詳
247	御願下ヶ書(佐方村西川駒造より黒崎村柚木留造へ相掛り畑地譲確証を取置金子取替事件、両名他3名→小田県権令矢野光)	癸酉年
247	[書付断簡]	年月日未詳
247	御高札御触帳御請取手形	年月日未詳
247	恒吉ヨリ預り証文	年月日未詳
247	[記・書状など4通]	年月日未詳
247	地券御書換願(売渡人西政次郎・買受人中塚実三郎→岡山県令高崎五六)	明治9年
247	改名御願(中塚篤太郎改中塚吉重郎→小田県参事益田包義)	明治8年
247	記(印紙代、勇崎村中塚吉重郎)	明治9年
247	出帆免状(住福丸・154石・4人乗・積荷石炭490樽・中塚吉重郎所持、肥前国松浦郡佐々港船改所天雨栄一郎→備中国港船改)	明治7年
247	代言差出御願(勇崎村山本市三郎へ相掛悪水溝付替堀浚の件、中塚徳太郎他2名→岡山県令高崎五六)	明治9年
247	代言差出御願(勇崎村山本市三郎へ相掛悪水溝付替堀浚の件、中塚徳太郎他2名→岡山県令高崎五六)	明治9年
247	戸長副戸長印鑑帳(備中国第十七区・40名)	年月日未詳
247	記(製塩場地価の儀、惣代中藤利三郎他2名→岡山県参事西毅一)	年月日未詳
247	[中塚宛書状]	年月日未詳
247	差入申議定一札之事(治左衛門病身のため勇崎浜庄屋、勇崎村庄屋後見退役につき後見役料の件、勇崎村庄屋又三郎ほか2名→勇崎浜治左衛門)	明治3年
247	[覚・書状など7通]	年月日未詳
247	議定書之事(手船金福丸沖船頭菊松乗北国行加入のこと、勇崎浜治左衛門ほか1名→倉敷小山安右衛門)	文久4年
247	[差紙](小田県庁→浅口郡12ヶ村24名)	明治7年
247	[中塚実三郎宛柏崎村戸長役場書状](天保元年～明治2年税金調査のこと)	年月日未詳
247	[請求書・書状など6通]	年月日未詳
247	申渡(悪水路付替につき村方紛議の件、原告勇崎村戸長中藤敬吉外2人・代言人石橋惣右衛門・被告同村平民次郎山本市三郎)	明治8年
247	悪水溝堀浚并二村道土置上ヶ之事件差縫和解仮定約之証(被告山本市三郎・勇崎村戸長中藤敬吉ほか代言人・取喰人など10)	明治9年
247	[差紙](勇崎浜・押山浜塩相場取調のこと、地租改正局→正副戸長)	明治8年
247	売渡し覚(70石船1艘・金本屋庄右衛門→勇崎庄吉)	明治5年
247	[願書](悪水溝堀浚の件、中藤敬吉ほか2名→小田県権令矢野光儀)	明治8年
247	[覚など3通]	年月日未詳
247	[中塚実三郎宛田中真一書状](塩飽牛島より、コレラ流行について)	明治12年
247	[塩飽牛島田中真一宛、吉原松岡慥爾書状]	年月日未詳
247	[讃岐国多度郡吉原村松岡慥爾宛勇崎村中塚福治郎書状](御家息女恋慕之心発仕候テ難止)	年月日未詳
247	[書状・覚など3通]	年月日未詳
247	七ヶ年賦証文之事(金119円余、柏島村借主西井七兵衛→勇崎村村中塚実三郎)	明治7年
247	[学校明細書上雛形]	年月日未詳
247	万国治誌略(表紙のみ)	年月日未詳
247	[手習い手本]	年月日未詳
247	山陽新報附録衆議院・貴族院議員席次表	年月日未詳
248	御立会御普請所絵図(勇崎浜庄屋治左衛門・年寄茂兵衛)	年月日未詳
248	備中国浅口郡御領勇崎浜御領私領勇崎村絵図(両村庄屋・年寄7名)	年月日未詳

248	大竹左馬太郎御代官所備中国浅口郡勇崎浜耕地絵図(庄屋治左衛門ほか4名)	文久1年
248	[屋敷地絵図]	年月日未詳
248	[勇崎村・黒崎村絵図]	年月日未詳
248	[塩浜・釜絵図]	年月日未詳
248	[塩浜絵図]	年月日未詳
248	勇崎村塩浜四丁目之図	年月日未詳
248	[勇崎村・勇崎浜立会御普請所絵図](勇崎浜庄屋治左衛門ほか3名)	年月日未詳
248	[家相図]	年月日未詳
248	[方位図]	年月日未詳
248	[絵図断簡]	年月日未詳
248	[第17大区19区浅口郡勇崎村絵図]	年月日未詳
248	[勇崎村絵図](庄屋重右衛門ほか1名)	年月日未詳
248	[松山領絵図]	年月日未詳
248	御立会御普請所絵図(勇崎浜庄屋治左衛門・年寄茂兵衛)	年月日未詳
248	押山浜絵図面二枚并二古絵図二枚入(袋)(元亀屋官兵衛→安原十右衛門ほか1名)	申年
248	地引絵図雛形	年月日未詳
248	押山浜伝右衛門株九分切検地絵図	年月日未詳
248	新開場絵図	年月日未詳
248	[裁判関係塩田・製塩場絵図]	年月日未詳
248	[人別所持地絵図]	年月日未詳
248	[備中国絵図]	年月日未詳
248	備中国浅口郡勇崎浜・押山浜絵図(庄屋次左衛門ほか4名)	天保2年
248	[押山浜絵図](宝暦六子八月二御替目浅井作右衛門様上ル扣)	宝暦6年
248	[家相図]	慶応2年
248	[切絵図]	年月日未詳
248	御領私領御普請所絵図ひかへ(勇崎村勇崎浜庄屋3名)	
248	[屋守川用水樋絵図]	年月日未詳
248	[黒崎村勇崎村絵図]	年月日未詳
248	黒崎全図	年月日未詳
248	[水門構造図](勇崎浜・勇崎村庄屋年寄6名)	年月日未詳
248	[備中国浅口郡勇崎浜絵図](庄屋次左衛門ほか2名)	寛政1年
248	[押山浜絵図]	天保9年
248	勇崎浜惣浜地割絵図	年月日未詳
248	[押山浜絵図](庄屋与右衛門ほか2名)	年月日未詳
248	押山浜取下場絵図	年月日未詳
248	[押山浜絵図]	年月日未詳
248	備中国浅口郡勇崎浜・押山村耕地絵図(両浜庄屋年寄など8名)	文久1年
248	御領私領御普請所絵図ひかへ(勇崎村勇崎浜庄屋3名)	年月日未詳
248	第十七大区小四区勇崎村鎮座塩竈社地絵図面	年月日未詳
248	黒崎村之図	年月日未詳
248	蔵家廻り持地絵図	年月日未詳
248	[勇崎村・勇崎浜絵図]	年月日未詳
249	船法覚	年月日未詳
250	大内札仕方中所々江差遣候書状扣	年月日未詳
251	中藤へ出張ひかへ(地租改正につき)	年月日未詳
252	ヲロシヤ船風聞書(天保山沖へ渡来)	年月日未詳
253	[戸長役場吏員給与表]	年月日未詳
254	[沙汰留](大政奉還などにつき・足守・親見・岡田藩宛)	年月日未詳
255	地券御書換願(宅地・塩田など17筆譲渡人中塚実三郎・譲受人中塚福次郎ほか→浅口郡長窪津義忠)	年月日未詳
257	[勇崎村・勇崎浜船書上](小田県租税課)	明治6年
258	[仕法講銀勘定帳]	卯年
259	乍恐以書付御訴訟奉申上候(松山川河口中州流作畑相論、玉島村など7ヶ村→寺社奉行)	嘉永4年

260	乍恐以書付御届奉申上候(米穀薪炭値段・稈秣御用芸州広島行船運賃など、阿賀崎新田村元組庄屋安八郎・勇崎浜庄屋治左衛門→倉敷御役所)	子年
261	御尋ニ付始末奉申上候(海岸防備につき松平備前守様へ御館入願上のこと、片島村ほか7ヶ村庄屋→倉敷御役所)	子年
262	乙島流作一件歎願書(玉島村など7ヶ村→亀山御領田刈両右衛門・松山御領庄田弥治郎)	子年
263	御定法御仕置書(季政)	寛政4年
264	御定式法(季政)	年月日未詳
265	御定式法(季政)	年月日未詳
266	薩摩大隅桜島・出来島・潮増減、新出現話	年月日未詳
267	岡山江差出申口上書并倉敷江差出申始末書并写し式通(浅口郡村々庄屋備前守様へ御館入願上のこと)	子年
268	〔願書〕(広島表廻米について、菟屋久兵衛ほか2名代兼加納次郎作→廻船御役所)	
269	〔苗字御免銀下渡申渡〕(浅口郡村々48名)	寅年
270	郡村々申定(浅口郡、22ヶ条)	
271	黒崎新浜御改帳(2町1反余、庄屋八右衛門・佐治三右衛門ほか2名)	延宝3年
272	釜屋敷御改帳(36軒、庄屋伝吉ほか2名、佐治三右衛門ほか2名)	延宝3年
273	新浜御検地帳(3町2反余、庄屋伝吉ほか2名、佐治三右衛門ほか2名)	延宝3年
274	備中国浅口郡勇崎塩浜御検地畝並帳(15町7反余、釜屋敷29軒、浜人61人、庄屋庄兵衛・次左衛門)	元禄7年
275	備中国浅口郡勇崎浜御検地帳(写)(14町4反余、庄屋次左衛門・庄兵衛・本多中務大輔内惣奉行藤江善右衛門)	元禄8年
276	備中国浅口郡押山塩浜御検地帳(写)(4町8反余、庄屋与右衛門・本多中務大輔内惣奉行藤江善右衛門)	元禄8年
277	備中国浅口郡押山塩浜御検地帳(4町8反余、庄屋与右衛門・本多中務大輔内惣奉行藤江善右衛門)	元禄8年
278	田畑塩浜書貫帳(勇崎・柏島・押山・勇崎浜分)	元禄8年
279	塩浜御検地名寄(勇崎浜)	元禄8年
280	備中国浅口郡勇崎村之内塩浜御検地帳(14町4反余、庄屋次左衛門・庄兵衛・本多中務大輔内惣奉行藤江善右衛門)	元禄8年
281	備中国浅口郡押山塩浜御検地帳(4町8反余、庄屋与右衛門・惣奉行藤江善右衛門)	元禄8年
290	備中国浅口郡勇崎浜御検地帳之内次左衛門組分畝高書貫帳(6町2反余・庄屋次左衛門)	天明4年
282	備中国浅口郡勇崎村御検地帳(写)(51町3反余・庄屋又三郎・本多中務大輔内惣奉行藤江善右衛門)	元禄8年
283	御制札写帳(ぬけ荷のことなど)	享保6年
284	備中記(村々石高・寺社領など書上)	宝暦4年
285	〔年々取米取塩高書上帳〕(黒崎村・勇崎浜など8ヶ村)	宝暦10年～明和6年
286	〔年々取米取塩高書上帳〕(黒崎村・勇崎浜など8ヶ村)	宝暦10年～明和6年
287	勇崎浜勇崎村海面水門御普請目論見帳	明治5年
288	勇崎浜申合一冊(売塩・釜屋諸事など48ヶ条、庄屋・年寄・浜人30人)	安永8年
289	勇崎浜申合一冊(売塩・釜屋諸事など48ヶ条、庄屋・年寄・浜人30人)	安永8年
291	備中国浅口郡勇崎浜御検地帳(天明8年写・貼紙多)	元禄8年
292	御制札写帳(浦方のことなど、勇崎浜)	天明8年
293	畑高反別取米位切仕訳書上帳(勇崎村庄屋吉十郎ほか2名→倉敷御役所)	寛政1年
294	御請書帳(夫食種代農具代拝借米金返納につき、勇崎浜庄屋年寄百姓39人)	寛政2年
295	差出候願帳(塩役料などにつき帳面取調のこと、勇崎浜百姓35名→庄屋次左衛門、年寄2名)	寛政2年
296	〔年々取米取塩高書上帳〕(片島村・勇崎浜など8ヶ村)	天明2年～寛政8年
297	〔浅口郡年々明細帳〕	寛政4年～享和1年
298	丑御年貢免割帳(勇崎浜百姓忠次郎ほか33名分、取塩・取米・取銀書上)	寛政5年
299	公用書類控(願書など)	寛政9年～文政2年
300	前々段免高書上帳(勇崎浜庄屋・年寄・百姓代5名→倉舗御役所)	寛政11年
301	〔浅口郡年々明細帳〕	寛政4年～享和1年
302	〔年々取米取塩高書上帳〕(勇崎村・勇崎浜など8ヶ村)	寛政4年～寛政8年
303	前々段免高書上帳(勇崎浜庄屋・年寄・百姓代5名→倉敷御役所)	享和1年
304	前々段免高小前書上帳(押山浜庄屋・年寄・百姓代3名→柘植又左衛門様御役所)	享和1年
305	前々段免高書上帳(勇崎浜庄屋・年寄・百姓代5名→倉敷御役所)	享和1年
306	〔備中・讃岐・伊予御代官所御預所97ヶ村年々明細帳〕	天明2年～享和1年
307	上中下塩浜売反歩之御取塩書上帳(勇崎浜庄屋年寄百姓代→倉敷御役所)	享和2年
307	去西大水入荒浜起返小前帳	寛政2年
308	元禄十三年辰年ヨリ去亥年迄廿ヶ年御免定取塩写帳(勇崎浜庄屋庄兵衛・次左衛門)	享和5年
309	測量御役人御廻浦仕講取計方聞合覚書(伊能忠敬の測量か)	文化2年
310	三ヶ浜立会入用割符帳(三蔵ほか2名→勇崎浜・押山浜・柏島村庄屋)	文化4年

311	〔手鑑〕(高野山参詣宿附・民間療法など)	文化～文政
312	三ヶ浜立会入用割符帳(三蔵ほか3名→勇崎浜・押山浜・柏島村庄屋)	文化5年
313	江戸往来日記(次左衛門)	文化6年
182	記(四八入塩98俵半、27円、米光吉左衛門→明栄丸幸吉)	申年
314	三ヶ浜立会入用割符帳(三蔵ほか3名→勇崎浜・柏島浜庄屋)	文化6年
315	三ヶ浜立会入用割符帳(五蔵ほか5名→勇崎浜・柏島浜庄屋)	文化7年
316	御立会水門年中諸入用割帳(御領勇崎浜・亀山領勇崎村)	文化7年
317	三ヶ浜立会諸入用割符帳(勇崎浜・押山浜・柏島浜年寄・塩役など7名→庄屋次左衛門・忠次)	文化8年
318	三ヶ浜立会諸入用割符帳(三ヶ浜年寄・塩役9名→庄屋次左衛門・忠次)	文化9年
319	押山浜名寄帳(庄屋次左衛門)	文政1年
320	年々貯穀詰替方覚帳(勇崎浜)	文政2年
321	年々貯穀詰替方覚帳(押山浜)	文政4年
322	永代四国年参八拾八人講覚帳(勇崎・柏島連中)	文政4年
323	氏宮御屋根蒔月替諸入帳	文政11年
324	黒崎村横島村外式ヶ村漁場出入扱中日記(中塚季貞)	文政12年
325	塩浜本免小前帳・塩浜取下小前帳(勇崎浜庄屋・年寄・百姓代4名)	天保2年
326	塩浜本免小前帳・塩浜取下小前帳(押山浜庄屋・年寄)	天保2年
327	御年貢銀割賦取立帳(勇崎・押山両浜庄屋)	天保2年
328	御年貢銀割賦取立帳(勇崎・押山両浜庄屋)	天保3年
329	御年貢銀割賦取立帳(勇崎・押山両浜庄屋)	天保4年
330	二季払出帳(油・石炭・肴・菓子・かみゆいなど、中塚次左衛門季貞)	天保5年～天保13年
331	御年貢銀割賦取立帳(勇崎押山両浜庄屋)	天保5年
332	御神用御船仕替寄進帳(東海組中買問屋中、世話人中屋仁兵衛ほか1名)	天保9年
333	出勤中万日記(成一)	天保9年～天保11年
334	寺修覆寄附帳(押山浜分庄屋治左衛門株・世話人木口八右衛門・源九郎)	天保15年
335	裏判帳(質地証文留、勇崎浜・押山浜庄屋次左衛門)	弘化3年～安政6年
336	森屋平兵衛変死之節御検使御宿雑用書出帳(元亀屋寛兵衛→押山浜・当村御役人中)	弘化2年
337	願書類并諸用扣(勇崎浜庄屋治左衛門)	弘化2年～安政5年
338	上納口口取引帳	嘉永2年
339	諸向出勤中手扣(勇崎浜庄屋治左衛門乙島流作場一件など)	嘉永3年
340	御悔帳	嘉永4年
341	起返取下場一筆限小前帳(押山浜年寄喜右衛門・庄屋治左衛門)	嘉永4年
342	祭礼御船造り替并御道具仕替入用寄進帳(世話人中屋芳左衛門ほか2名)	嘉永4年
343	豊後行日記(出美勢中塚氏)	嘉永6年
344	取引帳(塩代など)	嘉永7年
345	浜方御年貢算用通(浜表助左衛門)	嘉永7年～慶応2年
346	家事定例勤并神仏御初穂之類万控	安政2年
347	浜方諸入用諸払出シ方万覚帳(中塚助左衛門)	安政2年
348	実綿買入覚帳	安政2年
349	〔通〕(元浜表)	安政2年
350	年々御年貢算用通(柏島村・勇崎浜助左衛門)	安政2年～明治20年
351	年々御年貢算用通(勇崎浜助左衛門)	安政2年～明治20年
352	払出覚帳(中塚助左衛門)	安政2年
353	二季払出シ帳	安政4年～文久1年
354	願書類并諸用扣(勇崎浜庄屋治左衛門)	安政5年～慶応2年
355	取引通(出店・本家)	安政5年
356	万日嘉恵帳(天神丸・住福丸、備中国浅口郡勇崎浜中塚助左衛門)	安政5年
357	浜方帳(塩込出し覚など、中塚助左衛門)	安政6年・安政7年
366	入用覚帳(金福丸菊松)	文久3年
367	年々家別人別人刎増減改帳(勇崎押山両浜庄屋治左衛門)	文久3年～明治6年
368	御触書并諸人夫諸扣帳(中塚助左衛門)	文久3年～慶応2年
358	名寄帳(勇崎浜庄屋治左衛門)	文久1年
359	唐船氏宮三ヶ所年中諸入用割帳(勇崎浜)	文久1年

360	大竹左馬太郎御代官所備中国浅口郡押山浜高反別帳(押山浜庄屋治左衛門ほか2名→左馬太郎様御役所)	文久1年
361	大竹左馬太郎様御代官所備中国浅口郡押山浜高反別帳・下書	文久1年
362	掛屋指引帳(勇崎浜)	文久1年～明治6年
363	差引勘定帳(勇崎浜治左衛門)	文久2年
364	目録差引通(内海屋伝兵衛→住寿丸兵作)	文久2年
365	二季払出帳	文久2年～慶応2年
368	御触書并諸人夫諸扣帳	文久3年～慶応2年
369	石炭御通(浜口屋磯吉→浜表御出店)	文久4年
370	塩代并[]諸色取引通(本家いづ美屋)	文久4年
371	諸事手扣帳(中つか台所)	文久4年～明治2年
372	浜日記帳(中塚本家)	文久4年～元治2年
373	諸色取引通(蛭子丸・正栄丸算用扣など、本家・出店)	文久4年～明治3年
374	子浜割并諸割引請物払出覚帳(勇崎浜庄屋)	元治1年
375	兵庫行御用物船積手抜(備中菊松船、亥御米450石など、尾州野尻理右衛門ほか1名→御船手役所松山三郎兵衛)	元治1年
376	[長防御征代板倉川辺矢掛宿人馬継立加助郷一件日記]	元治1年
377	塩代算用通(どて屋→中塚助左衛門)	元治1年～明治8年
378	郡割銀請取渡帳(勇崎浜庄屋治左衛門)	元治1年
379	浅口郡村々当子大割残先銀取立帳(勇崎浜庄屋治左衛門、片島村など9ヶ村)	元治1年
380	上納金銀過不足請渡帳(年番惣代勇崎浜庄屋治左衛門ほか1名)	元治1年
381	去子年村小入用割賦帳(合銀24貫219匁余、高1石につき銀47匁7分、勇崎村百姓・村役人98名→桜井久之助様御役所)	元治2年
382	繰綿御通(西喜屋吉蔵→中塚本家)	丑年
383	覚(子年中売塩書上、塩問屋土手屋徳左衛門→庄屋治左衛門)	元治2年
384	御年貢大積算用覚帳(勇崎押山両浜庄屋)	慶応2年
385	寅村小入用割帳(×5貫806匁余、高1石につき銀93匁余、押山浜八右衛門ほか3名→庄屋中塚治左衛門ほか1名)	慶応2年
386	寅浜小入用割帳(×27貫907匁余、高1石につき銀123匁4分、勇崎浜清次郎ほか6名→庄屋中塚治左衛門ほか1名、勇崎・押山立会入用割座あり)	慶応2年
387	覚(丑年中売塩書上、塩問屋土手屋徳左衛門→庄屋次左衛門)	慶応2年
388	魚問屋勘定下調(中塚扣)	慶応2年
389	浜方算用帳(中塚)	慶応2年
390	船書上帳(勇崎浜庄屋中塚治左衛門→倉敷御役所)	慶応2年
391	御年貢大積算用覚帳(勇崎・押山両浜庄屋)	慶応2年
392	去寅年村小入用割帳(押山浜百姓・村役人13名→倉敷御役所)	慶応3年
393	卯村小入用割帳(押山浜八右衛門ほか4名→庄屋中塚治左衛門ほか1名)	慶応3年
394	卯浜小入用割帳(勇崎浜)	慶応3年
395	目録差引通(紀州内海屋伝兵衛→住寿丸菊松)	慶応3年
396	去寅年浜小入用割帳(勇崎浜百姓・村役人8名→倉敷御役所)	慶応3年
397	浜方日記(中塚本家)	慶応3年～明治2年
398	二季払出シ帳(中塚助左衛門)	慶応3年～明治4年
399	御運上冥加銀并諸商人書上帳(勇崎浜庄屋・年寄・百姓代5名→倉敷御役所)	慶応3年
400	御運上冥加銀并諸商人書上帳(押山浜庄屋・年寄4名→倉敷御役所)	
401	万扣帳(石炭代など)	慶応4年
402	目録差引之通(紀州内海屋伝兵衛→住寿丸菊松)	慶応4年
403	諸勘定(蛭子丸・住福丸・正栄丸など、中塚功和)	慶応4年～明治17年
404	辰浜小入用割帳(勇崎浜)	明治1年
405	去辰浜小入用割帳(勇崎浜百姓村役人9名→倉敷県御役所)	明治2年
406	巳村小入用割帳(亀岡藩御支配地勇崎村源次郎ほか5名→庄屋高杉延次郎ほか2名)	明治2年
407	巳村小入用割帳(押山浜八右衛門ほか4名→庄屋治左衛門ほか1名)	明治2年
408	巳両浜并水門入用割賦帳(勇崎浜・押山浜)	明治2年
409	目録差引通(紀州内海屋伝兵衛→住福丸市松)	明治2年
410	巳浜小入用割帳(勇崎浜)	明治2年
411	庄屋年寄其外給米書上帳(勇崎浜・押山浜庄屋治左衛門→倉敷県御役所)	明治2年
412	午村小入用割帳(押山浜八右衛門ほか4名→庄屋助左衛門)	明治3年
413	割賦方払出シ帳・午浜割并諸割引請物払出覚帳(勇崎浜庄屋)	明治3年

414	去巳年村小入用割帳(押山浜百姓村役人12名→倉敷県御役所)	明治3年
415	目録差引通(紀州古座浦内海屋伝兵衛→住寿丸菊松)	明治3年
416	午両浜井水門入用割賦帳(勇崎浜・押山浜)	明治3年
417	御年貢立替名前帳(庄屋助勤中塚助左衛門→中塚治左衛門)	明治3年
418	高反別書上帳(勇崎浜庄屋・年寄・百姓代5名→倉敷県御役所)	明治3年
419	酉ヨリ辰迄式拾ヶ年御取箇書上帳(勇崎浜庄屋・年寄・百姓代5名→倉敷県御役所)	明治3年
420	宗門御改帳(押山浜、柏島村福寿院ほか4ヶ寺、押山浜庄屋・年寄3名→倉敷県御役所)	明治3年
421	高反別書上帳(押山浜庄屋・年寄3名→倉敷県御役所)	明治3年
422	酉ヨリ辰迄廿ヶ年御取箇書上帳(押山浜庄屋・年寄3名→倉敷県御役所)	明治3年
423	貯穀書上帳(押山浜庄屋・年寄2名→倉敷県御役所)	明治3年
424	貯穀書上帳(勇崎浜村役人4名→倉敷県御役所)	明治3年
425	宗門御改帳(勇崎浜、柏島村、福寿院ほか2ヶ寺・村役人5名→倉敷県御役所、家数15軒、人数73人)	明治3年
426	家数人別増減書上帳(勇崎浜・押山浜村役人→倉敷県御役所)	明治3年
427	貯穀書上帳(勇崎浜村役人4名→倉敷県御役所)	明治3年
428	貯穀書上帳(押山浜庄屋・年寄→倉敷県御役所)	明治3年
429	浜方日記帳(本家中塚)	明治3年
430	五人組帳(勇崎浜・押山浜)	明治3年
431	御租税上納通(中塚治左衛門)	明治3年
432	正租税書抜帳(勇崎浜・押山浜、中塚実三郎→倉敷県御庁)	明治4年
433	去午年浜小入用割帳(勇崎浜百姓村役人10名)	明治4年
434	未御租税免割帳(勇崎浜押山浜)	明治4年
435	未年村入用割賦帳(押山浜百姓・年寄・庄屋11名)	明治4年
436	去午年村小入用割帳(押山浜百姓・年寄・庄屋11名)	明治4年
437	未年村入用割賦帳(押山浜)	明治4年
438	未年村入用割賦帳(勇崎浜、百姓村役人9名)	明治4年
439	未両浜井水門入用割賦帳(勇崎浜・押山浜)	明治4年
440	未年村入用割賦帳(押山浜)	明治4年
442	当未御租税金割賦帳(勇崎浜・押山浜庄屋中塚実三郎)	明治4年
443	去午貯穀代金割賦帳(勇崎浜)	明治4年
441	未両浜井水門入用割賦帳(勇崎浜・押山浜)	明治4年
444	未皆済金融出帳(両浜庄屋)	明治4年
445	未浜割并諸割引請物払出覚帳(勇崎浜庄屋)	明治4年
446	宗門御改帳(勇崎浜・柏島村・福寿院ほか2ヶ寺・村役人4名→倉敷県御庁)	明治4年
449	鉄砲御改帳(押山浜庄屋中塚実三郎→倉敷県御庁)	明治4年
450	出職人別御改帳(押山浜庄屋・年寄→倉敷県御庁)	明治4年
451	普請中諸事扣	明治4年
452	塩相場書上帳(雛形)	明治4年
453	押山浜浜畑代価書上下帳	明治5年
454	住福丸勘定仕出し帳	明治5年
455	浜地代価筆分ヶ帳(勇崎浜・押山浜)	明治5年
456	浜地代価一筆限書上帳(勇崎浜・押山浜)	明治5年
457	諸運上并上納物取立帳	明治5年
458	御水門普請諸入用覚帳	明治5年
459	勇崎浜浜方代価書上下帳(戸長中藤敬吉ほか5名)	明治5年
460	勇崎浜勇崎村海面水門御普請目論見帳	明治5年
461	十月朔日ヨリ十一月十五日迄塩相場書上帳(勇崎浜・押山浜塩仲売買・塩問屋4名)	明治5年
462	未年貯穀書上帳(押山浜庄屋・年寄→深津県御庁)	明治5年
463	未年貯穀書上帳(押山浜庄屋・年寄→深津県御庁)	明治5年
464	船証文奥印帳	明治5年～明治7年
465	[未年貯穀書上帳](勇崎浜村役人3名→深津県御庁)	明治5年
466	田畑代価小分ヶ帳(勇崎村)	明治5年
467	未年船数書上帳(勇崎浜・押山浜庄屋中塚実三郎→深津県御庁)	明治5年
468	浜方算用帳・酉戌塩込出シひかへ(中塚実三郎)	明治5年

469	田畑代価小分帳(東勇崎村)	明治5年
470	職分表調帳外二寄留惣計(小田県第17大区小19区浅口郡東西勇崎村・勇崎浜・押山浜・戸長・副戸長→小田県御庁)	明治5年
471	浜地書上帳(西勇崎村井出杏平)	明治5年
472	未年貯穀書上帳(勇崎浜庄屋助勤中塚実三郎ほか2名→深津県御庁)	明治5年
473	五拾石以上商船税上納取調帳(東西勇崎村・勇崎浜・戸長中藤敬吉ほか納人など8名→小田県御庁)	明治5年
474	浜畑代価書上帳(勇崎浜戸長中藤敬吉ほか4名)	明治6年
475	塩浜代価増金書上帳(押山浜戸長中藤敬吉ほか1名)	明治6年
476	塩浜代価増金書上帳(勇崎浜戸長中藤敬吉ほか1名)	明治6年
477	塩浜代価増金書上帳(勇崎浜戸長中藤敬吉ほか1名)	明治6年
478	御水門御普請諸入用帳(勇崎浜・勇崎村両村立会・中塚実三郎ほか1名→小田県権令矢野光儀)	明治6年
479	船中若衆帳(住福丸亀蔵)	明治6年
480	万仕切覚帳(住福丸亀蔵)	明治6年
481	目録差引通(紀州内海屋伝兵衛→住寿丸菊松)	明治6年
482	役用文通留(浅口郡小19区)	明治6年
483	御租税大積算用帳(勇崎浜・押山浜)	明治6年・明治7年
484	小学校入費会計簿	明治6年～明治9年
485	測量入用并両浜割書出シ下水門割ひかへ	明治6年
486	勇崎浜東勇崎村立会水門諸入用割賦・勇崎浜押山浜立会諸入用割賦・勇崎浜小人足細分書(勇崎浜)	明治6年
487	出生死亡出稼寄留送入籍扣帳(勇崎村副戸長中塚実三郎)	明治6年
488	船中諸入用扣帳(住福丸亀蔵)	明治6年
489	申浜割并諸割引請物払出覚帳	明治6年
490	去ル辛未年民費書上帳(押山浜戸長中藤敬吉ほか1名)	明治6年
491	去ル辛未年民費書上帳(勇崎浜戸長中藤敬吉ほか1名)	明治6年
492	去壬申年五拾石以上商船税上納書上帳(東西勇崎村・勇崎浜戸長中藤敬吉ほか1名→小田県権令矢野光儀)	明治6年
493	浜方諸日記帳(本中塚)	明治6年～明治8年
494	戌皆済金融帳(勇崎浜・押山浜)	明治7年
495	酉小入用割賦帳(押山浜戸長中藤敬吉ほか10名)	明治7年
496	酉小入用割賦帳(勇崎浜戸長中藤敬吉ほか12名)	明治7年
497	諸願筋記録帳	明治7年
498	仕切帳(大坂・紀州にて松木・塩など勇崎・正栄丸八太郎)	明治7年
499	住寿丸荷物売買覚(酒・塩・畳表・足袋・醤油・くり綿・竹簾・米・種粕・小豆・大豆・杉板など、能州・佐渡・秋田にて、住寿丸水主松之助ほか3名→中塚吉重郎・船頭菊松病死後相談売払)	明治7年
500	住寿丸荷物売買覚(酒・塩・畳表・足袋・醤油・くり綿・竹簾・米・種粕・小豆・大豆・杉板など、能州・佐渡・秋田にて、住寿丸水主松之助ほか3名→中塚吉重郎・船頭菊松病死後相談売払)	明治7年
501	入用覚帳(勇崎正栄丸八太郎、大坂・紀州にて)	明治7年
502	水門普請入費明細書・地引絵図諸入費明細書(勇崎浜)	明治7年
503	御租税免割帳下書(勇崎浜・押山浜)	明治7年
504	地券証印税取調帳(勇崎浜)	明治7年
505	地券証印税取調帳(押山浜)	明治7年
506	浜方算用帳(中塚実三郎)	明治7年～明治8年
507	明治八年両浜御租税ひかへ	明治8年
508	戌年両浜并水門入用割賦帳(勇崎浜・押山浜)	明治8年
509	三池澄徳丸松助船・以速栄神丸栄三郎船・白浜住福丸長八船銀受取帳(表屋)	明治8年
510	甲戌品々割賦融附帳(押山・勇崎両浜)	明治8年
511	浜持并諸人夫ひかへ帳	明治8年
512	実綿買入并金銀出入ひかへ帳	明治8年
513	御租税金取立帳(勇崎浜・押山浜)	明治8年
514	御届書其外渡帳(勇崎村)	明治8年～明治9年
515	奉務帳(事務取扱所・県庁など・勇崎村中塚実三郎)	明治8年～明治9年
516	催合講金算用帳(講主中塚勝次郎)	明治8年～明治20年
517	亥年両浜并水門入費割賦帳(勇崎浜・押山浜)	明治9年
518	亥割賦引落帳(勇崎村・押山浜)	明治9年
519	同居中会計決算簿(中塚実三郎・吉十郎)	明治9年～明治13年

520	御租税取立帳(勇崎浜・押山浜)	明治9年
521	亥御租税免割帳(勇崎浜・押山浜)	明治9年
522	戸別小学校取立帳	明治9年
522	戸別懸小学校懸取立帳(小19区)	明治7年
522	戸籍入用取立帳(小学校募金も)	明治6年
523	本家取引算用書	明治9年
523	算用書(どてや分・表屋)	明治5年～明治8年
523	船宮新開地代価細分帳	明治5年
523	柏島新開并押山催合畑加地子割賦帳	年月日未詳
523	柏島新開加地子割賦方旦御租税堤普請入費右差引大積帖	明治5年～明治7年
525	住福丸上廻り作事算用帳(芸州倉橋友沢団次郎→中塚吉十郎・住福丸芳蔵)	明治9年
526	実綿買入并綿繰帳(中塚店)	明治9年
527	勇崎浜勇崎村立会水門諸入用割賦・勇崎浜押山浜立会諸入用割賦・勇崎浜小人足細分書(勇崎浜)	明治9年
528	亥御年貢大積算用帳・御租税免割下帳(勇崎浜・押山浜)	明治9年
529	七番組合帳(甲長職務章程・甲長中塚吉十郎ほか39名)	明治9年
530	算用帳(中塚実三郎)	明治9年～明治17年
531	味噌醤油売取帳(表屋店)	明治10年
532	住福丸算用ひかへ(住福丸芳蔵)	明治10年～明治12年
533	浜持其外ひかへ	明治11年
534	二ツ橋釜屋建替控	明治11年
535	耕地一同儀定連印帳(氏神祭礼・千歳楽に関して、87名)	明治11年
536	両家御租税其他県税上納ものひかへ記録帳(表屋)	明治12年～明治19年
537	拝借地取調帳(勇崎村)	明治13年
538	中塚実三郎・中塚吉十郎会計決算簿	明治14年
539	明治十四年度会計簿(中塚実三郎・吉十郎)	明治14年
540	地所地価反別書抜帳(本中塚)	明治19年
541	加地子覚帳(本中塚)	明治19年～明治21年
542	浅口郡乙島村土地名寄帳(柏崎村大字勇崎中塚長十郎・銀太)	明治23年
543	家屋台帳(柏崎村大字勇崎・5軒分間取図)	明治23年
544	荒地免租年期明地価御査定額(柏崎村)	明治27年
545	切夫ひかへ(松次郎)	明治29年
546	万覚帳(中塚助左衛門)	安政2年～安政3年
547	万覚帳(中塚助左衛門功和)	安政4年
548	万覚帳(中塚助左衛門功和)	安政5年
549	万覚帳(中塚助左衛門)	安政7年
550	万覚帳(中塚助左衛門)	万延2年
551	万覚帳(中塚助左衛門)	文久2年
552	万覚帳(中塚助左衛門功和)	文久4年
553	万覚帳(中塚助左衛門功和)	元治2年
554	万覚帳(中塚助左衛門功和)	慶応2年
555	万覚帳(中塚助左衛門功和)	慶応3年
556	万覚帳(中塚助左衛門功和)	慶応4年
557	万覚帳(中塚助左衛門功和)	明治2年
558	万覚帳(中塚助左衛門功和)	明治3年
559	万覚帳(中塚助左衛門改名実三郎)	明治4年
560	万覚帳(中塚実三郎)	明治5年
561	万覚帳(中塚実三郎)	明治6年
562	万覚帳(中塚実三郎)	明治7年～明治8年
563	万覚帳(中塚吉重郎)	明治8年
564	万覚帳(住福丸芳造)	明治8年
565	万覚帳(中塚実三郎)	明治9年～明治10年
566	万覚帳	明治11年
567	万覚帳	明治13年

568	万覚帳(中塚長十郎)	明治20年
569	万日記(中塚助左衛門)	安政3年
570	万日記(中塚助左衛門)	安政4年
577	万日記(中塚助左衛門)	慶応2年
571	万日記(中塚助左衛門)	安政5年
572	万日記(中塚助左衛門)	安政7年
574	万日記(中塚助左衛門)	文久2年
575	万日記(中塚助左衛門)	文久4年
576	万日記(中塚助左衛門)	元治2年
578	万日記(中塚功和)	慶応3年
579	万日記(中塚功和)	慶応4年
580	万日記(中塚功和)	明治2年
581	万日記(中塚助左衛門)	明治3年
582	万日記(中塚助左衛門改名実三郎)	明治4年
583	万日記(中塚実三郎)	明治5年
584	万日記(中塚実三郎)	明治6年
585	万日記(中塚実三郎)	明治7年～明治8年
586	万日記(中塚実三郎)	明治9年
587	万日記(中塚吉重郎)	明治9年
590	万日記(中塚本家)	明治18年
589	万日記(本中塚)	明治14年～明治15年
588	万日記(中塚吉十郎)	明治11年～明治12年
591	万日記(元中塚)	明治22年～明治24年
592	浜方算用帳(中塚助左衛門)	文久4年
593	浜方算用帳(中塚助左衛門)	文久3年
594	浜方帳(中塚助左衛門)	文久2年
595	浜方帳(中塚助左衛門)	安政5年
596	浜方算用帳(中塚助左衛門)	明治3年～明治5年
597	浜方算用帳(中塚助左衛門)	慶応4年～明治3年
598	浜方算用帳(中塚助左衛門)	明治2年～明治4年
599	浜方算用帳(中塚助左衛門改名実三郎)	明治4年
600	浜方算用帳(中塚助左衛門)	元治2年～慶応2年
601	塩通(浜表)	嘉永2年
602	塩通(本表)	明治31年
603	御立会御普請出来形帳(勇崎村勇崎浜庄屋年寄4名→菅谷弥五郎様御役所・汐除地堤切所普請のこと)	寛政2年
604	備中国浅口郡勇崎浜石坎樋御普請出来形帳(汐用水樋繕・石垣破損所普請のこと、勇崎浜庄屋・年寄3名→野口辰之助様御役)	寛政5年
605	備中国浅口郡押山浜堤御普請出来形帳(押山浜庄屋・年寄・百姓代→野口辰之助様御役所)	寛政5年
606	御料私領組合備中国浅口郡勇崎浜海表汐除堤御普請出来形帳(勇崎浜・勇崎村庄屋・年寄5名→柘植又左衛門様御役所)	寛政11年
607	御料私領組合備中国浅口郡勇崎浜水門御普請出来形帳(勇崎浜庄屋・年寄・百姓代4名→柘植又左衛門様御役所)	享和2年
608	御料私領組合備中国浅口郡勇崎浜海表汐除堤御普請出来形帳(勇崎浜・勇崎村庄屋・年寄5名→柘植又左衛門様御役所)	享和2年
609	御料私領組合備中国浅口郡勇崎浜海表汐除堤御普請出来形帳(勇崎浜・勇崎村庄屋・年寄5名→三河口太忠様御役所)	享和3年
610	備中国浅口郡押山浜海表汐除地并水門御普請出来方帳(押山浜庄屋・年寄3名→三河口太忠様御役所)	享和3年
611	御料私領立会勇崎浜海水門御普請出来方帳(勇崎浜庄屋・年寄・百姓代→三河口太忠様御役所)	文化2年
612	備中国浅口郡押山浜汐除堤御普請出来方帳(押山浜庄屋・年寄3名→大岡久之丞様御役所)	文化5年
613	汐用水石坎樋御普請出来方帳(勇崎浜庄屋・年寄3名→大岡久之丞様御役所)	文化6年
614	御料私領組合水門御普請出来形帳(勇崎浜庄屋沢左衛門ほか3名→大岡久之丞様御役所)	文化6年
615	備中国浅口郡押山浜海表波除堤念場御普請出来形帳(押山浜庄屋与右衛門ほか2名→万年七郎右衛門様御役所)	未年
616	荒地十ヶ年季起返り二付試丈量反別増減見出表	年月日未詳
617	去ル未年民費書上下調帳(勇崎浜)	明治6年
618	[丈量人足・区入費割賦書上帳]	年月日未詳
619	飯料御通(藤川銀蔵→勇崎中藤・中塚)	明治6年
620	[人別取扱所納金書上]	年月日未詳
621	[勇崎浜・押山浜村費書上]	年月日未詳

622	入用文(薪炭・茶・油代など)	年月日未詳
623	生魚仕切通(靱津与一郎→柳屋丈平・勘治郎)	卯年
624	[たばこ・うどんなど売立帳](周防大島・伊予などにて)	年月日未詳
625	[租税書上]	年月日未詳
626	亥御租税金区費割賦帳(勇崎浜・押山浜)	明治9年
627	[勇崎村検地帳](写)	元禄8年
628	柏島村地券代価書出シ扣	年月日未詳
629	村費并立替物諸控(勇崎村・押山浜)	亥年
630	勇崎村算用控	申年
631	大坂行諸事ひかへ	年月日未詳
632	記(住福丸・住吉丸など石炭樽数書上、中塚彦太郎→中塚吉十郎)	明治8年
633	[住福丸勘定帳]	年月日未詳
634	[金銭取替覚帳]	年月日未詳
635	万御通(柏島地収穫[]仕入所戎町若亀屋千代吉→元中塚)	亥年
636	凡積り(年々出金書上)	年月日未詳
637	記(租税算用、中塚実三郎→中藤敬吉)	明治10年
638	[浅口郡村々田畑宅地面積書上帳]	年月日未詳
639	未御租税免割帳(勇崎浜)	未年
640	去癸酉年民費書上下調帳(東西勇崎村・勇崎浜・押山浜)	明治7年
641	寅十二月書出帳(浜表)	寅年
642	去ル未年民費書上下調帳(押山浜)	明治6年
647	反別地価取調帳(第19区押山浜)	年月日未詳
643	仕切覚(瀬戸田・串本・古座などにて、塩・たばこ・畳表・材木など)	年月日未詳
644	[年々免定書上](戌～午)	年月日未詳
645	地券代価書上帳(勇崎浜・押山浜)	明治5年
646	[勇崎浜村費取調](小前惣代富山長五郎)	明治7年
648	[酉16～20才人名書上]	明治6年
649	地価反別(中塚本家所轄、勇崎・柏島・黒崎)	年月日未詳
524	両浜改正租決算簿	明治9年
650	書入地所書抜	年月日未詳
651	[地所書入]	年月日未詳
652	[勇崎村・勇崎浜船書上]	年月日未詳
653	質地書抜(勇崎浜治左衛門)	年月日未詳
654	合秣其外貯高一村限帳写(秣・大豆・藁・味噌・梅干・香物など、備中・美作村々)	年月日未詳
654	秣困増員数書上帳(美作国勝北郡9ヶ村庄屋→倉敷御役所)	元治1年
654	藁貫数書上帳(美作国西北条郡9ヶ村→倉敷御役所)	元治1年
654	藁貫数書上帳(美作国東北条郡8ヶ村→倉敷御役所)	元治1年
655	名寄帳(勇崎浜庄屋)	年月日未詳
656	地住等級・改正反別・地価・租税記載(勇崎・柏島・乙島・黒崎・実三郎分)	年月日未詳
657	地価反別帳(勇崎・柏島・乙島・黒崎・外真鍋島共有畑地)	年月日未詳
658	算法万覚帳	年月日未詳
659	焼酎掛り日雇帳	巳年
660	[算法帳]	年月日未詳
661	石炭算用帳(表屋吉重郎)	明治9年
662	臨時御入用書上(御陣屋取拵など)	子年
663	岡山止宿中品々入用留	年月日未詳
664	商人書出シ覚(銀子不算用の件、勘定主岩蔵)	辰年
665	小売塩手札(福浜忠兵衛ほか4名)	文久1年
666	船方諸勘定帳(本中塚)	文久3年～慶応1年
667	御年貢銀取立帳(勇崎浜・押山浜庄屋中塚治左衛門)	慶応3年～明治7年
668	村入用覚帳(勇崎・押山両浜庄屋中塚治左衛門)	慶応4年
669	村入用覚帳(勇崎・押山両浜庄屋中塚助左衛門改実三郎→東六条院村御里正高橋庸太)	明治4年・明治5年
670	[算用帳](中塚吉重郎)	年月日未詳

671	算用帳(表屋)	明治7年
672	繰綿上り受取覚帳	明治6年
673	[勇崎・押山浜間数書上]	年月日未詳
674	覚(去寅売塩俵数・代銀書上・塩問屋土手屋徳左衛門→庄屋治左衛門)	慶応3年
675	勇崎浜・押山浜薪方御運上役銀井右御銀方小入用割帳(勇崎浜・押山浜庄屋)	明和9年
676	溝堀浚事件	戌年
677	[改租不足金書上]	年月日未詳
678	[勘定帳](北国行など)	申年
679	[勘定帳](塩・綿・畳表など、住福丸好蔵)	戌年
680	[勘定帳](塩・煙草など)	年月日未詳
681	きたいき舟中□□(綿・表など代金)	酉年
682	[田畑預畝書上]	年月日未詳
683	[勇崎浜・押山浜入用覚帳]	辰年～申年
684	舟中□□とりかいたきなごや	酉年
685	[安政講・慶応講・明治講入札帳]	酉年
686	御通(橋本屋亀次郎→中塚出店たばこなど)	明治8年
687	押山催合畑年貢中塚吉十郎受	申年
688	[初納金・船税・貢塩取立帳]	明治3年～明治7年
689	郡中村用倉敷出勤諸事覚(勇崎・押山両浜庄屋中塚治左衛門)	慶応3年
690	富貴帳(棟上・42才賀・船新造など、中つか出見世)	嘉永5年～安政4年
691	御年貢通(勇崎村分、勇崎浜助左衛門)	明治2年～明治9年
692	諸講出勤扣(表屋)	明治4年
693	他所持高書抜帳(勇崎浜次左衛門)	文化12年
694	去寅年浜小入用帳(勇崎・押山浜百姓・村役人→倉舗御役所)	天保2年
695	[請取帳](印税取扱人中属大羽晋八郎ほか2名)	明治6年
696	羽口御水門普請入用通(出役中塚千賀二)	明治6年
697	水門普請入費明細書地引絵図諸入費明細書下調へ帳(勇崎浜)	明治7年
698	出張手扣(中塚功和)	明治8年
699	摘要録	明治25年
700	日記(豊前小倉行)	年月日未詳
701	差紙(塩相場につき、倉敷県庁→勇崎浜・押山浜役人)	午年
702	内済仮規定書之事(勇崎村庄屋又三郎、村小入用帳紛敷廉につき、勇崎村年寄格愛蔵など13名)	
703	備前児島郡味野村・下村新浜稼方諸入用覚	年月日未詳
704	乍恐以書附御詫奉申上候(阿賀崎新田村庄屋役の儀)	年月日未詳
705	催合講落札銀添証文之事(下津井屋寿太郎ほか2名→早島催合講勘定方引請永瀬又七ほか2名)	文久2年
706	[催合講規定書](講主西山武左衛門、引請人中塚治左衛門ほか2名)	元治1年
707	記(売買塩浜地代価)	年月日未詳
708	廻章(塩値段につき、倉敷県御役所→勇崎浜押山浜役人)	午年
709	塩田地価ノ取極めニ付委任事(勇崎・押山浜14名→木口喜壮伍)	明治9年
710	議定一札(大内会所手形札のこと、会所札引請人大内村右源次ほか1名→勇崎浜庄屋治左衛門ほか1名)	安政2年
711	覚(去巳年中売塩俵数代銀書上、塩問屋土手屋徳左衛門→両浜庄屋治左衛門)	明治3年
712	[借用証文](前欠)(質銀3貫目質主忠助ほか2名→助左衛門)	安政2年
713	拾八ヶ年切催合講落札金地所書入証文之事(159円、浜2反8畝余、書入主中塚実三郎ほか2名→催合講主中塚吉重郎ほか)	明治7年
714	仕切書(塩1270俵、127円、口店→住福丸芳蔵)	明治9年
715	壹ヶ年切相渡し申質地証文之事(後欠)	年月日未詳
716	売渡申浜地之事(代銀540匁、阿賀崎新田村売主惣七郎ほか1名→柏島儀助)	文化2年
717	目録差引通(紀州内海屋伝兵衛→住寿丸菊松)	明治6年
718	[貢納石代金通知](小田県租税課→押山浜戸長)	明治7年
719	[通達](塩石代相場取調、小田県租税課→勇崎・押山浜正副戸長)	年月日未詳
720	廻文(矢掛宿人馬継立加助村々割合の儀、矢掛宿猪左衛門ほか1名→乙島村ほか5ヶ村)	年月日未詳
721	壹ヶ年切相渡し申質地証文之事(質銀3貫300目、乙島村質主与五兵衛→助三郎)	嘉永1年
722	[通達](塩相場のこと、倉敷県庁→押山・勇崎浜役人)	午年

723	催合講落札銀質物証文之事(質物塩浜・釜屋敷1町9反余、銀32貫480目、落札主勇崎浜中塚治左衛門ほか2名→早島御講銀預り片山湊左衛門ほか)	
724	塩浜代価書上下調へ書入(勇崎・押山浜)	明治9年
725	[願書](隣区申合会議・一郡大輪講創始につき学校利用のこと、玉島村ほか14ヶ村学区取締妹尾一三郎・巡教師五十川左武郎)	明治6年
726	耕地等級表(押山浜小前惣代木口喜壮二ほか3名→岡山県令高崎五六)	明治8年
727	[釜屋器械新規調代書上]	年月日未詳
728	六ヶ年平均相場之訳(未～亥)	年月日未詳
729	塩浜代価目的書	年月日未詳
730	御伺(塩田附属釜屋敷など宅地に組入の件、勇崎浜惣代2名→県令高崎五六)	明治9年
731	御伺(塩田附属釜屋敷など宅地に組入の件、勇崎浜惣代2名→県令高崎五六)	明治9年
732	委任状之事(塩浜地価の儀、勇崎・押山浜中塚吉重郎ほか18名→木口喜壮二・中塚銀太)	明治9年
733	象戯手引草(中塚季政)	未年
734	万覚帳	年月日未詳
735	宮割三ヶ所書出手扣(勇崎浜庄屋治左衛門・本家浜表)	弘化3年
736	極月払出扣(本家浜表)	安政1年
737	万払出帳(中塚助左衛門功和)	安政2年
738	歳中諸入用扣	安政6年～安政7年
739	一郡米割割書出もの扣(勇崎浜庄屋治左衛門)	嘉永3年
740	材木之御通(西阿知屋新平→中塚治左衛門)	嘉永3年
741	乙島村壺番一郡割立物書出覚(勇崎浜)	万延1年
742	目録御通(広島屋徳三郎→住寿丸菊松)	子年
743	甲子中元贈答扣(中塚出店)	元治1年
744	太田諸道具値段附先方江遣し候扣	戊年
745	乍恐以書付奉願[](松山川通堤切込出水につき浜方損亡の件、勇崎浜庄屋次左衛門ほか5名→倉鋪御役所)	寛政1年
746	流失潰釜屋坪屋破損改書上帳(勇崎浜庄屋治左衛門ほか4名→倉鋪御役所)	寛政1年
747	丁卯歳勘定仮扣	慶応3年
748	目録差引通(紀州古座浦内海屋伝兵衛→金福丸菊松)	元治1年
749	子七月算用帳(浜表)	元治1年
750	歳中諸入用控	万延2年
751	金銀出入帳(串本などにて、住寿丸菊松)	文久1年
752	蛭子丸仕出し仮ひかへ帳	文久2年
753	当寅御年貢皆済銀割賦触出帳(勇崎・押山浜庄屋中塚治左衛門)	慶応3年
754	[改革中拝借金書上](倉敷・松山・新見御役所などより)	年月日未詳
755	[田地・鉄穴口・鉄山書上]	年月日未詳
756	[塩浜書上](勇崎浜山本助三郎)	年月日未詳
757	[上納銀書上](片島村ほか7ヶ村)	年月日未詳
758	口上(両替相場などにつき・大坂屋貞次郎→大橋平右衛門)	卯年
759	[戸川出役賄覚帳]	年月日未詳
760	[願書](大橋平右衛門婿敬之助等、無頼の党をかたらい倉敷村百姓吉左衛門等を暗殺の件)	年月日未詳
761	浜地畝高(勇崎村柚木口太)	申年
762	里三郡受教諭所詰入用割(窪屋・浅口・都宇郡)	年月日未詳
763	[住寿丸出帆の節申定](秋田方面へ)	年月日未詳
764	[勇崎浜・押山浜口塩など書上]	年月日未詳
765	御高札之写(浦方関係5件)	正徳
766	勇崎浜差出明細帳(庄屋・年寄5名→築山茂左衛門様御役所)	天保9年
767	明細帳(押山浜庄屋・年寄3名→藤方彦一郎様御役所)	天保14年
768	[勇崎村・勇崎浜明細書]	文化3年
769	御高札表(浦方関係、受書あり)	天保14年
770	[満16・19才の者書上]	年月日未詳
771	[出役賄書上](乙島村勝太郎・勇崎浜治左衛門)	元治1年
772	問屋株并切手札規定書(西之浦生魚問屋株のこと、勇崎浜庄屋中塚治左衛門・西之浦富島直吉ほか5名)	慶応3年
773	催合講引合書類(中塚・早島催合講関係10(8カ)通)	文久2年
774	催合講趣法議定書写(17ヶ条、早島勘定所)	安政4年

775	催合講趣法議定帳(20ヶ条、講主柏島村武左衛門)	慶応4年
776	催合講議定書写(10ヶ条、足守木下備中守勘定書引請松浦一太夫ほか11名)	嘉永5年
777	仕法講議定書(連島西之浦富島屋魚切手仕法講のこと、講主連島西之浦直吉ほか11名)	文久3年
778	催合講儀定書(10ヶ条)	年月日未詳
779	催合講金払出引当地所書入証書(催合講主中塚吉十郎ほか2名→加入連中御惣代3名)	年月日未詳
780	催合講算法(中塚氏)	安政7年
781	仕法講議定書(富島屋魚切手仕法講につき、講主直吉)	文久3年
782	[松木山書上]	年月日未詳
783	手板覚(内海屋伝兵衛→住寿丸菊松)	酉年
784	出帆免状(中塚吉十郎所持住寿丸・吉田芳之輔ほか1名→勇崎浜船改所)	明治6年
785	[塩田切図](持主西山剛吉)	年月日未詳
786	買仕切(葉煙草、成羽歩入会所世話人連島屋儀作ほか1名→連島桑吉)	午年
787	[訴状](黒崎村書類取糺の件)	年月日未詳
788	[長州出兵人馬御通行御用割賦書](柏島・黒崎村など、大庄屋格御本陣・石井次郎右衛門ほか6名→右村々御庄屋中)	年月日未詳
789	売仕切(煙草・煎なまこ、大島松次郎→玉島桑吉)	午年
790	為取替置申済口書之事(勇崎浜悪水溝付替のため勇崎村助三郎仕付立毛損亡の件、助三郎ほか9名)	万延1年
791	[成人書上]	年月日未詳
792	乍恐以書付御詫奉申上候(御貯穀の儀につき粗忽の件、阿賀崎新田村源七ほか10名→大岡久之丞様御手代黒沢東五郎)	文化5年
793	売仕切(煙草、松次郎→玉島桑吉)	午年
794	催合御講落札銀質物証文之事(銀15貫余、質物塩浜・釜屋敷9筆、落札主勇崎村理之丞ほか3名→御郡方御役所)	元治1年
795	奉頼上候口上(塩値段・口銭のこと、勇崎村伝五郎→庄屋・塩捌役3名)	寛政7年
796	畑書入金子借用之事(15円、借用主清水石松ほか1名→中塚実三郎)	明治11年
797	買仕切(塩鯛・鮓・目刺など、津国屋伴助→大江屋桑吉)	年月日未詳
798	鶴新田引合書類(書状など13通)	壬申など
799	仕切(杉葉粉、熊本夏木屋忘次郎→玉島住寿丸菊松)	年月日未詳
800	目録(紀州菱屋惣兵衛→玉島住寿丸菊松)	申年
801	仕切(杉葉粉、紀州菱屋宗兵衛→住寿丸菊松)	申年
802	目録差引通(内海屋伝兵衛→住寿丸菊松)	万延1年
803	新田弘化開小作証文五通(袋)	年月日未詳
804	耕地小作証文之事(畑1反、西之浦村三宅庄太郎ほか1名→勇崎村中塚吉重郎)	明治9年
805	耕地小作証文之事(畑1反、佐竹広吉ほか1名→勇崎村中塚吉重郎)	明治9年
806	耕地小作証文之事(畑1反、西之浦村渡辺春口郎ほか1名→勇崎村中塚吉重郎)	明治9年
807	耕地小作証文之事(畑1反、[]→勇崎村中塚吉重郎)	明治9年
808	耕地小作証文之事(畑1反、北面村井上市之介ほか1名→勇崎村中塚吉重郎)	明治9年
809	鶴新田弘化開小作人別帳(中塚吉重郎)	年月日未詳
810	献納金掛り書類入(勇崎・押山浜、御本丸御普請上納金のこと22(23カ)点)	年月日未詳
811	黒崎講一件取嚙書類(黒崎村仁兵衛ほか2名より同村磯右衛門ほか2名へ相懸訴上銀子出入の件、12通)	寛政11年
812	仕切状之事(杉、紀州内海屋伝兵衛→住寿丸兵作)	戌年
813	買仕切(ハツ代など、[]→戒丸庄吉)	年月日未詳
814	売仕切([]嘉兵衛→胡子丸庄吉)	年月日未詳
815	覚(菅野市太郎→備中亀蔵)	
816	記(醤油代、平田正文二→備中住福丸)	年月日未詳
817	覚(大束代、菅野市太郎→備中亀蔵)	年月日未詳
818	目録(塩など、甚三→住福丸亀蔵)	
819	目録(大上木など、米屋源七郎→備中亀蔵)	
820	記(平田正文二→備中住福丸)	年月日未詳
821	乍恐以書付御詫奉申上候(阿賀崎新田村庄屋役の儀)	年月日未詳
822	舌代(笠岡へ出勤につき地券調査のこと、中塚)	年月日未詳
823	[帳面書上](検地帳・宗門帳・村絵図など)	年月日未詳
824	覚(生綿代、堀川本や[]→山根屋万兵衛)	酉年
825	覚(徳三郎→住寿丸菊松)	年月日未詳
826	貯穀書上帳(勇崎浜庄屋助勤助左衛門ほか3名→倉敷県御役所)	明治3年
827	催合講帳写(元請占見新田村富山齡造・道越村原田和太郎)	明治3年

828	〔請書〕(租税金御用捨のこと、備中・美作各郡村々惣代16名→倉敷県御庁)	年月日未詳
829	御届書(汐除堤大破損のこと、押山浜庄屋中塚実三郎→深津県御庁)	明治5年
830	御届書(水門普請取懸のこと、勇崎浜庄屋助勤中塚実三郎→深津県御庁)	明治5年
831	水門御普請御届書(浅口郡小四区戸長・副戸長→小田県御庁)	明治5年
832	新地御竿入奉願上候(勇崎浜畑地、戸長中藤敬吉ほか1名→小田県権令矢野光儀)	明治5年
833	〔船取調書上〕(戸長中藤敬吉ほか4名→小田県権令矢野光儀)	明治5年
834	去末年戸数人員総計(第17大区小19区戸長・副戸長→小田県御庁)	午年
835	出生書上帳・死亡書上帳・入籍書上帳(東西勇崎村・勇崎浜・押山浜)	明治5年
836	出生書上帳・死亡書上帳・送入籍御届書(東西勇崎村・勇崎浜・押山浜)	明治5年
837	勇崎村富山長五郎ヨリ同村高杉延次郎相係流質地引渡方留滞事件再願(副戸長中塚実三郎→小田県権令矢野光儀)	壬申年
838	仮儀定書之事(勇崎村富山長五郎より同村高杉延次郎に相係る流質地引渡方留滞事件、高杉・富山ほか4名→正副戸長)	明治5年
839	水門給米御歎願(勇崎浜・押山浜水門番人木口喜壮二ほか4名→小田県権令矢野光儀)	明治7年
840	御水門番給扶持書上(勇崎村正副戸長→小田県権令矢野光儀)	明治6年
841	〔願書〕(東西勇崎村・勇崎浜・押山浜地引絵図の儀、正副戸長→小田県権令矢野光儀)	明治6年
842	所持代価御尋二付御請書(勇崎浜・押山浜28名→小田県権令矢野光儀)	明治6年
843	御水門番給扶持書上(勇崎村正副戸長→小田県権令矢野光儀)	明治6年
844	自普請所修繕入費書上帳(勇崎浜・押山浜正副戸長→小田県権令矢野光儀)	明治6年
845	船御改済御鑑札御下願	年月日未詳
846	藩札価格比較御伺(正副戸長→小田県)	明治6年
847	船売渡御届(売主勇崎浜安原伊三郎・正副戸長→小田県権令矢野光儀)	明治6年
848	御届(勇崎浜・押山浜地券代価の儀、正副戸長→地券掛り御課)	明治6年
849	御水門御普請入費御下願(正副戸長→小田県権令矢野光儀)	明治6年
850	副戸長役御免御願(勇崎村副戸長中塚実三郎→小田県権令矢野光儀)	明治6年
851	記(土木御普請御下渡金請取、勇崎村戸長中藤敬吉→小田県権令矢野光儀)	明治6年
852	御水門番給扶持書上(勇崎村正副戸長→小田県権令矢野光儀)	明治6年
853	〔伺〕(千歳楽の類差止の件)	年月日未詳
854	証券御印紙売捌願書(取扱人中塚吉重郎→小田県権令矢野光儀)	明治6年
855	〔19才・20才の者御届〕(勇崎村正副戸長→浅口郡徴兵調掛)	明治6年
856	御届(東勇崎村高杉延次郎・富山長五郎流地差縫につき、村役人に対し延次郎悪口雑言の件、勇崎村正副戸長→小田県権令矢野光儀)	明治6年
857	乍恐以書付御伺奉申上候(東勇崎村高杉延次郎・富山長五郎流地差縫につき、村役人に対し延次郎悪口雑言の件につき双方御召出済方のこと、勇崎村正副戸長→小田県権令矢野光儀)	明治6年
858	乍恐御願書(東勇崎村高杉延次郎・富山長五郎流地差縫につき、村役人に対し延次郎悪口雑言の件、東勇崎村旧村役人高杉延次郎→?)	癸酉年
859	水門給米御歎願(勇崎村・押山浜水門番人安原林之助ほか4名→小田県権令矢野光儀)	明治7年
860	明治7年分船税上納書上	明治7年
861	盗難御届	年月日未詳
862	〔小肴の中毒のため死去御届〕	明治7年
863	チヤウ兵免役之者御届(第17大区浅口郡小19区正副戸長→戸籍掛御出張御中)	明治7年
864	〔勇崎村・押山浜悪水取水門書上〕(戸長副戸長→小田県権令矢野光儀)	明治7年
865	船御改メ願書(勇崎村山本安蔵→小田県権令矢野光儀)	明治7年
866	記(勇崎村宮地小学校用地拝借につき、正副戸長・保長→?)	明治7年
867	船御改御願書(勇崎村戸長代安原清吉→小田県権令矢野光儀)	明治7年
868	御水門破損所御入費書上(勇崎村正副戸長→小田県権令矢野光儀)	明治7年
869	駕籠税金上納書上(勇崎村正副戸長→小田県権令矢野光儀)	明治7年
870	稗十八才以上(雛形)	年月日未詳
871	駕籠税金上納書上(雛形)	
872	〔勇崎浜・東勇崎村水門巢屋築建入費〕(正副戸長→小田県権令矢野光儀)	明治7年
873	〔達〕(50石以下の船鑑札廃止につき小田県租税課)	明治8年
874	記(商社益金受取、勇崎村副戸長中塚実三郎→?)	明治8年
875	申渡(勇崎村原告石橋惣左衛門・被告山本市三郎、悪水路付替差縫の件)	明治8年
876	正副戸長以下旅費御伺(正副区長惣代森田佐平ほか2名→小田参事益田包儀)	明治8年
877	稗税金上納書上(勇崎村正副戸長→小田県権令矢野光儀)	明治8年
878	記(醤油醸造税皆済、勇崎村惣代中塚銀太→小田県租税課)	明治8年

879	船御改正御願(勇崎村副戸長中塚実三郎→小田県権令矢野光儀)	明治8年
880	解船御届(勇崎村正副戸長→小田県権令矢野光儀)	
881	船改廃シ達シ書(玉島港船改掛柚木正平ほか1名)	明治8年
882	送籍証(勇崎村小野条七、三津寺町田中半兵衛姉うのに入夫、勇崎村正副戸長→?)	明治8年
883	於讃岐国高松二十洲塩浜会議連署帳(当番坂出浜・阿・芸・予・讃・播・防長・備前・備中・備後、19ヶ浜休業定めのこと)	明治9年
884	臨時集会条約書之事(児島・邑久郡塩浜休業のこと)	明治9年
885	[休業通知](野崎武吉郎→勇崎神島浜総代6名)	明治9年
886	[裁判関係書類](貸家明渡し方訴訟など、岡山県裁判所七等判事西毅一宛)	明治9年
887	帳簿検印御願(中塚実三郎ほか4名→岡山県令高崎五六)	明治9年
888	解船御届(中塚実三郎→岡山県令高崎五六)	
889	御鑑札御受取方出願届(勇崎村中塚吉十郎煙草卸売営業のこと、正副戸長→岡山県第三課)	明治9年
890	[煙草印紙買入并貼用高取調書](勇崎村煙草営業人中塚吉十郎)	明治13年・明治14年
891	協議之上家事目的書(もと中塚)	明治16年
892	明治19年度柏島村・勇崎村連合村費予算書議案	明治19年
893	荒地起返丈量絵図(地主総代中塚一郎ほか1名→岡山県知事干坂高雅)	明治22年
894	[荒地起返畑成宅地書上]	明治27年
895	土地合併御届(柏崎村)	
896	五拾石以下積石船数書上(勇崎浜)	年月日未詳
897	記(界紙代、本郡会議所→勇崎村取扱所)	年月日未詳
898	御水門破損所御入費書上	年月日未詳
899	[出頭記]	年月日未詳
900	記(召抱人税)	年月日未詳
901	[隠居持・本家相続田畑書上]	年月日未詳
902	樋守給御下ヶ渡願(勇崎村・押山浜正副戸長)	甲戌年
903	改名御願(中塚篤太郎改名吉十郎→岡山県令高崎五六)	明治8年
904	小田県第十七大区小十九区職分総計(東西勇崎村・勇崎浜・押山浜正副戸長→小田県御庁)	明治5年
905	備中国浅口郡堤防梁橋自普請出来形帳(東西勇崎村・勇崎浜・押山浜正副戸長→小田県権令矢野光儀)	壬申年
906	[御届](備後口名浦力弥政右衛門より勇崎村元浜磯太郎へ相懸り石炭仕切の儀、中塚吉十郎→聴訟御課)	明治6年
907	[満16・19才男子書上]	年月日未詳
908	[御届](勇崎浜悪水吐水門普請方関板・芋綱などの儀、正副戸長→?)	癸酉年
909	記(勇崎村船税)	壬申年
910	御届(他浜へ稼人)	年月日未詳
911	稗税金上納書上	年月日未詳
912	[達](県税のこと、岡山県参事西毅一→西各区戸長)	明治9年
913	県税科目	年月日未詳
914	[達](旧倉敷・鴨方・庭瀬・成羽県製造永銭・銀札交換のこと、小田県庁→浅口郡惣代)	明治6年
915	容体書(勇崎村中塚吉重郎→小田県権令矢野光儀)	年月日未詳
916	船売買御届(雛形)	年月日未詳
917	[願書](氏神社境内小学校手狭のため男女雑逕につき男子学校建築のこと、勇崎村学校周旋方中塚銀太ほか1名→小田県権令矢野光儀)	癸酉年
918	申渡(大左馬太郎代官着任にあたり、農業出精など9ヶ条)	年月日未詳
919	明治二巳年祭礼買もの覚	明治2年
920	目録差引通(紀州古座浦内海屋伝兵衛→中塚治左衛門殿住寿丸菊松)	明治4年
921	浅口郡東勇崎村高杉信二郎勤務中諸帳所持之分抜不足残(宗門帳など約160冊、勇崎村正副戸長)	明治6年
922	明治八年亥二月勘定	明治8年
923	催合講勿金書出帳(中塚吉十郎講掛)	明治17年
924	乙島村共有地加地子仲間算用帳(中塚一郎・中塚長十郎)	明治18年
925	引戸駕籠税金請取通(勇崎村中塚実三郎→小田県庁)	年月日未詳
926	算用通(醤油・割木など、浜表出店→山本屋梅十郎)	明治3年
927	[賃錢渡覚帳](釜ぬり賃など)	明治6年～明治9年
928	備忘録	明治9年
929	材木之御通(丸川新平→中塚長十郎)	明治22年
930	材木之御通(丸川新平→中塚実三郎)	明治10年

931	浜規定書并小作証文(袋)	年月日未詳
932	塩浜地小作証文之事(1町6反余、小作人柏島村木村亀次郎ほか1名→勇崎村中塚吉重郎)	明治9年
933	条約証書之事(7ヶ条、地主中塚吉重郎・小作人木村亀次郎ほか1名)	明治9年
934	証書(浜道具受取、小作人木村亀次郎ほか1名→中塚吉重郎)	明治9年
935	条約証書之事(7ヶ条、地主中塚吉重郎・小作人木村亀次郎ほか1名)	明治9年
936	[神護丸絵図](長20間・中4間)	年月日未詳
937	[速島丸絵図](16間・3間)	年月日未詳
938	[金花丸絵図](10間5寸・1丈1尺)	年月日未詳
939	[勇崎村之内字宝亀山・丸山絵図]	年月日未詳
940	山本屋梅十郎引合書類(仕切など12(11ヵ)通)	明治2年
941	割賦引合書類入(戸籍改などにつき20(17ヵ)通)	明治5年
942	証(入港碇泊税受取、紀伊国牟婁郡古座港詰森井半十郎→勇崎浜住寿丸船頭菊松)	明治6年
943	船売渡証券之事(売主笠岡村中之助→勇崎村中塚多三郎)	明治8年
944	即決言渡書(勇崎村中塚長十郎、地券書替違犯の件、玉島警察署長警部小山田休次郎)	明治20年
945	諸府県へ御布告写(鎖津・買占禁止)	年月日未詳
946	亥定免切替証文扣(片島・乙島・柏島・勇崎・黒崎村役人29名→倉敷御役所)	嘉永4年
947	[請書](年貢・諸役・村入用惣百姓立会勘定のことなど、郡中惣代倉敷村庄屋丹右衛門ほか3名→倉敷御役所)	天保12年
948	御請書(児島郡福田新田地先附洲新開につき、浅口郡大江連島村ほか13ヶ村→藤方彦一郎様御役所)	弘化4年
949	藤方彦一郎様御支配中御仕法之趣被仰渡之間(困窮村々復古仕法)	申年
950	乍恐以書付奉願上候(当御支配所村々御年貢之内大坂御詰御割賦仰付こと、備中・美作11郡惣代20名→倉敷御役所)	嘉永2年
951	乍恐以書付奉願上候(一橋様御領知入牢人加番賄入用、御仕置入用など取調につき、郡中惣代倉敷村庄屋丹右衛門ほか14ヶ村庄屋→倉敷御役所)	寅年
952	乍恐以書付御願奉申上候(組合村々貯穀のこと、浅口郡片島村ほか7ヶ村惣代勇崎浜庄屋治左衛門→倉敷御役所)	亥年
953	[願書](備中国金相場の儀、7郡村々惣代→倉敷御役所)	申年
954	奉願金子之事(備中・讃岐国村々永久相続金の儀、片島村ほか7ヶ村庄屋・年寄16名→倉敷御役所)	嘉永2年
955	申渡(西丸普請の節、金銀・小割鉄・畳表献納につき御褒美銀被下置こと、藤彦一郎→備中・讃岐9郡)	弘化4年
956	乍恐以書付御届奉申上候(献納米申出の者なし、備中7郡惣代11名→倉敷御役所)	寅年
957	覚(備中・讃岐国村々永久相続手当貸付、藤方彦一郎手代広田清吉ほか1名→勇崎浜庄屋治左衛門)	嘉永2年
958	覚(備中・讃岐国村々永久相続手当貸付、藤方彦一郎手代広田清吉ほか1名→押山浜百姓徳左衛門)	嘉永2年
959	乍恐以書付奉申上候(備中讃岐国村々永久相続仕法につき、備中7郡惣代→倉敷御役所)	嘉永2年
960	壹ヶ年切相渡申質地証文之事(塩釜屋敷8反8畝余、5貫800目、質地主八太郎ほか2名→倉敷児島屋与兵衛)	安政5年
961	差入申一札之事(大内手形札再興の儀、大内手形札元方右源二→黒崎村竹屋善兵衛、議定書あり)	安政4年
962	議定書之事(大内会所札跡引受のこと、黒崎村竹屋善兵衛のほか2名→会所札御引受大内村右源二)	安政3年
963	壹ヶ年切相渡申質地証文之事(畑2町5反余、2000両、質主高梁中村安太郎ほか1名→中塚吉重郎)	明治4年
964	乍恐以書付奉願上候一札(柏島村年寄跡役差縫の儀、柏島村惣百姓代6名→倉敷御役所)	文化5年
965	差入申規定証文之事(銀子遣込の件、規定主岩蔵ほか2名→勇崎浜治左衛門)	慶応4年
966	為取替議定書之事(勇崎村百姓八太郎より同村庄屋又三郎へ相掛り諸勘定および浜地請戻の儀、八太郎・又三郎ほか5名)	安政5年
967	議定書之事(大内手形札500貫目跡引受につき、黒崎村竹屋善兵衛ほか6名→会所札御引受大内村右源二)	安政3年
968	売仕切(瀬戸塩、塩屋熊次郎→玉島中脇次左衛門、蛭子丸吉兵衛)	酉年
969	仕切(三十竹・直竹、豊後頭成竹屋七右衛門→玉島中塚治左衛門・戎子丸吉兵衛)	酉年
970	仕切(口、豊後頭成竹屋七右衛門→玉島中塚治左衛門・戎子丸吉兵衛)	
971	仕切(しのまき・酒など、佐伯落浦善四郎→玉島中塚治左衛門・蛭子丸吉兵衛)	酉年
972	仕切(上炭・直竹・三十竹・豊後塩屋達助→玉島中塚治左衛門・戎子丸吉兵衛)	酉年
973	売仕切(秋田小豆、網干屋松兵衛→中塚治左衛門、戎子丸吉兵衛)	酉年
974	おほへ(6通)(酒代など)	酉年
975	仕切状之事(大桧、紀州内海屋伝兵衛→住福丸市松)	巳年
976	売仕切(赤イモなど、鍵屋利助→亀次郎)	年月日未詳
977	仕切状之事(杉、紀州内海屋伝兵衛→住福丸菊松)	申年
978	仕切(煎干、小遣走熊太→正栄丸桑吉)	年月日未詳
979	仕切(塩、紀州熊野口屋林吉→住栄丸菊松)	卯年
980	記(帆、口→住福丸芳蔵)	亥年
981	仕切(塩、平戸讃岐屋市蔵→住福丸為蔵)	戌年
982	仕切(桧縄、熊野那知浦口屋林吉→住寿丸菊松)	卯年

983	仕切(塩・表・玉煙、志佐問屋白石屋孫太郎→住福丸芳蔵)	年月日未詳
984	仕切記(石炭、平戸永野山浜田勘場→住福丸亀蔵)	明治8年
985	仕切(塩、平戸讃岐屋→住福丸為蔵)	亥年
986	売仕切(塩、平戸口→住福丸芳蔵)	亥年
987	記(中塚吉十郎船、沖船頭金本芳蔵正栄丸黒島内伊島にて大風のため破損、船問屋松田一郎平ほか2名→第86大区戸長)	明治6年
988	[達](小田県庁)	年月日未詳
989	仕切(石炭、平戸佐々尾崎勘場→住福丸芳蔵)	申年
990	仕切(志佐問屋白石屋孫太郎→住福丸芳造)	年月日未詳
991	[中塚実三郎宛安原文三郎書状](悴死去につき)	年月日未詳
992	差入申御詫一札之事(浜議定に背き小売塩の件、柏島村儀助ほか2名→勇崎浜村御役人中)	明治4年
993	御定免書上(東勇崎村役人惣代、副戸長中塚実三郎→小田県権令矢野光儀)	壬申年
994	[達](郡費荒割、会議所)	
995	容体書(勇崎村平民大島重吉背部漫腫、同村医師井出臨川→小田県権令矢野光儀)	明治8年
996	[履歴書](小田県平民木口圭岱→小田県御庁、内治学研究、嘉永5年開業)	明治6年
997	[懸金利足受取](勇崎村正副戸長→玉島分社)	癸酉年
998	[達](正副戸長廃止、岡山県令高崎五六→浅口郡会議所→各区正副戸長)	年月日未詳
999	[中塚銀太宛藤井金三郎書状](算用の儀御願)	年月日未詳
1000	[願書](氏神社地境内小学校手狭のため男女雑遯につき男子学校健築のこと、勇崎村学校周旋方中塚銀太ほか1名→小田県)	年月日未詳
1001	落成御届(勇崎村瓦葺男子校、120円、正副戸長→小田県権令矢野光儀)	明治8年
1002	拝借地書上(勇崎村宮地小学校敷地、正副戸長・保長)	明治7年
1003	[諸興行・問屋税書上]	年月日未詳
1004	[達](学事につき、岡山県→浅口郡会議所)	明治9年
1005	御定免奉願上二付請書之事	年月日未詳
1006	証印税請取(地租改正局→押山浜)	明治7年
1007	[人数書上]	年月日未詳
1008	小学校御届(東勇崎村正副戸長→小田県権令矢野光儀)	年月日未詳
1009	小学校募金御届ケ(200円、勇崎村正副戸長→小田県権令矢野光儀)	明治6年
1010	船売買御願(売渡人笠岡村中常吉、買受人中塚多三郎→小田県権令矢野光儀)	明治9年
1011	解船御届(勇崎村三宅此吉船、正副戸長→小田県権令矢野光儀)	明治8年
1012	[告文](地租改正につき、岡山県史生花田尚真)	明治9年
1013	地券売買御書換願(勇崎村戸長中藤敬吉ほか1名→地租改正局)	明治7年
1014	解船御届(勇崎村山本亀松船、正副戸長→小田県権令矢野光儀)	明治8年
1015	解船御届(勇崎村中原嘉吉船)	明治8年
1016	口上(住寿丸、塩積入上方登り掛の処、大風雨にて難船の件、勇崎村住寿丸沖船頭菊松ほか水主5名→塩飽島之内与島庄屋信右衛門ほか2名)	慶応2年
1017	仕切覚(秋田大豆、大坂伊勢屋林助→住寿丸平作)	明治7年
1018	塩仕切(口→住寿丸菊松)	明治元年
1019	仕切(鉄、伊勢浜田屋甚助→住寿丸菊松)	午年
1020	仕切状之事(二舎印鉄、勢州賛浦野間屋吉蔵→備中玉しま住寿丸喜久松)	午年
1021	仕切状之事(二舎印鉄、勢州賛浦野間屋吉蔵→備中玉しま住寿丸喜久松)	
1022	覚(金受取、勢州福田屋→住寿丸菊松)	午年
1023	仕切状之事(瀬戸田塩、伊勢浜田屋甚助→住寿丸菊松)	
1024	仕切状之事(塩、片山彦右衛門→住寿丸菊松)	午年
1025	目録(片山彦右衛門→住寿丸菊松)	午年
1026	覚(杉丸太、片山彦右衛門→住寿丸菊松)	午年
1027	覚(片山彦右衛門→住寿丸菊松)	午年
1028	仕切状之事(杉・桧、紀州古座浦内海屋伝兵衛→住寿丸菊松)	午年
1029	目録指引通(内海屋伝兵衛→玉島中塚治左衛門、住寿丸菊松)	明治3年
1030	目録指引通(内海屋伝兵衛→住寿丸菊松)	明治3年
1031	覚(林屋徳右衛門→住寿丸菊松)	年月日未詳
1032	覚(扱苧・帆など、会津屋武右衛門→住寿丸菊松)	午年
1033	仕切状之事(芸州塩、勢州野間屋吉蔵→玉しま住寿丸喜久松)	午年
1034	買仕切(塩、紀州熊野大島田並屋市右衛門→住寿丸喜久松)	午年

1035	売仕切(鯉枯節、紀州熊野大島田並屋市右衛門→住寿丸喜久松)	年月日未詳
1036	仕切状之事(杉板、紀州熊野大島田並屋市右衛門→住寿丸喜久松)	年月日未詳
1037	目録(仕切勘定、紀州熊野大島田並屋市右衛門→住寿丸喜久松)	年月日未詳
1038	覚(塩、浜田屋甚助→住寿丸菊松)	午年
1039	仕切(塩、山本市右衛門→住寿丸菊松)	年月日未詳
1040	売仕切(古川、勇崎中崎屋彦太郎→住福丸芳五郎)	明治6年
1041	売仕切(古川、勇崎中崎屋彦太郎→住福丸芳蔵)	申年
1042	仕切(上石、長崎県今福松崎山中田鶴吉→防州大島郡住福丸常蔵)	壬申年
1043	仕切(塩、勇崎中崎屋彦太郎→すみ福丸由蔵)	申年
1044	目録(口→住寿丸菊松)	酉年
1045	仕切(うのり、山本市右衛門→住寿丸喜久松)	年月日未詳
1046	[覚帳](住寿丸菊松宛、紀州などにて)	酉年
1047	仕切(塊石、田島屋善之十→住福丸芳造)	戌年
1048	仕切(塩、田島屋善之重→住福丸芳造)	年月日未詳
1049	覚(塩、角屋甲兵衛→住福丸芳造)	年月日未詳
1050	仕切(塊炭、半屋勘介→住福丸由蔵)	申年
1051	仕切状之事(紀州内海屋伝兵衛→住寿丸菊松)	卯年
1052	仕切状之事(備中菟、内海屋伝兵衛→住寿丸菊松)	申年
1053	差引目録(藤屋伝之丞→大塚兵作)	申年
1054	買仕切(備中葉・豊後米・しの巻・塩、紀州田並屋市右衛門→住寿丸菊松)	午年
1055	覚(たばこ、紀州藤右衛門→住寿丸菊松)	未年
1056	覚(房次→桑吉)	未年
1057	売仕切(船道具など、紀州田並屋市右衛門→住寿丸菊松)	未年
1058	目録(たばこ・塩・米・しのまき、紀州田並屋市右衛門→住寿丸菊松)	未年
1059	売仕切(杉、紀州田並屋市右衛門→住寿丸菊松)	未年
1060	覚(高橋勇太郎→住寿丸菊松)	年月日未詳
1061	覚(杉板、境屋清兵衛→備中菊松)	未年
1062	質入証文之事(田畑・屋敷・山32筆、150両、質置主黒崎村善兵衛ほか2名→勇崎村治左衛門)	元治1年
1063	[中塚治左衛門宛伴野口書状](婚礼相整)	年月日未詳
1064	五ヶ年切質流地証文之事(塩浜2反余、質流地主忠右衛門ほか1名→庄屋次左衛門)	文化14年
1065	相渡申立物之事(長屋・醤油蔵、借用主与右衛門ほか2名→次左衛門)	文化10年
1066	売仕切之事(こらし、柳屋伝三郎)	酉年
1067	仕切(石灰、備前九番中野屋安次郎→住福丸芳造)	明治9年
1068	覚(勇崎浜ほか4ヶ村銀札書上、治左衛門代兼押山浜年寄喜右衛門→倉敷御役所)	寅年
1069	仕切(杉、紀州山本市右衛門→住寿丸菊松)	年月日未詳
1070	口上(立会連中→庄屋)	年月日未詳
1071	覚(繰綿・塩当未年売渡代金銀吉左右、中塚助左衛門功和→御歳徳尊神御広前)	安政6年
1072	覚(権吉ほか1名→御取扱人次左衛門)	文化1年
1073	[ゆふさき中塚次左衛門宛おとしま猪木与五兵衛書状](又太夫地所のこと)	年月日未詳
1074	差出シ申議定書之事(小売塩の儀など、四軒屋良太→中塚助右衛門浜方御衆中)	明治4年
1075	[片島村ほか5ヶ村庄屋宛勇崎浜治左衛門・勇崎村又三郎廻状](上納金一条)	年月日未詳
1076	目録指引通(紀州内海屋伝兵衛→住福丸菊松)	明治3年
1077	目録指引通(紀州内海屋伝兵衛→住福丸菊松)	明治3年
1078	借用申金子之事(志州口浦金次郎→住寿丸亀松)	午年
1079	覚(塩代、浜屋乙松→住寿丸菊松・亀松)	巳年
1080	仕切状之事(備中米、内海屋伝兵衛→住福丸菊松)	午年
1081	し切覚(青蠟、紀州田並屋一右衛門→菊松)	
1082	売仕切(口、紀州田並屋市右衛門→住寿丸菊松)	午年
1083	[四日市浜田屋甚助・住寿丸菊松宛福神丸留造書状]	酉年
1084	覚(板など、境屋清兵衛→住寿丸菊松)	年月日未詳
1085	覚(御用銀受取、犬飼仙左衛門ほか2名→東三成村西分重兵衛分)	文化2年
1086	借用申証文之事(金1両、年貢不納御出訴内済のため、借用主松本屋庄作ほか1名→御庄屋国太郎)	天保10年
1087	売仕切(塩、中村栄助→住福丸芳蔵)	年月日未詳

1088	売仕切(塩、桜屋為助→住福丸芳蔵)	明治8年
1089	証文(10円借用、住吉丸本人卯吉→住福丸芳蔵)	年月日未詳
1090	仕切覚(小石、潜岩山勘場→住寿丸芳蔵)	亥年
1091	仕切(塩、平戸築後屋平吉→住福丸好蔵)	明治8年
1092	[触書](唐物抜荷の儀)	文化2年
1093	[中塚治左衛門宛上野屋善左衛門書状](大内札のこと)	年月日未詳
1094	委任状之事(悪水溝掘替につき村方より出訴の件、総代理人委任、勇崎村戸長中藤敬吉→副戸長中塚実三郎)	明治8年
1095	[勇崎浜悪水通絵図]	年月日未詳
1096	以書付奉願上候(悪水捌方の件、小前連印→正副戸長)	明治7年
1097	悪水溝掘浚違約二附(原告代言人黒崎村平民石橋惣左衛門、被告人勇崎村助三郎事山本市三郎)	明治8年
1098	悪水溝わがままに堀替難渋之訴対談書(原告代言人黒崎村平民石橋惣左衛門、被告人勇崎村助三郎事山本市三郎)	明治8年
1099	以書付御願申上候(悪水溝掘浚違約につき、勇崎村正副戸長・小前惣代→小田県権令矢野光儀)	明治7年
1100	御届書(悪水溝掘浚違約につき、勇崎村正副戸長→小田県権令矢野光儀)	明治8年
1101	御歎願(勇崎村山本助三郎所地勇崎浜悪水路掘替事件、小前連印出願の件、中塚吉十郎ほか2名→小田県権令矢野光儀)	明治8年
1102	以書付御願申上候(勇崎村山本助三郎所地勇崎浜悪水路掘替事件、浜方一同→中藤敬吉・中塚実三郎、万延元年証文写あり)	明治8年
1103	下札ノ扣へ(米穀新穀詰替につき)	文化2年～文化6年
1104	[勇崎村庄屋又三郎宛勇崎浜庄屋治左衛門書状](悪水路堀替の件)	年月日未詳
1105	記(助三郎持地)	年月日未詳
1106	[勇崎・黒崎立会悪水溜絵図]	年月日未詳
1107	悪水溝わがまま堀替難渋之訴対談書	明治8年
1108	以手続書御願口(悪水溝わがまま堀替難渋之訴の件)	
1109	[願書](悪水溝わがまま堀替難渋之訴の件)	年月日未詳
1110	御歎願(悪水溝わがまま堀替難渋之訴の件)	年月日未詳
1111	[願書](悪水溝わがまま堀替難渋之訴の件)	明治8年
1112	以書付奉申上候(悪水溝わがまま堀替難渋之訴の件、山本市三郎→)	明治7年
1113	御願下ヶ書(悪水溝わがまま堀替難渋之訴の件、中塚実三郎→小田県権令矢野光儀)	年月日未詳
1114	御請書(勇崎村西新田道筋の儀、正副戸長・保長・小前惣代7名→小田県権令矢野光儀)	明治7年
1115	以書付御願奉申上候(山本助三郎の件、勇崎村正副戸長・小前惣代→小田県権令矢野光儀)	明治7年
1116	船売買御届書(勇崎村正副戸長→小田県権令矢野光儀)	明治6年
1117	御伺書(山本助三郎の件)	明治8年
1118	悪水溝わがままに堀替難渋之訴対談書	明治8年
1119	差入申議定書之事(悪水溝わがままに堀替難渋の件、勇崎村助三郎事山本市三郎、築山員外→村吏中塚実三郎)	明治8年
1120	御願下ヶ書(悪水溝わがままに堀替難渋の件、中塚実三郎→)	年月日未詳
1121	[願書](悪水溝わがままに堀替難渋の件、中塚実三郎・中藤敬吉→小田県権令矢野光儀)	明治8年
1122	以書付御願申上候(悪水溝わがままに堀替難渋の件、浜方・東勇崎村惣連印→中藤敬吉・中塚実三郎)	明治7年
1123	[届書](悪水溝わがままに堀替難渋の件)	明治7年
1124	以書附奉申上候(悪水溝わがままに堀替難渋の件、山本市三郎→)	明治7年
1125	御歎願(悪水溝わがままに堀替難渋の件、中塚吉十郎ほか2名→小田県権令矢野光儀)	明治8年
1126	以書付奉願上候(悪水溝わがままに堀替難渋の件)	年月日未詳
1127	御届書(悪水溝わがままに堀替難渋の件)	年月日未詳
1128	[勇崎浜庄屋治左衛門宛勇崎村庄屋又三郎書状](助三郎、悪水溝堀替の儀)	年月日未詳
1129	[勇崎村庄屋又三郎宛勇崎浜庄屋治左衛門書状](悪水路助三郎堀替一件)	年月日未詳
1130	[林宏一郎宛中塚両君宛書状]	年月日未詳
1131	[勇崎浜中塚次左衛門宛勇崎村中藤又三郎書状](悪水路助三郎堀替一件)	年月日未詳
1132	[願書](悪水路助三郎堀替一件、勇崎浜ほか5ヶ村庄屋→倉敷御役所)	年月日未詳
1133	[浜庄屋治左衛門宛勇崎村庄屋又三郎書状](悪水路助三郎堀替一件)	年月日未詳
1134	[中塚宛又三郎書状](悪水路助三郎堀替一件)	年月日未詳
1135	[本家宛出店書状](悪水路助三郎堀替一件)	年月日未詳
1136	[差紙](該郡会議所→勇崎中藤敬吉、中塚実三郎)	年月日未詳
1137	乍恐以書附奉願上候(悪水路助三郎堀替一件、勇崎村・勇崎浜役人惣代→倉敷御役所)	巳年
1138	[勇崎村庄屋又三郎宛勇崎浜庄屋治左衛門書状](悪水路助三郎堀替一件)	年月日未詳
1139	[差紙](本郡会議所→勇崎村正副戸長)	明治8年
1140	僕婢下調へ書(6人)	年月日未詳

1141	鉄炮御届(勇崎村副戸長中塚実三郎→小田県御庁)	明治5年
1142	仕切状之事(椎・杉・米など、紀州熊野口口屋要助→備中住寿丸菊松)	酉年
1143	目録(影四郎→住寿丸菊松)	酉年
1144	仕切状之事(椎、才賀屋要助→住寿丸菊松)	酉年
1145	相庭(米・綿・練粕・酒粕など、米屋吉右衛門→蛭子丸源吉)	
1146	〔家相図〕	年月日未詳
1147	〔家相図〕	年月日未詳
1148	〔家相図〕	年月日未詳
1149	〔家相図〕	年月日未詳
1150	〔家相図〕	年月日未詳
1151	〔家相図〕	年月日未詳
1152	遺産相続登記済証下附願(勇崎村中塚長十郎ほか1名→玉島登記所)	明治20年
1153	船鑑札御書換願(中塚長十郎ほか4名→浅口郡長窪津義忠)	明治20年
1154	覚(郡中入用金請取、倉敷県庁→勇崎浜)	午年
1155	覚(郡中入用金請取、倉敷県庁→押山浜)	午年
1156	受取証(船税、小田県→勇崎村33名)	明治7年
1157	水島地量二係スル費用及賦課扣書	明治19年
1158	寄附金御願(玉島警察署御用馬諸費、勇崎村中塚実三郎→岡山県令千坂高雅)	明治19年
1159	売買地券御書換願(中塚長十郎ほか1名→浅口郡長窪津義忠)	明治18年
1160	重複地券御削除願(中塚実三郎ほか5名→岡山県知事千坂高雅)	明治21年
1161	〔助左衛門宛次左衛門書状〕(小作方の儀)	年月日未詳
1162	改名御願(中塚等太郎事改名吉重郎→岡山県令高崎五六)	明治9年
1163	覚(明樽、浜島村井上浅七→住寿丸菊松)	午年
1164	覚(元山、中崎屋彦太郎→表出店)	戌年
1165	記(竹田、表屋吉十郎→本家実三郎)	年月日未詳
1166	〔勇崎村戸長中藤慶吉宛口村戸長小野慎一郎書状〕(穀物売掛金滞の儀)	年月日未詳
1167	記(米代預り)	年月日未詳
1168	〔勇崎村正副戸長宛乙島村副戸長3名書状〕(横溝徳一郎と申もの蝦夷地松前箱館預け置荷物引渡方の件)	年月日未詳
1169	記(上記荷物目録)	年月日未詳
1170	〔中塚治左衛門宛安本恒太郎、大野八十吉書状〕(問屋仕切銀のこと)	年月日未詳
1171	課(新賃御渡、戸長中藤敬吉→中塚実三郎)	年月日未詳
1172	申定(建札写、氏神祭礼進幸不相成ことなど、村役人)	子年
1173	〔乙島庄屋守屋心一宛押山浜庄屋中塚実三郎書状〕(水門水咄筋寄洲堀穿につき)	年月日未詳
1174	〔達〕(地租改正実地点検のため入村のところ村吏出頭なきにつき厳達、地租改正掛中田口彦ほか1名→勇崎村副戸長中塚実三)	年月日未詳
1175	記(金請取、三宅半八郎→中塚実三郎)	年月日未詳
1176	〔書状〕(分郷勇崎村事件につき)	年月日未詳
1177	口上覚(勇崎村正副戸長→大坂西大組新町戸長福田佐助、御町内藤沢由蔵は当村亡弁蔵兄につき弁蔵地所のこと)	壬申年
1178	〔勇崎村中塚実三郎宛笠岡ヨリ中藤敬吉書状〕(石代歎願の儀)	年月日未詳
1179	〔勇崎村中塚実三郎宛金岡ヨリ吉田惣五郎書状〕(分郷勇崎村事件につき)	年月日未詳
1180	記(よりいも代、竹屋七平→中塚本家)	巳年
1181	〔勇崎村中塚実三郎宛笠岡三宅恭平書状〕(元龍岡県高杉延次郎より帳面引渡のこと)	年月日未詳
1182	〔中塚実三郎宛三宅佐平代理児島長規書状〕(御区皆様御止宿・飯料のこと)	年月日未詳
1183	〔中塚本家宛口書状〕	年月日未詳
1184	〔口宛同銀吉書状〕(寄島・勇崎村器械修復費・小作掛金のこと)	年月日未詳
1185	〔中塚宛柚木書状〕(用立金受取)	年月日未詳
1186	受取証(醤油造免許税など、小田県庁出納課→勇崎村中藤敬吉)	壬申年
1187	送り状之事(美作国大庭郡下長田村重蔵、押山浜にて病気につき国元へ村継送届のこと、押山浜庄屋年寄→村々御役人衆)	明治3年
1188	覚(もみ代、堀川敬蔵→御庄屋)	戌年
1189	記(物産など御届、勇崎浜・押山浜林屋銀蔵)	年月日未詳
1190	〔浜表御本家宛黒崎生魚会社中藤書状〕(金子借用依頼)	年月日未詳
1191	覚(御陣内御困糶天保12年御売却引請のこと、片島村北十郎→当郡村々御立会中)	天保12年
1192	覚(窪屋・浅口・都宇郡下ヶ渡糶書上)	天保12年
1193	〔重左衛門宛北十郎書状〕(御陣内困糶売払値段につき)	年月日未詳

1194	〔御立会中宛北十郎書状〕(村方変事出来につき)	年月日未詳
1195	〔北十郎宛重左衛門ほか8名書状〕(御陣内御困糶売払代銀の儀)	年月日未詳
1196	〔申渡〕(西丸御普請の節献納につき御褒美銀下置のこと、藤彦一郎→備中・讃岐9郡村々)	弘化4年
1197	〔片島村ほか6ヶ村御役人中宛勇崎浜庄屋治左衛門廻状〕(郡中入用大割銀、村々貯穀などにつき)	年月日未詳
1198	覚(浅口郡10ヶ村郡中大割先銀割賦、郡中惣代・窪屋・都宇・浅口・賀陽・哲多・阿賀・西北条・勝北郡村々庄屋18名)	戌年
1199	覚(御用飛脚賃など諸入用割賦、郡中惣代・窪屋・都宇・浅口・賀陽・哲多・阿賀・西北条・勝北郡村々庄屋18名)	戌年
1200	記(臨時御祭事につき献上御初穂受納、御祭事納物方詰所→浅口郡9ヶ村惣代勇崎浜治左衛門)	嘉永4年
1201	〔片島村ほか6ヶ村御役人宛倉敷浜屋にて勇崎浜庄屋治左衛門廻状〕(村々御召出小前惣代のこと)	年月日未詳
1202	〔片島村ほか6ヶ村御役人宛倉敷浜屋にて勇崎浜庄屋治左衛門廻状〕(永久御備金預り証文相調差上につき)	年月日未詳
1203	地所書入金借用証券(柏島村西山隆平ほか1名→中塚実三郎)	明治16年
1204	〔片島村ほか6ヶ村御役人宛倉敷浜屋にて勇崎浜庄屋治左衛門廻状〕(永久御備金預り証文相調差上につき)	年月日未詳
1205	〔片島村ほか6ヶ村御役人宛倉敷浜屋にて勇崎浜庄屋治左衛門廻状〕(大坂御廻米のこと)	年月日未詳
1206	覚(人別繰綿く?)勿目書上、時わ屋→御旦那様・御連中様)	年月日未詳
1207	覚(人別繰綿く?)勿目書上、せのふ屋→御旦那様)	年月日未詳
1208	〔勇崎浜次左衛門宛植田武右衛門書状〕(大坂宿臨時入用のこと、松山彦四郎、音島渡金のこと)	年月日未詳
1209	覚(大坂廻米入用など請取、植田武左衛門代判定四郎→勇崎浜庄屋次左衛門)	酉年
1210	伊勢参詣雑費記録(中塚長十郎・儀八)(渡辺久蔵)	明治24年
1211	催合講金請取通(講主井出孝四郎ほか3名→中塚実三郎)	明治12年
1212	催合講金受取通(講主林宏一郎ほか5名→中塚実三郎)	明治7年
1213	催合講加入口講渡証書(元浜庄平ほか1名→中塚実三郎)	明治15年
1214	仕法講金受取通(発起人小田郡甲怒村三浦泰造ほか2名→勇崎村中塚実三郎)	明治21年
1215	〔記・証書など〕(7(6ヵ)通)	明治19年など
1216	催合講金受取通(講主林宏一郎ほか5名→勇崎浜中塚実三郎)	明治7年
1217	催合講掛金受取通(講主山本清三郎ほか3名→中塚実三郎)	明治13年
1218	積金請取通(白水社担当人井手吉坪→中塚実三郎)	明治10年
1219	蓄積金受取証(担当人渡辺五三郎→中塚長十郎)	明治15年
1220	積金請取通(白水社担当人井手吉坪→中塚実三郎)	明治12年
1221	舎入金受取証(共昌社周施方中塚銀太ほか1名→高田新五郎)	明治13年
1222	催合講金受取通(講主吉川仙太郎ほか3名→譲り受中塚実三郎)	明治11年
1223	催合講掛金受取通(講主山本清三郎ほか3名→中塚実三郎)	明治13年
1224	催合講金請取通(講主中塚勝次郎ほか2名→中塚実三郎)	明治8年
1225	口亀屋入地絵図面並小作人(絵図など5点)	年月日未詳
1226	共栄社金受取之証(引受方近藤住太郎ほか2名→中塚福次)	明治13年
1227	〔大内札一件書類〕(大内手形札再興につき、袋入書状・入用帳など24(23ヵ)点)	安政4年
1228	呉服太物御通(松田屋茂兵衛→中塚出店)(内容は、毘沙門山畑畝数扣)	巳年
1229	諸色ひかへ帳	文久2年
1230	吉備津宮御寄封銀請取書(西浜分入、袋)	年月日未詳
1231	仮請取(押山村寄附銀、吉備津宮出役社家藤井舎人→勇崎浜庄屋次左衛門)	寅年
1232	御寄附銀請取(吉備津宮社領役場→勇崎浜庄屋治左衛門)	文化3年
1233	吉備津宮御上葺御勸化銀社納請取通(藤井但馬守ほか6名→勇崎村庄屋・年寄)	明和2年
1234	〔小学校引合書類〕(覚・小学校建築入費割賦など6点)	明治6年
1235	元治元子年安政講開札扣	元治1年
1236	黒崎村四郎左衛門貸銀、同漁師へ仕入銀書出帳	安政～文久
1237	〔贈物書上帳〕(中元・歳暮など)	明治5月～明治8月
1238	〔記など〕(16(19ヵ)点)	年月日未詳
1239	砂糖類御通(小野代五郎→中塚御本家)	明治22年
1240	御通(中儀→本中塚、酒・薪など)	明治22年
1241	清酒御通(三宅仙蔵→中塚本家)	丑年
1242	材木之御通(亀本屋政治郎→中塚本家)	明治22年
1243	連島手残覚	卯年
1244	〔覚など〕(4(3ヵ)通)	
1245	催合講懸銀請取通(早島勘定所→倉敷下津井屋吉左衛門)	安政4年
1246	〔買物覚帳〕	慶応

1247	〔浜加地子など書上帳〕	年月日未詳
1248	〔塩物・生魚など算用残覚〕(西ノ浦表浜→浜庄屋治左衛門)	子年
1249	算用通(どてや→本表)	明治17年
1250	百人講勘定帳(講元常明院)	子年
1251	祝年諸払覚	元治2年
1252	卯八月勘定	卯年
1253	寅掛残覚	寅年
1254	丑年掛残覚	丑年
1255	寅二月晦日切[]	寅年
1256	出入勘定(伏見屋受表浜)	
1257	覚(四軒屋清兵衛)	
1258	覚(理之丞→浜方御庄屋)	慶応3年～明治3年
1259	銀札取引通(竹屋善兵衛→浜表治左衛門)	安政7年
1260	覚(他行書上、七之助)	年月日未詳
1261	覚(妙福丸算用扣)	年月日未詳
1262	弁材天入用控(浜表材木店→べざいてん御役人)	子年
1263	差引算用覚(砂糖取粕など)	年月日未詳
1264	〔他行入用書上帳〕(倉敷行など)	酉年～亥年
1265	〔他行入用書上帳〕(品蔵)	子年
1266	覚(御使賃など書上、倉敷淀屋恂平→勇崎浜庄屋中塚治左衛門)	午年
1267	覚(御使賃など書上、倉敷淀屋恂平→勇崎浜庄屋中塚治左衛門)	午年
1268	覚(淀屋恂平→押山浜庄屋、中塚介左衛門)	午年
1269	〔賄賃書上帳〕(淀屋恂平→勇崎浜庄屋中塚次左衛門)	午年
1270	木綿・繰綿算用	年月日未詳
1271	御惣客様御道中御行列並二御休泊帳	慶応4年
1272	〔高反別帳雛形〕	年月日未詳
1273	記(帳面御届)	明治6年
1274	覚(預り帳面書上、高杉延次郎ほか2名→中藤重左衛門)	辰年
1275	〔記など〕(6通)	年月日未詳
1276	乍憚口上(喧嘩)	
1277	〔村入費書上〕	年月日未詳
1278	〔愛吉算用〕	
1279	な五やいき(金福丸)	壬申年
1280	〔船道具書上〕(金福丸菊松)	年月日未詳
1281	明治廿三年起返り地	明治23年
1282	〔田畑書上〕	年月日未詳
1283	〔田畑書上〕(柏島村)	年月日未詳
1284	覚(水門割、四軒屋口吉→中塚助左衛門)	午年
1285	〔田畑塩浜書上〕	年月日未詳
1286	売仕切(くり綿、川崎屋善左衛門→表助左衛門)	万延2年
1287	買仕切(小豆・大豆、安下ノ庄干鰯屋次右衛門→住福丸次八)	酉年
1288	買仕切(唐津大豆、戎屋定助→浜表助左衛門・住福丸治八)	酉年
1289	〔覚など〕(7通)(くり綿代など)	年月日未詳
1290	覚(綿本数、山形屋幸吉→表助左衛門)	酉年
1291	万覚帳	万延2年
1292	〔覚帳〕	年月日未詳
1293	乍恐以書付奉願上候(岡田札一件、浅口郡村々惣代勇崎浜庄屋治左衛門→倉敷御役所)	文久2年
1294	追願之分(片島村ほか8ヶ村銀高書上)	年月日未詳
1295	差上申御済口証文之事(倉敷村百姓百姓寿太郎方同居吉左衛門より板倉摂津守様家来内山新兵衛ほか4名へ相懸出入の件、吉左衛門→御奉行所)	文久1年
1296	追願之分(片島村ほか8ヶ村銀高書上)	文久2年
1297	乍恐以書附奉願上候(岡田銀札相場の儀、浅口郡村々惣代勇崎浜庄屋治左衛門ほか1名→倉敷御役所)	寅年
1298	乍恐以書附奉願上候(岡田銀札相場の儀、浅口郡村々惣代勇崎浜庄屋治左衛門ほか1名→倉敷御役所)	年月日未詳

1299	〔浦方御定〕(24ヶ条)	年月日未詳
1300	宮参り入用扣	年月日未詳
1301	〔塩浜年貢免状〕(勇崎浜・押山浜)	年月日未詳
1302	浜口屋磯太郎算用書類入(袋)	年月日未詳
1303	石炭御通(浜口屋磯太郎→浜表御出店)	卯年
1304	覚(浜口屋磯太郎→浜表御出店)	丑年
1305	石炭御通(浜口屋磯太郎→浜表御出店)	文久3年
1306	石炭御通(浜口屋磯太郎→浜表御出店)	万延元年
1307	石炭御通(浜口屋磯太郎→浜表御出店)	巳年
1308	覚(9通)(石炭代、浜口屋磯太郎→浜表御出店)	巳年
1309	出勤中諸事扣	明治7年
1310	〔記など〕(4通)	年月日未詳
1311	船税上納入用割賦	申年
1312	覚(旅費)	年月日未詳
1313	出勤所事ひかへ	明治6年
1314	〔中塚治左衛門宛太田八太郎書状〕	年月日未詳
1315	乍恐以書付奉願上候(阿賀郡実村太田八太郎、御城米3ヶ村分川下ヶにつき、勇崎浜庄屋治左衛門→倉敷御役所)	亥年
1316	〔中塚治左衛門宛倉敷元右衛門書状〕	年月日未詳
1317	〔中塚治左衛門宛成地分源左衛門書状〕	年月日未詳
1318	〔元右衛門宛治左衛門書状〕	年月日未詳
1319	〔中塚治左衛門宛倉敷ヨリ元右衛門書状〕	年月日未詳
1320	〔中塚治左衛門宛浜屋七介書状〕	酉年
1321	覚(金書上)	年月日未詳
1322	酉御廻米受負証文之事(勇崎浜庄屋治左衛門→実村庄屋保太郎)	文久2年
1323	〔中塚実三郎宛石橋惣右衛門書状〕(山本市三郎の件につき)	年月日未詳
1324	〔記など〕(8(9ヵ)通)	年月日未詳
1325	覚(くり綿書上、玉島中西屋久兵衛→中塚治左衛門)	亥年
1326	〔笠岡中町隅屋四郎平宛岡山仲町小村七郎書状〕(縁談につき)	年月日未詳
1327	船税受取(租税課→勇崎村)	明治6年
1328	取扱中一件諸入用書出し帳(治左衛門控、鶴新田乙島村一件、倉敷清左衛門ほか2名→西之浦三宅直吉)	嘉永7年
1329	銀上納覚(元屋八右衛門→庄屋次左衛門)	天保6年
1330	石炭掛渡帳并注文入(袋)	午年
1331	石炭掛渡し帳(中崎屋民右衛門→天寿丸初治郎)	弘化3年
1332	覚(石炭代、中崎屋民右衛門→庄屋治左衛門)	午年
1333	石炭掛渡し帳(中崎屋民右衛門→明神丸藤左衛門)	弘化3年
1334	石炭掛渡し帳(中崎屋民右衛門→明神丸藤左衛門)	弘化3年
1335	覚(中崎屋民右衛門→庄屋治左衛門)	午年
1336	石炭掛渡し帳(中崎屋民右衛門→毘沙門丸三吉船)	弘化3年
1337	覚(中崎屋民右衛門→庄屋治左衛門)	午年
1338	石炭掛渡し帳(中崎屋民右衛門→徳宝丸四郎兵衛船、幸栄丸栄五郎船)	弘化3年
1339	石炭掛渡し帳(中崎屋民右衛門→安生丸亀七船)	弘化3年
1340	石炭掛渡し帳(中崎屋民右衛門→蛭子丸重太郎)	弘化3年
1341	石炭掛ヶ改帳(問屋沖塩や→住吉丸代吉)	弘化3年
1342	石炭掛渡し帳(中崎屋民右衛門→金福丸元治郎船)	弘化3年
1343	覚(中崎屋民右衛門→庄屋治左衛門)	午年
1344	覚(中崎屋民右衛門→庄屋治左衛門)	午年
1345	石炭掛渡し帳(中崎屋民右衛門→万寿丸宮蔵船)	弘化3年
1346	石炭掛ヶ改帳(問屋沖しほや→住吉丸藤兵衛船)	弘化3年
1347	差引書(諸代金請取、越後桃崎三浦関右衛門→表屋平吉)	慶応2年
1348	掛屋別納并金間勘定一件(袋)	元治1年
1349	〔守屋勝太郎ほか7名宛中塚治左衛門ほか1名廻状〕(掛屋平右衛門へ相懸一条)	年月日未詳
1350	乍恐以書付奉願上候(御年貢上納銀丁銀不自由につき掛屋大橋平右衛門へ金子相渡、過不足勘定の儀、村々庄屋連中)	年月日未詳
1351	〔はま中塚宛くろ吉田書状〕	年月日未詳

1352	〔中塚宛吉田書状〕(掛屋掛合方につき)	年月日未詳
1353	〔水沢口太郎殿跡御引受後見惣左衛門宛浅口郡村々惣代勇崎浜庄屋治左衛門ほか1名書状〕	寅年
1354	乍恐以書付奉願上候(御年貢上納銀丁銀不自由につき掛屋大橋平右衛門へ金子相渡、過不足勘定の儀、村々庄屋連中)	年月日未詳
1355	〔掛屋大橋平右衛門宛浅口郡村々惣代黒崎村庄屋八右衛門ほか1名書状〕(御年貢金間の儀)	年月日未詳
1356	〔勇崎浜・黒崎村庄屋宛倉敷掛屋大橋平右衛門書状〕(御年貢上納金間立戻勘定合の儀)	年月日未詳
1357	〔口上など〕(2通)	年月日未詳
1358	〔掛屋大橋平右衛門宛勇崎浜庄屋治左衛門書状〕(勇崎・押山浜御年貢銀上納につき)	年月日未詳
1359	柏島村年寄跡役一件(袋)	
1360	奉差上出入取嚢内済証文之事(柏島村惣百姓代六左衛門ほか5名より同村百姓伝七郎ほか3名へ相掛訴上、同村年寄与治右衛門跡役願一件)	
1361	〔書状など〕(4通)	年月日未詳
1362	申合一札之事(年寄跡役のこと、五郎兵衛ほか5名)	年月日未詳
1363	〔書状など〕(9通)	年月日未詳
1364	乍恐以書付奉願上候(柏島村年寄跡役一件、訴訟方・相手方・取扱人17名→倉鋪御役所)	辰年
1365	乍恐以書付奉願上候(柏島村年寄跡役一件、訴訟方・相手方・取扱人17名→倉鋪御役所)	辰年
1366	〔書状〕(4通)(柏島一件)	年月日未詳
1367	寅7月小払注文入(袋)(郡中入用受取・御通など20(21カ)通在中)	子年・巳年
1368	覚(平戸尾崎勘場→中塚吉十郎)	年月日未詳
1369	〔中塚吉十郎宛平戸尾崎勘場書状〕(正栄丸破船につき)	明治6年
1370	〔受取証〕(かすがい代など、かじや佐五郎→御庄屋)	巳年
1371	万御通(玉島稻荷町御菓子口黒崎屋利助→表御出店様)	年月日未詳
1372	覚(かじや佐五郎→吉原茶屋)	巳年
1373	覚(浜表材木店→中塚助左衛門)	巳年
1374	覚(10通)(材木・菓子など)	寅年
1375	覚(20通)(着物・とうふなど)	寅年
1376	〔書状〕(岡札一条など)	年月日未詳
1377	〔人足書上〕(浜表出店)	寅年
1378	覚(小坂屋→中塚)	
1379	当用書類品々(袋)	丁卯年
1380	浜方寅年平均	寅年
1381	金子借用証文之事(150両、中塚治左衛門ほか1名→大原与兵衛)	慶応3年
1382	〔覚など〕(4通)	年月日未詳
1383	〔覚・書状など〕(16通)	年月日未詳
1384	〔書状など〕(31(14カ)通)	年月日未詳
1385	御請一札之事(借家引請、請人柏島村重吉ほか4名→押山浜徳左衛門)	文政5年
1386	規定書之事(郡中入用多分につき、9ヶ条)	嘉永2年
1387	覚(酒肴・御使賃など、淀屋七助→押山浜村庄屋中塚治左衛門)	安政6年
1388	御通(土手屋徳左衛門→中塚次左衛門)	慶応2年
1389	〔書状・覚など〕(23(22カ)通)	年月日未詳
1390	万御通(杉谷屋万吉→中塚)	辰年
1391	〔記など〕(4通)	年月日未詳
1392	〔書状など〕(2通)	年月日未詳
1393	〔中塚実三郎宛高島磯三郎書状〕(虎列刺病大流行のこと)	年月日未詳
1394	〔書状など〕(34(19カ)通)	年月日未詳
1395	〔吉田廉平ほか42名宛催合講主中塚吉十郎ほか5名回章〕(催合講入札会席のこと)	明治13年
1396	郡中用書類入(袋)(中塚成一)	天保14年～
1397	覚(9通)(永久相続手当金、勸化銀など)	嘉永
1398	〔勇崎浜庄屋治左衛門ほか1名宛中島村・山田村庄屋書状〕(大坂御上糶歎願のこと)	年月日未詳
1399	乍恐以書付御願奉申上候(御年貢初納銀、岡田・亀山銀札両替のこと、片島村ほか7ヶ村惣代勇崎浜庄屋治左衛門→倉敷御役)	酉年
1400	〔古坪改請〕(阿賀崎新田村元組)	年月日未詳
1401	乍恐以書付奉願上候(浅口郡村々貯穀の儀、村々惣代勇崎浜庄屋治左衛門→倉敷御役所)	卯年
1402	乍恐以書付奉願上候(入牢人多分のため養生差支につき口口村穢多頭方へ新規溜取修理仰付のこと、郡中惣代→倉敷御役所)	卯年

1403	乍恐以書付奉願上候(御陣内御困糶詰替御下渡のこと、窪屋・都宇・浅口郡村々惣代→藤方彦一郎様御役所)	天保14年
1404	[覚・書状](19(10カ)通)	年月日未詳
1405	阿賀崎年番一郡割書出ものひかへ(勇崎浜庄屋治左衛門)	弘化3年～弘化4年
1406	[組合御村々御役人中宛勇崎浜庄屋治左衛門ほか1名廻状](年貢米悪敷こと)	年月日未詳
1407	[覚・書状](4(5カ)通)	年月日未詳
1408	乍恐以書付御歎願奉申上候(浅口郡村々貯穀詰替につき、村々惣代勇崎浜庄屋次左衛門ほか1名)	年月日未詳
1409	[覚・書状](4(3カ)通)	年月日未詳
1410	乍恐以書付御届奉申上候(当御支配所村々永久相諸手当御備金村々身分の者出金のこと、勇崎浜庄屋治左衛門→倉敷御役)	申年
1411	[日記]	年月日未詳
1412	差上申一札之事(御年貢米不宜御廻米難相成こと、備中・作州7郡村々)	年月日未詳
1413	[覚・書状など](8通)	年月日未詳
1414	[組合村々御役人中宛勇崎浜治左衛門ほか1名廻状](御廻米安石代歎願のこと)	年月日未詳
1415	覚(鏡餅など受取、宮内役所→柏島兵蔵)	年月日未詳
1416	乍恐以書付奉願上候(大雨不作につき、窪屋・都宇・浅口郡村々惣代→倉敷御役所)	年月日未詳
1417	[組合村々御役人中宛勇崎浜庄屋治左衛門ほか1名廻状](御陣内御困糶売払方入札のこと)	年月日未詳
1418	[西田源右衛門・吉田八左衛門宛中塚治左衛門書状]	年月日未詳
1419	覚(申御割附、黒崎村庄屋八左衛門→勇崎浜庄屋治左衛門)	酉年
1420	[植田武右衛門演舌](八左衛門→治左衛門)	年月日未詳
1421	[覚・書状](26(18カ)通)	年月日未詳
1422	子御年貢銀受取通(大竹左馬太郎役所小磯錠助ほか1名→治左衛門)	子年
1423	借用申銀子之事(松本屋平吉ほか2名→勇崎浜庄屋次左衛門)	年月日未詳
1424	[中塚治左衛門宛猪木与五兵衛書状](加地子麦の儀)	年月日未詳
1425	売渡申証文之事(石炭納家など、小三郎ほか1名→庄屋治左衛門)	嘉永2年
1426	相渡申畑之事(伝五郎ほか2名→勇崎浜太郎松)	文化10年
1427	覚(浜方御年貢未進銀、山崎屋富太郎ほか1名→庄屋治左衛門)	巳年
1428	[覚・書状](3(2カ)通)	年月日未詳
1429	金子立替証文之事(金60両余、御廻米買替納代金、仮主下口村庄屋・年寄・百姓代→御蔵元勇崎浜治左衛門)	安政6年
1430	[書状・記](4通)	年月日未詳
1431	村立替金証書之事(勇崎村中塚実三郎ほか1名→中塚吉十郎ほか1名)	明治5年
1432	為取替申規定書之事(三蔵娘やちよに理之丞忤幾太郎をめあわせのこと、理之丞・三蔵ほか2名)	安政6年
1433	[書状](2通)	
1434	壹ヶ年切相渡申質地証文之事(屋敷・居家、伝右衛門ほか2名→庄屋治左衛門)	嘉永6年
1435	借用申銀子之事(清蔵ほか1名→庄屋次左衛門)	文政5年
1436	銀子借用手形之事(浜加地子銀・炭代清蔵ほか1名→庄屋次左衛門)	文政7年
1437	[書状](2通)	

付箋未入(828・1129・1153・1208・1209・1225・1247・1248・1387・1397・1398)

以下、未整理